YASUSHI NIRASAWA

2&3 DIMENSIONAL WORKS

CREATURE CORE

ORIGINAL DEMONS & MONSTERS

YASUSHI NIRASAWA

CREATURE CORE

YASUSHI NIRASAWA

2&3 DIMENSIONAL WORKS

ORIGINAL DEMONS & MONSTERS

HOBBY JAPAN

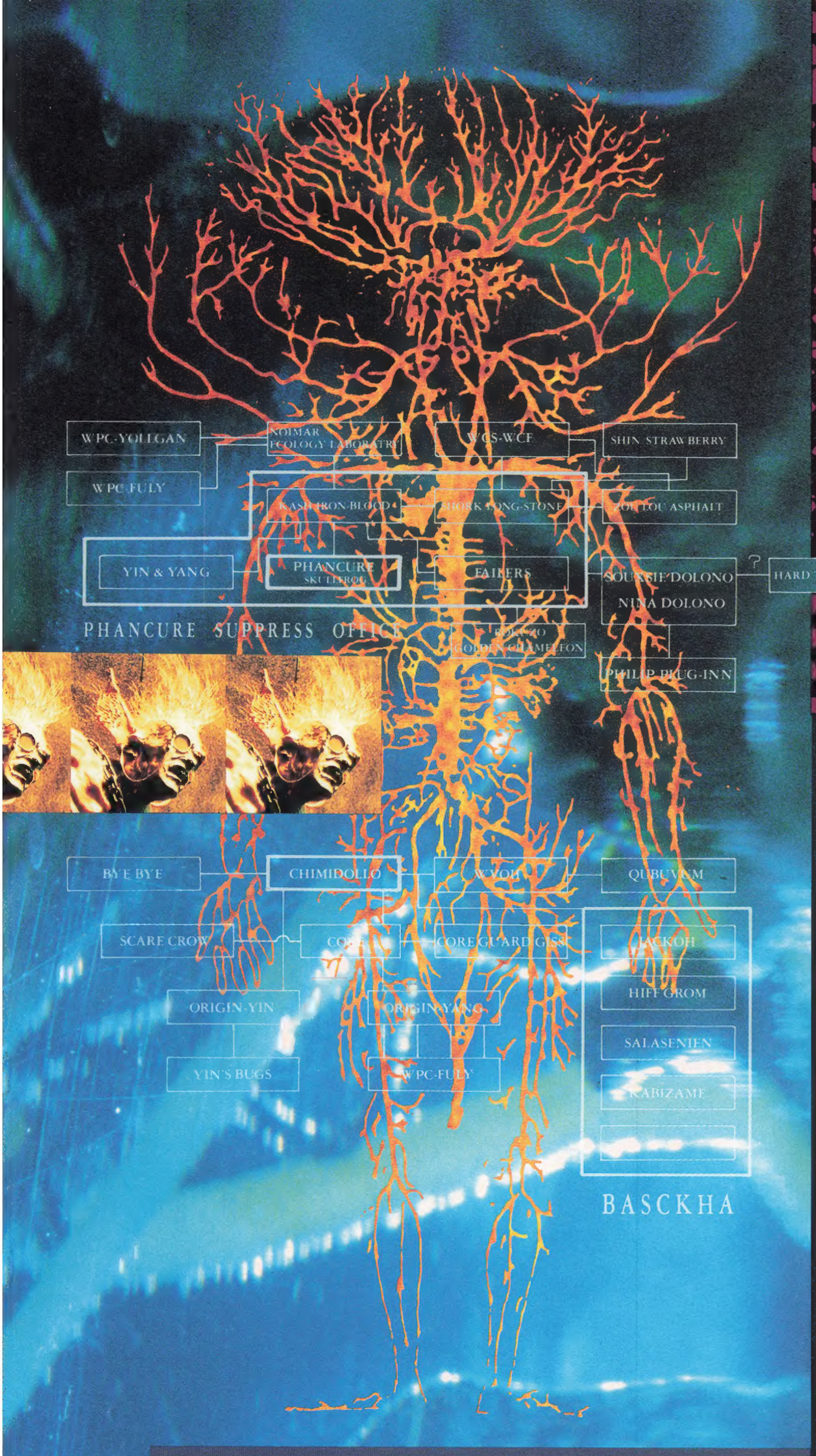
CREATURE CORE

2&3 DIMENSIONAL WORKS

CREATURE CORE

YASUSHI NIRASAWA

ORIGINAL DEMONS & MONSTERS



FOREWORD

この作品集には、ホビージャパン・エクストラに連載中のコミック「ファントム・コア」のキャラクターを中心に、オリジナル・デザインのデモン・モンスターを立体造形すると共に、各雑誌に掲載したイラストを収録したものです。立体物、画稿共に、新作を大量に制作し、新鮮味とボリューム感のある内容を目指しました。この作品集を刊行するにあたり、ゲスト作品として立体物等を制作して頂いた竹谷隆之氏、高柳祐介氏、寺田克也氏、鬼頭栄作氏、小杉和次氏、高橋雅人氏、また励ましの言葉を寄せて頂いた小林誠氏、雨宮慶太氏、超カッコいいレイアウトをやって下さった内山法彦氏、そして私の数々のわがままを受け容れてくれ、大量の立体物の運搬のために超狭い道を自動車で何度もかよって下さった担当の歌田敏明氏に限り無い感謝の意を表して、前書きの言葉とさせて頂きます。ジャッ！

韮沢　靖

CREATURE CORE CONTENTS

3D WORKS

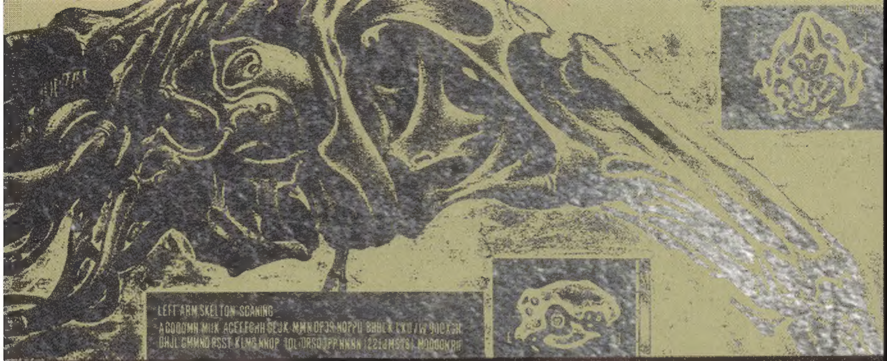
6 PHANTOM CORE ♯1
22 PHANTOM CORE ♯2
36 CREATURE EXHIBITION
52 VARIOUS WORKS
58 GUESTS' GALLERY

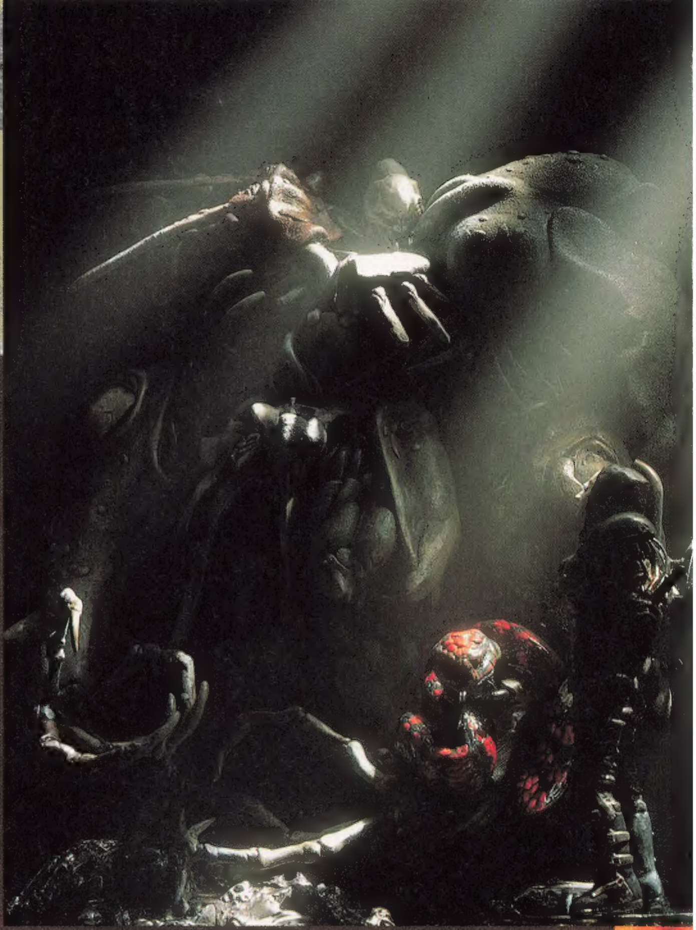
2D WORKS

64 PHANTOM CORE
75 OTHERS
83 PHANTOM CORE CHARACTERS
105 IGRONIKAN
125 TALK & COMMENTS

contents

本書は、ホビージャパン・エクストラ(年４回発行)'88年秋の号から'92年秋の号までに掲載されたコミック「PHANTOM CORE」に登場するキャラクターを新規立体造形したものに、同誌春の号常設特集「WE LOVE FIGURE 」掲載作品、月刊ホビージャパン連載「CREATURE CORE」掲載作品その他を加え、また「PHANTOM CORE」掲載分よりの抜粋および描き下ろし画稿、月刊ＲＰＧマガジン掲載イラスト群よりの選抜分及び、初期習作群を収録・編纂したものである。著者以外の制作者による立体造形作品、および画稿も若干数含まれているが、その場合は収録ページ毎に制作者名を明記した。





「PHANTOM CORE」は、月刊ホビージャパン別冊 ホビージャパン・エクストラ（年4回、1・4・7・10月発売）に'88年秋の号から'92年秋の号までに計15回連載されたSFファンタジー・コミックである。本書P.7〜P.35は、このコミックに基いて立体造形した作品を掲載している。コミックは将来的に単行本として編纂・発行される予定があるが、'92年12月現在、このコミックを総覧できる読者はそう多くはないと思われる。ついてはここに、ストーリーの粗筋を掲載しておく。また、P.83〜P.104には、コミックからの抜粋および描き下ろし画稿にてキャラクター解説をしている。これらを併せて御覧いただき、作品世界を少しでも御理解いただければ幸いである。

DRAWN BY KATSYA "TERRA" TERADA

INTRODUCTION OF PHANTOM CORE

オレは“PHANCURE”。こう書いて「ファンキュア」と読む。オレと同族の鎮圧、あるいは捕獲を業としている、フリーの“鎮圧屋”だ。わかりやすく説明しようかい？ 時は……今何年だったか忘れたな。まあ、いい。遺伝子工学、生態学が進歩し、生体作業機器、生体兵器が機械よりも幅をきかしていた頃があった。しかし彼らはクローニング生体より遠くなるほど粗悪になっていき、そんなヤツらも平気で世に出回っていたんだ。

——もうわかってきただろう？ そう、あんたらの思っているとおり、何年前だったかそんなヤツらの中から狂い出すものが続出、まさに狂鬼と化した状態（Weapon Creature＝ウェプチャー）となって各地に分散した。さあ大変。諸都市に国営の鎮圧部隊“WCS・WCF”（Weapon Creature Suppress-Weapon Creature Force）を設立し、狂ったヤツらから都市や人々を守っていたんだ。だが、ウークスの連中が使っている鎮圧兵器がこれまた狂いはしないがボンクラ兵器で、ちっとも役に立ってねぇんだ。おまけに狂った方のヤツらは長年ほったらかしになってるもんだから、手のつけられねぇほどブルーン（狂い咲き＝自らの細胞で異質の生物を身体から生やしてしまう）しやがって、もうグチャグチャ。昔、レトラコミカで読んだことがあるデビルなんとかに出て来るのみたいになりやがって。オレを作ったのはカッシュという男で、ヤツはウェプチャーの創造主、ノイマー生態学研究所を辞めさせられ、今ではオレが捕まえて来たウェプチャーで変な生き物を造ったりして

INTRODUCTION OF PHANTOM CORE

いる。オレはロボットではなく、サイボーグに近いものらしい。実際のところはオレにもよく判らん。カッシュのヤツはオレをオリジナルに改良を加えたもので造ったらしいが、ヤツに造られたんじゃオレもいつ狂い出すか判ったもんじゃない。

13回目の仕事でオレは、昔友人だったヨルガンを殺すハメになっちまった。ヤツも腕のいい鎮圧屋だったのに。近頃はどうもおかしい。ノイマー・ラボで生産したウェプチャー以外でも発狂してしまうらしい。民間人がブルーンした例をウークスの一人から聞いた。クローニングによる細胞の弱化だけが原因ではないということになる。ポゼッション（憑依）？まさか、何が乗り移るっていうんだい。

そんな時、14回目の仕事でオレと同じ生体構造のミス・フィッツがやはりブルーンした。ニナとの連携プレイで仕事はあっさり片付いたが、ミスの身体からアクマ？が現れた。オレもイカレちまったのか？　ポゼッションの恐怖がオレの頭をよぎる。

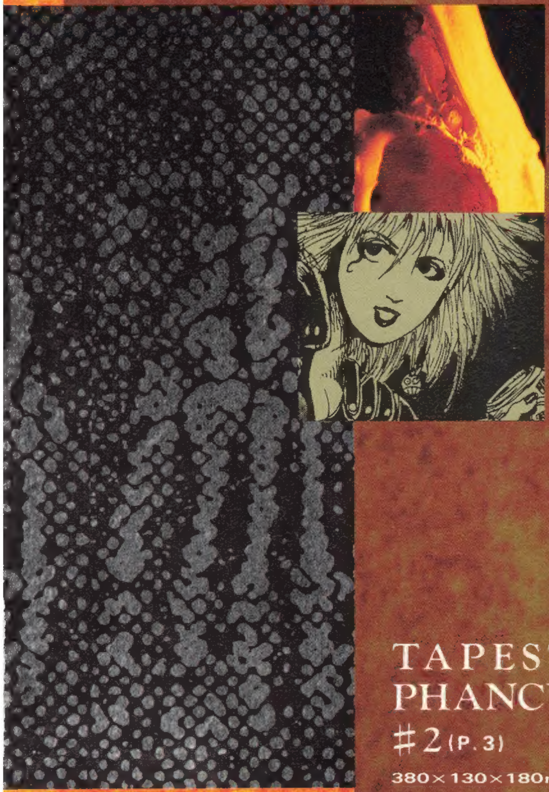
15回目の仕事は、巨大ウェプチャーだったため、防御よりもスピードをとり、リキッドシェイプで減量。長期戦だったが、最後はあっけなかった…が、巨獣よりまたもアクマが…。オマケにタバコらしきものを差し出し、消える。何なんだ？

都市専門の鎮圧屋の悪友ズールーがカッシュに、ウェプチャーのサンプル分析を依頼しにやって来た。やはり退治後にアクマが出て来て酒をくれたらしい。ワケがわからん。分析結果はショッキングだった。やはりまったく別の異種細胞がコラージュされていて、細胞の弱化によるブルーンではなく、しかもオレたちもポゼッションされる可能性があるという。なんてこった。不安でいると悪いことが起るものだ。身体を調べるためにドックに入った。フレームスキャニング中にソレは起った。よりによってオレさまに…！　オレはポゼッションされたようだ。気が薄れていく中、アクマの頭を潰したように思ったが…。

気がついた時、オレにポゼッションしたヤツが変なウツボカズラ野郎に頭をうずめていた。やはり潰しそこねたか！　ワケがわからんのでとりあえず帰ろうとすると、これまた変なカミナリ野郎やイソギン野郎が現れて、何か言ってる。日和見を決めこむことにすると、オレにタバコをくれたヤツと変な妖怪が現れた。妖怪はチィミドゥロと名乗った。ヤツの話はこうだ――体内より無数に怪物が生まれる「怪物玉(ファントム・コア)」を造ったが、自分の分身が玉に取り込まれたので、そいつを取り戻して欲しい――そういうことだった。妖怪から仕事を頼まれたのかオレは！　ギャラは確かにいい。よしOKだ、やってやる。ウツボ、カミナリ、イソギン野郎共は“バスカ”という向うの賞金稼ぎだそうだ。ヤツラとの連携プレイでオレに取り憑いたヤツから玉を取り出すワケだ。変なことになっちまった。

ヤツの身体から怪物が湧き出る。それらはバスカのメンバーにまかせ、オレはガジェットウォールの屋上へヤツを追いつめた。その後、ニナ、ズールー、イン、ヤンが駆けつけ、「怪物玉」は取り返した。ヤツは死んだようだった。オレ達はギャラをもらい、チィミドゥロとその分身は去った。去りぎわに名刺をくれやがった。ふざけた野郎だ。いつもどおり、金をロクゾーじいに調べてもらった。ところが金はニセモノだった。FUCK!!　腹が立って電話してみると、これがなんとつながった。その金は、昔オレ達の世界の人間が置いていったものらしい。そいつがドロボウのイカサマ野郎だったワケだ。そこでチィミドゥロは約束してくれた。そのコインをある図案の上に載せ、向うの世界へ送れば、マモノ達を傭兵として貸してくれるというのだ。金でマモノが召喚できるらしい。オレはマモノと友達になったのか？　まったくイイんだかワルイんだか…

MONOLOGUE BY PHANCURE



MODELING BY TAKAYUKI TAKEYA

TAPESTRY PHANCURE
#2 (P.3)

380×130×180mm / Styroform 100×200×200mm, Fando 100g, Epoxy putty 150g, Animals' bone, Marble ball, Lead ling 4g

「PHANTOM CORE」のキャラクター達を立体化。まずは主人公のファンキュアとヒロインのニナ・ドロノから。カバー・モデル、ニナのスーツ・ヴァリエーション、そしてスペシャル・ビルドのビッグ・ディオラマで見せる「バー・サイクロプス」と続く。以下の文章は、いずれもファンキュア自らが語ったものだ。まずは彼の自己紹介から始めることにしよう。

PHANTOM CORE #1

PHANCURE
NINA DOLONO
BAR CYCLOPS

220×260×500mm/Styroform 150×150×300mm, Fando 300g, Sculpey 600g, Epoxy putty 200g, Animals'bone, Rivets×25, Mini chain 500mm, Rubber sheets 50×250mm, Doll house bottle, Glencoe models'plastic model-brontsaurus./Base...Wood board 300×250mm, Square timber 50×50×250mm, Epoxy putty 20g, Man-crysallis resin copy×2, Plastic model-brontsaurus, 6mmφHexagonal bolts&nuts×10

PHANCURE

オレはファンキュア。オレと同族のヤツらの鎮圧あるいは捕獲を業としているフリーの鎮圧屋だ。昔造られた生体作業機器、生体兵器が狂い出し、悪鬼と化した存在＝Weptureが各地に分散したんで、国営鎮圧部隊＝WCS・WCFの向こうを張って荒稼ぎしているワケだ。そういうオレもカッシュという科学者の手で創造されたサイバー野郎だから、いつ狂い出すかわからん。ある薬品を投与しながらかろうじて正気を保っているというワケだ。オレの主食であり大の好物は「酒」だ。仕事の報酬もコレで払ってもらっている。仕事の後の一杯は最高だぜ。酒飲んで寝る。ワンダフル・ライフってなもんだ ▶本書用新作

PHANCURE

PHANCURE LEFT ARM GROWING FRAME

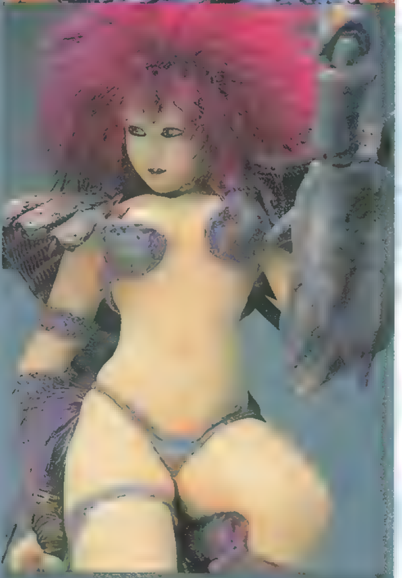
オレの最大の武器となる爪。その基部となるアームや各部の骨格は、"GROWING FRAME"で造られている。筋肉を鍛えるように幾度もの薬物投与による反射や変形が繰り返される。これによって、いつもは堅くても薬物を注入するたびに柔らかくなって変形し、その後再び堅くなるという魔法のような骨格となる。各種の薬は相棒である2匹の大蛇、イン&ヤンの牙に仕込んであり、仕事中に素早く変形・治癒が可能だ。しかし変形の方は仲々思ったようにいかない場合が多く、この辺は今後の課題と言えよう　▶本書用新作

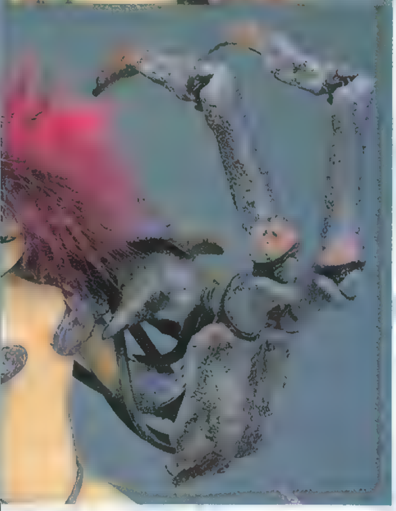
300×150×200mm/Epoxy putty 150g, Rivets ×20, Animal's bone, Rubber tube 2000mm, Kotobukiya's resin model-Gundam ZZ

PHANCURE with YIN & YANG

450×400×520mm/Polyethirene action figue, Max factory's soft vinyl model-Guyver III, Epoxy putty 400g, Fando 70g, Vinyl tube 1000mm, Some heat pressed parts, Tamiya's 1:12scale figure, Glasstic mesh 120×200mm, Lead 1000g, Real shrimp heac

オレの左腕に巻き付いている2匹の大蛇がインとヤンだ。共にウェブチャーで、その牙には、オレの身体を変形させたり、細胞を活性化させてケガを治したりする薬物が仕込んである。オレの左肩のアーマーの穴にいつも棲んでいて、戦闘中のダメージもその場で治してくれるベンリなヤツらだ　▶ホビージャパン・エクストラ'88年春の号掲載





STANDARD PHAN-ARM

130×130×340mm/Styroform 100×100×250mm, Fando 200g, Epoxy putty 50g, Some heat pressed plastic parts, Glastic eyes×2, Real fur, Bandage 1000mm, Bretain's polyethylene model-crocodile, mini spring 600mm

オレの商売仲間(商売ガタキ?)のニナ・ドロノだ。昼はフリーの鎮圧屋、夜は秘密のアルバイトで情報(ネタ)を集める情報屋でもある。見かけは色っぽいが気性の激しい女だ。オレの使い古しの甲羅や外皮をアーマーにして仕事をする。これは数年前のフォトだが、この頃は今よりもだいぶ太めだった。まぁオレの好みだがな。さて以降ニナの項は、本人の口から解説してもらうことにする　▶ホビージャパン・エクストラ'89年春の号掲載

SPECIAL SUPPRESSOR NINA DOLONO-1

BLUE SCALE SUIT & BLACK CRANIUM ARM

150×220×370mm/Fando 40g, Sculpey 200g, Aluminium rod 1200mm, Revell's plastic model-human skeleton, Tsukuda hobby's soft vinyl model- Alien, Animals'bone, Some metal parts, Rivets×40, Rabit's fur, Mini chain

ログソーじじいがウェルラックで捕えたブルーワインダーの皮で造ったスーツと魔法屋のリグルんトコにあったヒューマノイドの骨をカーボンボイルした物を使ったアーム。1度"リンダベルグ"のアームで中型ウェプチャー（Weapon Creature）とバトルしたら、大事な時に爪が折れてサ、逃げられちゃったワヨ／まったくちょっと売れてくるとブランド物はダメネ／　リグルんトコのは折れた事ないし、カスタムも色々してくれるから、使用頻度は高いワ//▶本書用新作

SPECIAL SUPPRESSOR NINA DOLONO-2

FACE: KATSUYA "TERRA" TERADA

SPECIAL SUPPRESSOR NINA DOLONO-3

MUMMY'S COFFIN: TAKAYUKI TAKEYA
FACE: KATSUYA "TERRA" TERADA

MUMMY BANDAGE SUIT & MOONCOFFIN

230×250×380mm/Aluminium rod 800mm, Bandage 1500mm, Rubber sheets 30×500mm, Rivets×80, Rubber tube 1000mm, Rabits fur, Property of "Fanta zone" opening film

仕事で疲れた時や軽い傷を負った時にこのムーンコフィンに入るの。そもそもカッシュがノイマーで働いていた時に使っていた物をマイナーカスタムしてもらった中古品／ それにワタシがデコレーションしたの。棺のフタはクレイジーオブジェビルダーの"バンブーバレイ"が造ったのを横取りした物。通常2〜3時間で以前以上の身体になるワ。アレの時はもうチョット長いワネ／(ニナの奴、ムーンに男連れ込んで、出て来た時には男がいなくなったって言うぜ／—ファンキュア)
▶本書用新作

BUFFOON BALL SUIT with BLACK FRAME ARM

200×200×330mm/Fando 40g, Sculpey 300g, Epoxy putty 50g, Aluminium rod 1200mm, Scissor, Resin bellows, Doll hair, Glastic eyes×2, BB-bullets×16

"シャスタ"のショーでサ、スッゲェーイカしてるのがあったのョ、赤と緑でクラウンテイストの！　それ観て興奮して勢いで造ったのョ、自分で。だからデザイン、ワタシ！　"オカダヤ"で材料買って、後は身の周りにある「ビッグダディ」のぬいぐるみ付けたり、ビックリ箱付けたり。これでバトルする時は何だか気分が乗って、ウェブチャーなんか必要以上にバラバラになっちゃってたりしたワ！　あと、意外な視覚効果があるらしく、気が狂った奴もいたワ(あ、奴らもともと狂ってんだ)　▶本書用新作

SPECIAL SUPPRESSOR NINA DOLONO-4

FACE: KATSUYA "TERRA" TERADA

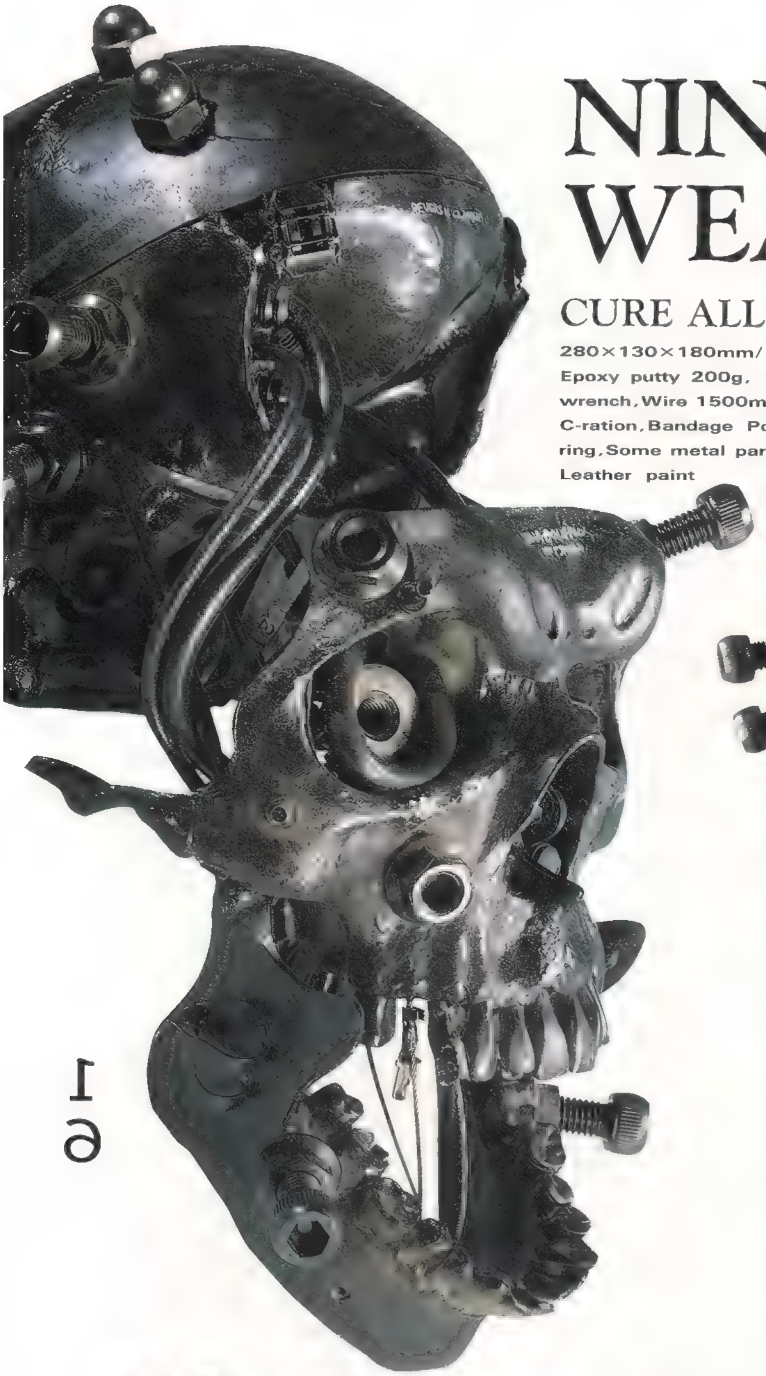
SPECIAL SUPPRESSOR NINA DOLONO-5

FACE : KATSUYA "TERRA" TERADA

PURPLE BONDAGE SUIT & CAMBRIAN ARM

200×200×300mm/Imported garage kit-Vampirella, Takayuki Takeya's original model-Dunbine, Epoxy putty 20g, 3φAluminium rod 1200mm, Rubber tube 15mm, Rubber sheets 10×30mm, Rabit fur, Chinese accessory, Mini chain 25mm

大昔の昆虫型有機機械兵の外骨格の化石を"レイチュラ"でボイルした外装のアームという、ワタシにしては比較的ノーマルなシンスキンのスーツ。アーム自体すごくハードで、カケたこともないケド、多少ヘビーだからマッスルブイも増加したら更にデカくヘビーになっちゃった／ 小型のウェブの時は、最初はアームでガードして、掴んだらもうこっちのもんネ／ パワーが凄いから、タナカじじいの店造る時も手伝ってやったの。そしたら向う半月タダ・ビール／ ▶本書用新作



NINA'S VARIOUS WEAPONS

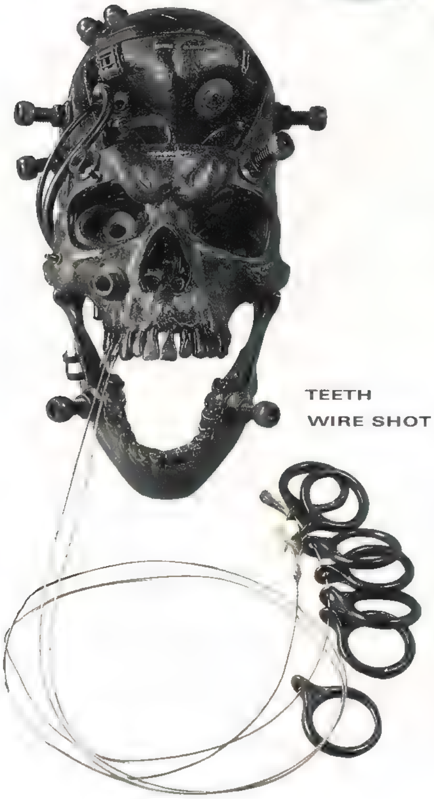
CURE ALL SKULL

280×130×180mm/Revell's plastic model-Human skull, Epoxy putty 200g, 10mmφBolts&nuts ×10, Hexagonal wrench, Wire 1500mm, Sciss or, C-ration, Bandage Polyester ring, Some metal parts, Leather paint

ヒューマノイドのレプリカ頭骸をカーボンボイルした万能ツール。頭部の上側、下側がそれぞれイクイップメント入れになってて、上はファーストエイドキットやまずいCレーション。下はワイヤードソーやカッシュからもらったカプセルクリーチャーが入ってる。このカプセル、何度か使ってんだケド、煙がシューとかいって出るだけで、何も現れないの。何なの、カッシュ、煙幕なら煙幕って言ってヨネ／ あと、歯がショットワイヤーになってて、これは仲々使えるワネ／

BLACK SKIN

小型ウェプチャーの時は、アーマー無しのコレだけで済むってくらい便利モノの、耐熱性ゴム皮膚スプレー。身軽に動けるしさ、都市じゃケッコー流行ってて、レッドとかイエローとかホワイトとかあるらしいケド、ワタシはやっぱり黒ネ／ いつもはキュアオールスカルに入れてあるワ



TEETH WIRE SHOT

UPPER SKULL

FIRST AID KIT & RATIONS

LOWER SKULL

MICRO TOOLS & CAPSULIZED CREATURE

LEFT ARM FUNDAMENTAL FORM

170×900×150mm/Bicycle stand, Bicycle safety lever, Rubber bellows 20mm, Lindberg's plastic model-human foot, Urethane tube(L) 600mm, Urethane tube(M)400mm, Takeya's resin parts

これも小型ウェプチャー用のレフトアーム・フレーム。アーマーが無い分軽いから、ブイの反射も敏速だし、多少破損率が高いケド、メンテナンスも楽だワ。アーム中央上部のタンクでパワー調節もできるんだケド、ウェプチャー退治以外は使ったことないんで、いつもハイパワーパック使ってんの。高くつくつく!

HARD KNUCKLE WITH KNIVES

330×170×190mm /Takeya's resin parts, Bicycle safety lever, Rubber sheets 200×100mm, 6mm Nuts×6

レフトアーム・フレームを装備してて、バトル中万が一壊れて動かなくなった時のための右手用スモールナイフ付スラッシャー。掌部分で相手の攻撃を受けて、ナイフで斬るって感じかナ。破壊力は弱いけど、アーム壊された怒りで、大抵、ヨユーで勝っちゃうワ!

WEAPON CREATURE SLAYER

150×540×90mm /Plastic knives ×2, Bicycle splash board, Toe crip, Stainless steel flame, Kitoh's styroform grip, Real fur 100mm, Bandage 60mm, 6mmφNuts ×10

強化セラミック製のミドルナイフをワタシがカスタムした、対ウェプチャー専用ナイフ。何が専用かってぇーと、ウェプチャー鎮圧に使ったナイフによくヴィールスが付いてて、たぶんヤツらの血液中に繁殖したものだろうケド、そのおかげで病気になったりしたの。だから抗菌コートしてあるってワケ/あと、先端を飛ばせる様にしたこともあるケド、返って来なかったんでやめたワ!

LIGHTER

MODELING BY TAKAYUKI TAKEYA

CAPSULIZED BEAST

MODELING BY TAKAYUKI TAKEYA

LIGHTER

MODELING BY TAKAYUKI TAKEYA

BAR CYCLOPS

ハードタイム・タナカじじいが、また店を出しやがった。けっこうコツコツもうけてやがったんだ。首都ゲルマルナに近い、今はもう動かなくなったサイクロプスが眠る、ザイアスというところだ。しかもその足もとに店を出しやがったんだ。聞くところによると、土地が異常に安かったんだと。ニナと一緒にひやかしに行ったオレは、なぜその土地が安いのかよおくわかった。ワケのワカラン小鬼どもが何匹もうろつきまわり、食い物を漁ってやがったんだ。

1

BUILD BY YASUSHI NIRASAWA, TAKAYUKI TAKEYA, MASATO TAKAHASHI AND EISAKU KITO

APPEARANCE

RUSTED-OBJECT
CYCLOPS-GIGANTIS

MASTER
HARD-TIME TANAKA

CUSTOMER
NINA DOLONO

PHANCURE

STEAVE OIL-RAIN

2

ON

「サイクロプス」というのは、大昔の巨人ロボットらしい。こんな所に酒場を造るなんて、タナカのじじいもホントにクレイジーだ。このじじいはあっさりとツケで飲ませてくれるが、取り立ては異常にキビシイ。棚に並んでいる酒は、薬用のものも多く、イロイロな作用があるらしいが、気持ちよくなれるなら、オレは何だっていい。肴は、WCSが売りつけたウェプチャーの肉を使っていると聞いたことがある。トンでもないじじいだぜ！　おっと、ウワサをすればナンとやら、WCSの一人がやって来やがった！

BAR CYCLOPS

480×320×470mm(1:20 scale)/Fando 300g, S-board 300×400mm, 1mmPlastic board 200×350mm, Balsa board 100×400mm, 30mmφClear plastic pipe 1000mm, Some plastic model parts, Some resin model parts,

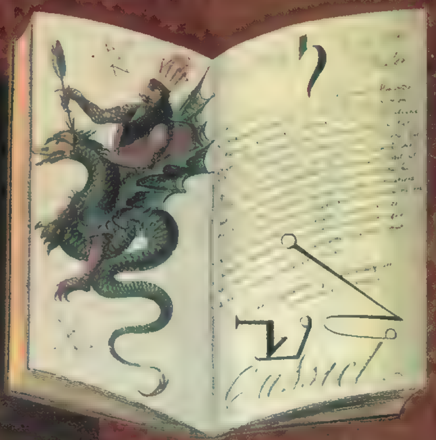
PHANTOM CORE #1

04

4

Phoenix's 1:20 resin figue, Doll house glasses, Verlinden productions' accessories, Real cartridges &cases×2, Seasoning bottles, Real ceder twigs&leaves, Some instant body warmers, Rusty paint

PHANTOM CORE ≒2



魔物を召喚する時に、いちいち状況を説明するのも面倒だから、総元締のチィミトゥロの奴に、「マモノ・カタログ」みたいな物はねェのか？と聞くと、"IGRONIKAN"（イグロニカン）とかいう本を送って来た。表紙に付いているドクロの左目のカギを回すとケムリが出て、右目を見開きやがった。どうやらアクマ語が理解できるらしい。用が済んで放っておくと自然に消えてなくなるという。ホントに気味の悪い本だぜ！というワケで、この本に出ている魔物を始めとする、オレの仲間達を紹介していこう。ヘンなヤツばかりだぜ！

IGRONIKAN

ZOU LOU ASPHALT
SALLASENIEN
HIFFGROM
JACKOH
CHIMIDOLLO
WCS·WCF
KASH IRON-BLOOD
SHORK LONG-STONE
BYE BYE
FAILED ANIMALS

250×230×100mm/Encyclopedia of insects, Epoxy putty 50g, Lindberg's plastic model-skeletal foot, Lead sheets 100×20mm, Real fur 100×200mm, Rivets 30, Photo-etched parts, Glastic eye, Strings 1500mm, Animals' bone

150×150×250mm/
Fando 15g, Sculpey
250g, 3mmφ
Aluminium rod
50mm, Real fur
30×40mm, Rubber
sheets 10×150mm,
Rivets ×7, Metal
accessories/Base...
Takeya's resin
skull, Iron sand

CHIMIDOLLO

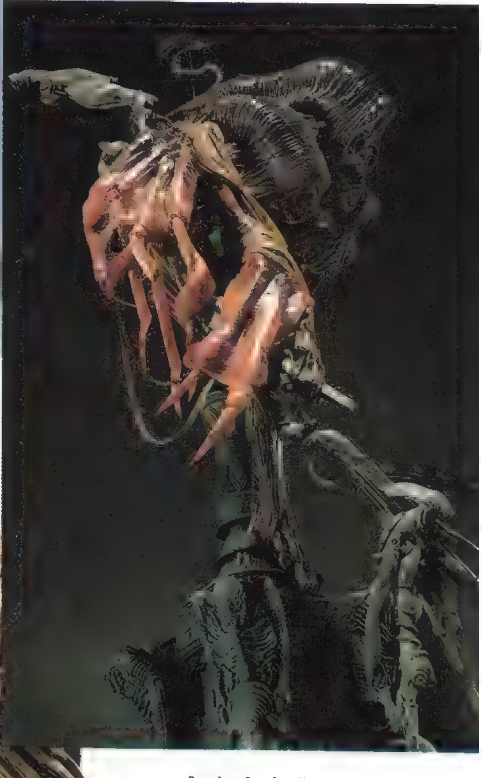
得体の知れないヘンな生き物。"BASCKHA"という魔界の賞金稼ぎ達を引き連れて、自分の分身である"オリジン・イン"の暴走を止めにやって来た。オレもよく"BASCKHA"のマモノ達をコイツから借りたりする。レンタル料をしっかり取るがめついヤツだ。アクマ語で名乗った時、「チィミドゥロ」と聞こえたので、そう呼ぶことにした。昔は"サタン"と呼ばれていたと本人は言っているが、本当のところは伴らない
▶本書用新作

SALLASENIEN

300×300×500mm/Fando 150g, Sculpey 1000g, Epoxy putty 200g, Aluminium rod 1200mm, Latex 10cc/Base...Polyester resin 50g, Aluminium foil×1role, Real saracenia ,Airplant

魔界の賞金稼ぎ。"BASCKHA"の一員だ。オレ達の世界にも存在するROUS ANIMAL（食虫植物）の様なテクスチャーを持っているから、植物系の生物であることは間違いない。頭さえ残っていれば、身体を再生させることができる、ベンリなヤツだ。再生スピードも驚くほど速いぞ　▶本書用新作

MODELING BY
YUSUKE TAKAYANAGI



HIFFGROM

230×320×420mm/Fando 50g, Sculpey 70g, Plastic model parts, Aluminium rod 1500mm, Steel board 30×40mm, "Space jockey" resin copy

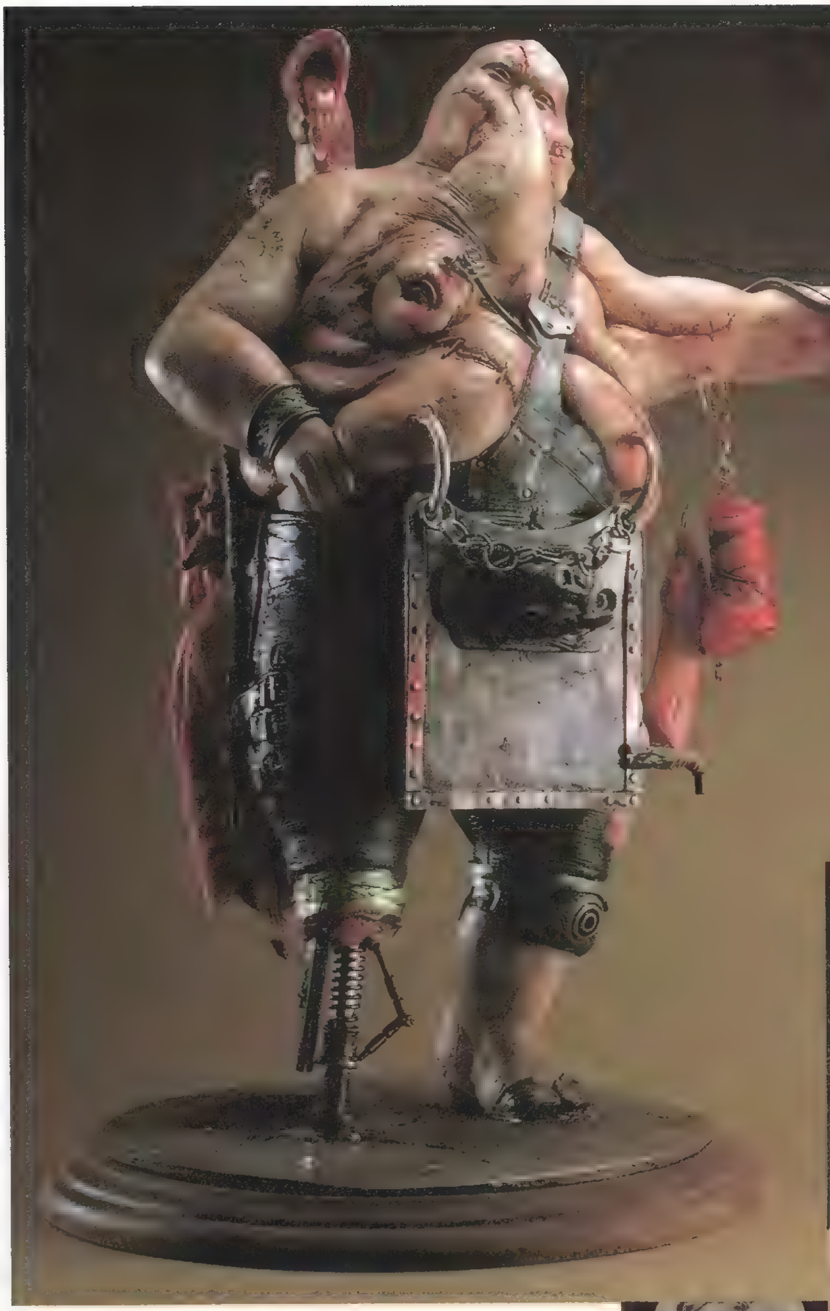
やはり"BASCKHA"の一員。雷を操る能力を持つ。頭部らしき所にある3つの目で雷撃の焦点を合わせている様だ。背中と腕にまとわりついているヒダ状の物は、雷発生の源となっているらしい。恐らく何らかの共生関係にあるんだろう　▶本書用新作

MODELING BY
TAKAYUKI TAKEYA

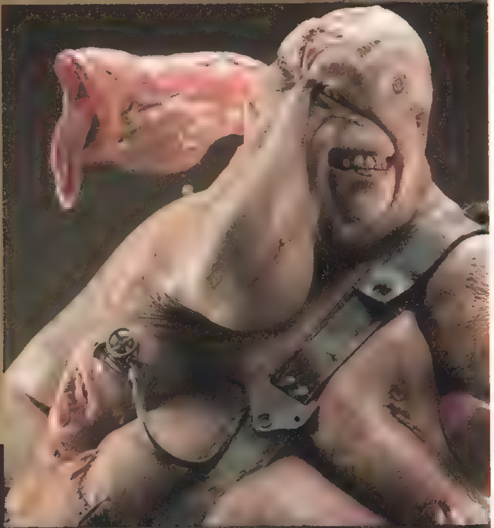
JACKOH

150×150×270mm/Fando 20g, Sculpey 200g, 3mmφAluminium rod 600mm, Epoxy putty 100g, Real crab claw/Base...Urethane form, Iron sand, Real raiti peel

"BASCKHA"の一員。蟲を操る能力を持つ。頭、両肩、フトモモが壺状になっていて、そこに無数の蟲を飼っているウザったいヤツ。壺の奥には自らの触手も生えていて、ソイツを伸して攻撃したりもする ▶本書用新作



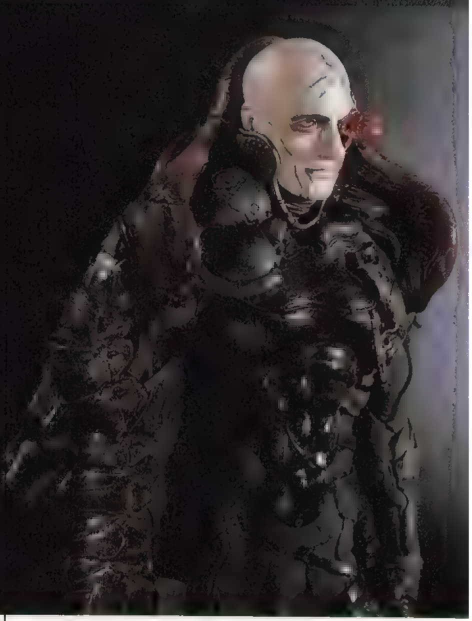
MODELING BY YUSUKE TAKAYANAGI



BYE BYE

260×260×350mm/Sculpey 1200g, Lead sheets 100×200mm, 3φAluminium rod 600mm, Tamiya's plastic model-Bicycle, Mini chain 120mm, Rivets ×45, Epoxy adhesive 30g

アチラの世界の住人で、チィミドゥロ御用達の肉屋兼料理人。身体中にさばいた肉や、各種調理器具を携えていて、いつでもどこでも客に肉料理をサービスしてくれる。背中から生えてる"あじみ君"とかいうヤツが素材をチェックしてくれるらしく、料理の旨さは抜群という。名前の由来は、店に来た客を突然襲って、「バイバ〜イ」と言いつつその肉でソーセージを作ってしまう癖があることから。ホントにふざけたヤツだ ▶ホビージャパン・エクストラ'92年春の号掲載



EDO BLACK-SHRIMP

150×150×230mm/1:8scale Original resin figure, Fando 10g, Epoxy putty 50g, 3mmφ Aluminium rod 100mm, Real shrimp claw

(ここからはウークス・エドが解説する)"ノイマー・バイオラボ"が世に送り出した作業用生体機器"ウェプチャー"に、クローニングの繰り返しにより発狂する者が続出。それら発狂ウェプチャーを鎮圧するのが、我々WCS-WCF(Weapon Creature Suppress-Weapon Creature Force)の仕事である。それにしても近頃何かがおかしい。普通の人間までもが何かに取り憑かれたように一瞬にして異形のものに変化し、発狂する。私の長年の友人であったロイじいもそんな一人だった。いつもの時間に"ロキシー"で茶を飲んでいると、突然ロイじいが1.5倍ほどに膨れ上がり、恐しい姿に変貌を遂げた。膨れた指にはコーヒーカップが外れなくなっている。私はクローザー(爪)を装着し、ロイじいだったものの息の根を止めた ▶本書用新作

W. C. S. W. C. F. 1

MODELING BY
TAKAYUKI TAKEYA

黒油 BLACK BUTTER

GONZO BLACK-BUTTER

100×100×150mm/ Verlinden productions resin model-Us general, Epoxy putty 100g, Rubber tube 100g, Takeya's resin parts, Tamiya's plastic model-Harley Dabidson, Fer monoxide(instant warmer)

WCSの長距離運び屋。巨体を生かして入隊したが、巨体が逆に災いして、ウェブチャーに下半身をやられ、脚部と循環器をサイバネティックスにした。以来、"運び屋ゴンゾ"の異名を取る。帰って来れなくなった"モノ・ホイール"ティグの所へ合成オイルを届けたり、重武装の運搬、長期作戦の食料運搬等、WCSにとって無くてはならない存在となっている…のか？ ▶本書用新作

油雨 OIL RAIN

STEEVE OIL-RAIN

WCSでは、人員が少ないためにクローニングによる戦力拡大を図っているが、そのオリジン(母体)の一人となったのが彼だ。そのクローンは12人存在するが、区別するために頭部に入れ墨を施している。オリジンには無い。標準的体型のため、ハードマッスルスーツはミディアム(半殺し)だ ▶ガレージキット

黒歯車単輪

BLACK-GEAR AND MONO-WHEELER

W. C. S. W. C. F. 3

220×170×145mm/Epoxy putty 100g, Woody putty 30g, Sculpey 20g, Resin 50g, RC car tire, VTR gears, Verlinden productions figure, Lead line 100mm, Rivets×40, Some plastic parts, Lead board 20×20mm, /Base...Few monoxide, Pastels

DIG BLACK-GEAR ON MONO-WHEELER

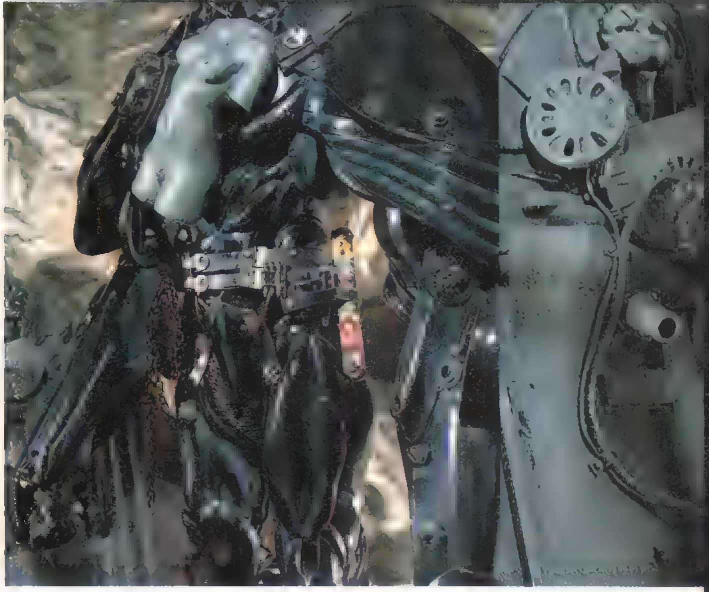
彼は私の部隊のメカニックで、乏しい部品をなんとかカキ集めて造り上げたのがこの"モノ・ホイーラー"だ。よって、部隊に一台しか無く、操縦できるのも彼一人だけだ。先遣隊（一人だが）として現場に真っ先に駆けつけるが、部隊が到着した時には既にどこかへ行ってしまっている。本当に困った奴だ。因に彼の左手に付いているのは、方向転換や相手のドテッ腹に大穴を開けたりするものだ ▶本書用新作

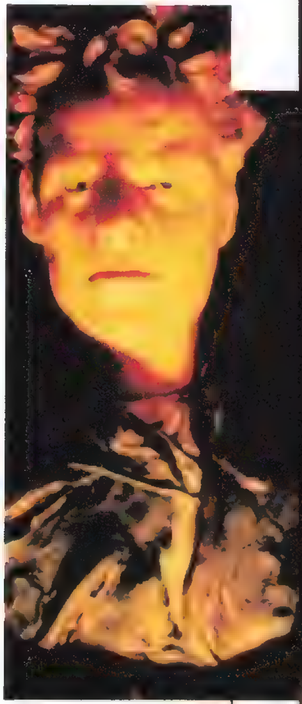
MODELING BY
EISAKU KITO

250×150×450mm/Max factory's soft vinyl model-Guyver Ⅲ, Epoxy putty 300g, Sculpey 20g, Reds' resin model-Karen Sakagami, Rubber sheets 40×200mm, Rivets × 40, Mini chain, Heat pressed plastic parts, Skin mag.-Bachelor/Base... S-board 100×200mm, Fando 40g, Photo etched alphabet letters

再びオレ、ファンキュアが解説するゼ。コイツは昔、WCS-WCFにいたが、あまりにオソマツな組織なので辞め、身体をハイパー化して都市専門の鎮圧屋になったフリーのHヤローだ。タイジャ・ラエ、デビー・アシュビー、ゲイル・マッケンナ等のボディを型取り複製したレプリカ・ボディ・アーマーを80コ以上も持っていて、いつもお守りのように着けている。オレとはクサレ縁の悪友同志だ　▶本書用新作

ZOU LOU ASPHALT





SHORK LONG-STONE

"ファンキュア鎮圧オフィス"でオレと組んでいるヤツだ。昔、WCSの一員だったが、あんまりしょーもない組織なんで辞めてしまい、フリーになったところでカッシュに誘われたワケだ。こいつはWCSには手に負えない仕事をもらってくる役で、戦略もこいつが立てる。報酬としてちゃんと金を受け取って来る常識ヤローなので、経営も担当する

▶本書用新作

BUST BY KATSUYA "TERRA" TERADA

60×110×150mm/ Sculpey 250g, Fando 20g, Bras rod 120mm

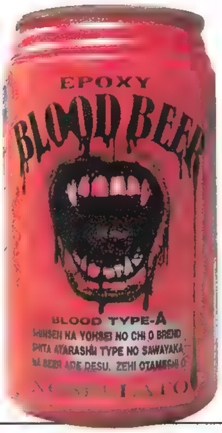
SHORK'S FAVORITE ALCOHOL

CYKAIZO

チィミドゥロがオリジン・インの憑依を防ぐためにブレンドした酒。ズールー・アスファルトがオリジン・ヤンからもらったものを分け与えられた

EKIDONA GORDON

ハードタイム・タナカじじいが造った怪しいジン。ビンの中には人の心を溶かす様々な香りを放つゲルニル虫が入っている



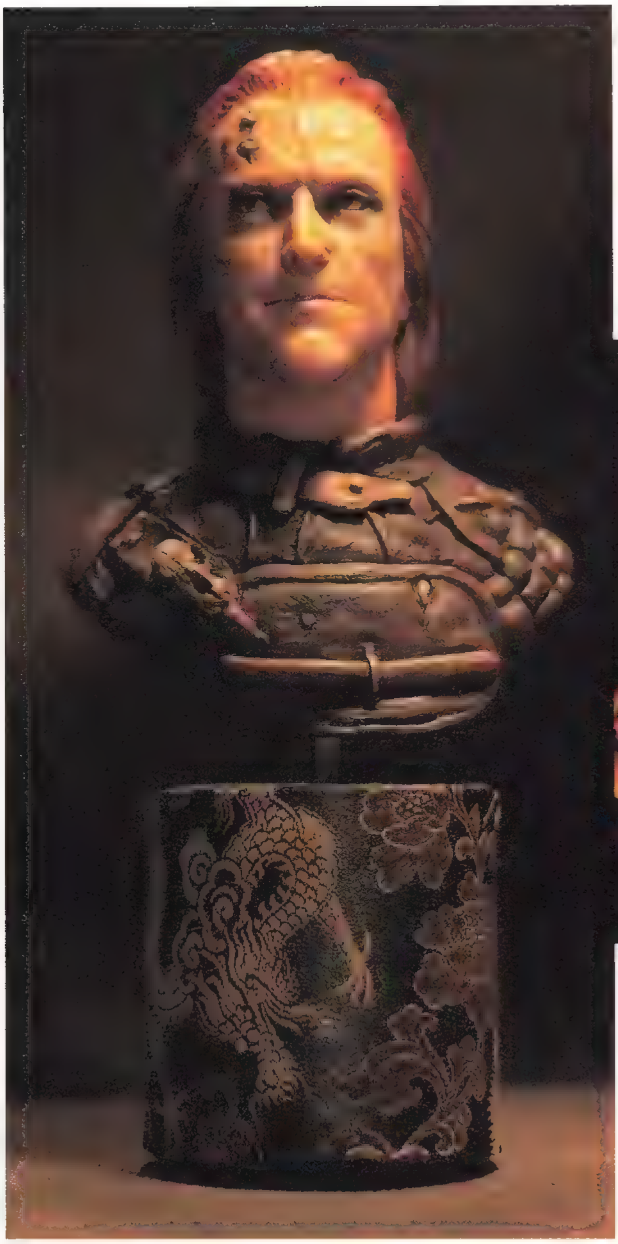
BLOOD BEER

この世界で最もポピュラーな"TOMATO & BEER"を発売したEPOXY社よりの新製品。缶のサブコピーに書いてある通り、本当に妖精の血と思えるほどに香り高いが、鉄くささは無い。体力回復にも効果を発揮するため、WCSの標準装備レーションに決定したらしい

KASH IRON-BLOOD

オレの生みの親。ヤツは狂ったWeptureの創造主、ノイマー生体工学研究所で働いていたが、辞めさせられ、フリーの実験ヤローとなってオレを造ったというワケ。ノイマーにいる頃、細胞遊びで変な生き物ばかり造ってたんで、「フランケンシュタイン」と呼ばれてたらしい。オレが捕まえて来たWeptureを報酬として受け取って満足している

▶本書用新作



BUST BY
KATSUYA
"TERRA" TERADA

60×110×150mm/
Sculpey 250g, Bras
rod 120mm

KASH'S OPERATION TOOLS

大抵はオートマティックプログラミングによる手術を行なうが、カッシュ自身、オペを"芸術"と見ているために、創作性のある部位や臓器などを造る時には、これらの手動器具を使っている

FAILER-SOFT SHELL

200×200×110mm/Takeya's Batta creature, Kaiyodo's resin model-The fly, Lindberg's plastic model-Bull flog, Epoxy putty 50g, Tamiya's plastic model-motorbike, Vinyl tube 70mm

カッシュがオレを創造する前に、外殻の膨張・変形耐久テストのために造られた外骨格生物で、過度のテストに耐えきれず、キチン質が柔らかくなってしまった。今は生命維持装置を取り付けて、療養生活を送っている　▶本書用新作

FAILER-MELTY MUSCLE

200×200×100mm/Past work-Zolgog, Takayanagi's work-Melty head, Terada's work-Melty face, Fando 50g, Sculpey 60g, Epoxy putty 50g

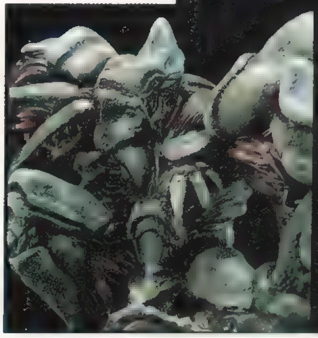
コイツもオレを創造する前に、"マッスル・ブイ"(筋肉管)の増幅・変形の耐久テスト用に造った筋肉生物。やはり過度のテストの連続により、筋肉各部が崩れてしまった。現在はオレのオフィスのペットとなって、療養生活を送っている

PHANTOM CORE GARAGE KITS

PHANTOM CORE #2

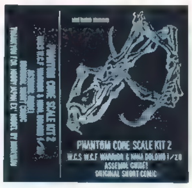
1:35 PHANCURE

「ファントム・コア」の初めてのガレージキット。小スケールでシリーズ化を狙っていたが未だにラインナップは少ない。韮沢自ら手流しで複製したために、GKイベント6日前から作業して、15個しか抜けてない超レアアイテム／ 買ってくれたのは同志達だ／



1:35 MISS FITS

ガレージキットシリーズ第2弾／…の予定だったミス・フィッツ。シリコン型まで起こしたのだが、型を紛失し、ヤル気をそがれまくって断念／ 現在でも原型は残っているが、再開の予定は全くない／



1:20 NINA DOLONO

正式なガレージキット第2弾／P.29に載っているWCSのスティーブ・オイルレインと2体セットで発売したもの。WCSの方は原型をタケヤに頼み、寿屋さんに抜きをお願いしたもの。この世に50個しかないハズなんだけど、香港の模型雑誌の広告に載っていたのには驚いた。私も原型しか持っていないので欲しい／ くれ!!（韮沢）

CREATURE EXHIBITION

MAN CHAMELEON
MAN SPIDER
CAST OFF THE SKIN
MAN GRASSHOPPER
MAN VAMPIRE BAT
BELSEBUB
MAN CHRYSALIS
CHRYSALIS COLLECTOR
LEVIATHAN
YELLOW
POKER FACE
AMDOSKIAS
HOKYO
PHANTOM

CREATURE ― 元来、神の創造物を総称して遣われた言葉であるが、いつしか人為的に造られた生物のことを指すようになった。時には、生物を模した造形物をこう呼ぶこともある。ここからのページは、韮沢 靖が「神」となって産み出した様々なCREATUREをお見せする。モチーフは、動物、シュールな西洋怪人、伝説上の妖怪などであるが、いずれもヒトの姿にこだわってデザイン・造形している。

MAN CHAMELEON

310×240×410mm/Fando 450g, Epoxy z-1 380g, Ball bearings (0.5mm～1.0mmφ)×700, Lindbergh's Plastic model-frog/Base…Fando 1000g, Epoxy z-1 620g, Revell's resin model-human skeleton, Acrylic plate 70×100mm, Scenery powder-green 3g, Real twigs, Real cedar leaves

先端技術を有する国際謀略組織が、作戦遂行のために工作員をサイボーグ化。このカメレオン人間は、国家機密や重要書類を掠奪するスパイ的活動を目的に造られた。よって、体色を変化させてカムフラージュしたり、身軽に跳びまわるといった、まさにカメレオン的な能力が付加されている。身体は、高所より飛び降りた時のショックを和らげる軟質構造を持ち、四肢は常人よりもはるかに長く、腹部には、上体をいかなる角度にも曲げられる筋肉を有する。透明素材を使って、カメレオンの保護色を表現した作品である　▶ホビージャパン・エクストラ'90年春の号掲載

MAN SPIDER

450×400×620mm/Fando 1200g, Sculpey 400g, Epoxy putty 200g, 3mmφ Aluminium rod 5000mm, 6mmAcrylic balls ×14, Real fur 40×50mm/Base...Veneer board 300×500mm, Square timber 40×70×500mm, 70mmφP.v.c.pipe 1000mm, Rubber sheets 500×360mm, Plaster 500g

国際謀略組織のサイボーグ工作員、クモ人間。建造物内で待ち伏せし、要人暗殺を行なう。普段は廃屋に隠れ棲み、組織からの召喚を待つ。人間の要素とクモの要素が混合する割合によって3タイプをデザインし、立体化している。モチーフはサイケな模様を持つ女郎グモである
▶ホビージャパン・エクストラ'91年春の号掲載

CAST OFF THE SKIN

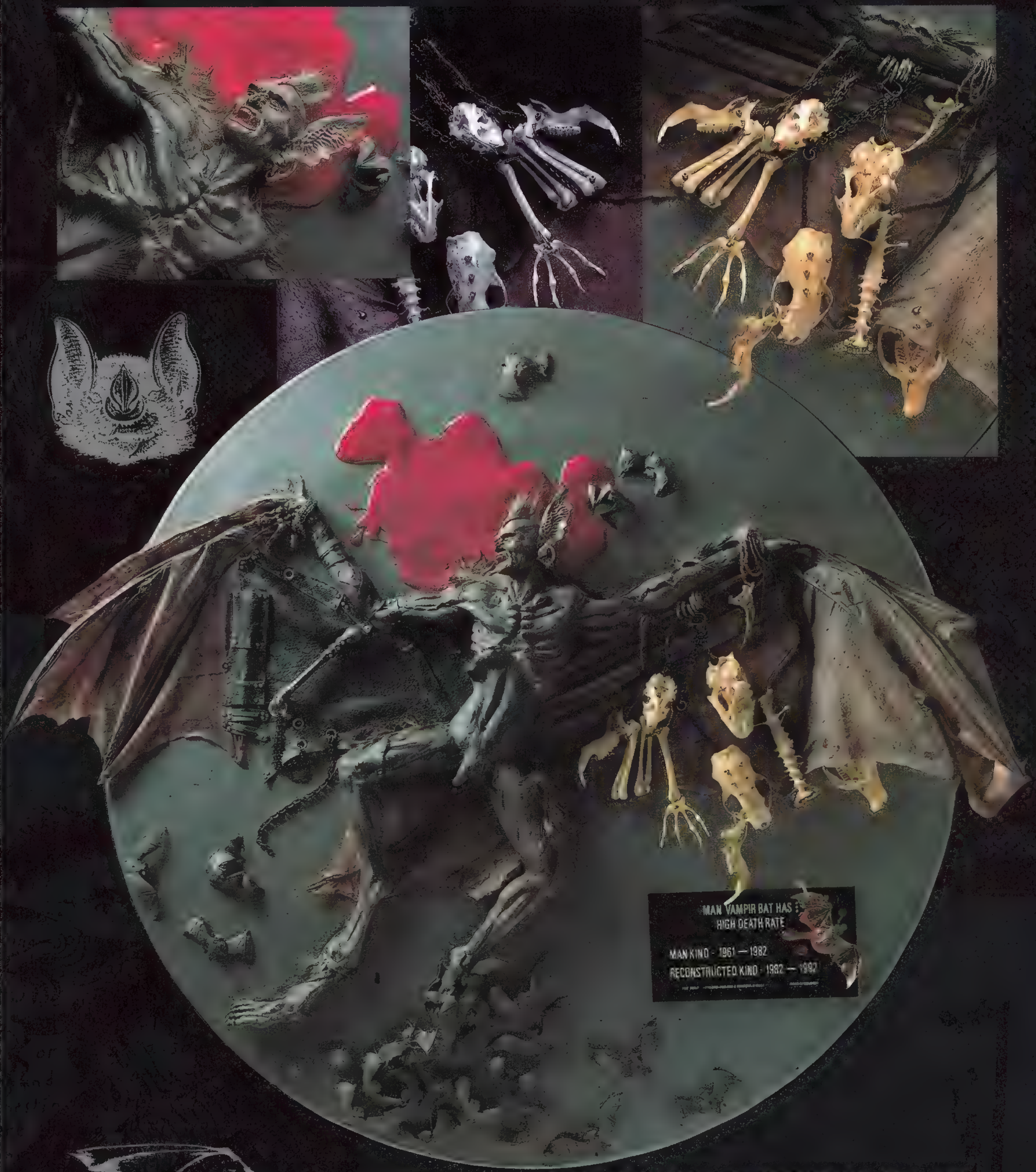
320×150×300mm/Fando 200g, Sculpey 300g, Latex20cc, 3⌀mmAluminium rod 1100mm, beads×2, Epoxy adhesive 100g, Lead sheets 110×400mm

「[illegible]クラス」なる怪しげな酒場で飲んだ"ソイレントグリーン"という名のカクテルの中毒により、体質が変化して、バッタ人間になってしまった男。脱皮を繰り返すたびに、確実にバッタの姿へと変貌を遂げる。作品のテーマは「変身」。バッタの成長過程における「脱皮」と、蝶類の「変態」の両イメージをフュージョンさせた情景を立体的に表現したものである ▶月刊ホビージャパン'92年3月号掲載

MAN GRASSHOPPER with "KASIMODO"

200×400×250mm/Fando 200g, Sculpey 150g, Volks' soft vinyl model, Tamiya's plastic model-Harley Davidson, Real fur 200×100mm, Animals' bone

組織によってバッタ人間にされてしまった男が、組織をスピンアウト。改造人間の悲哀と醜い顔を仮面で隠し、バイクを駆って独り放浪する。旅の先々で出会う悪の改造人間達を、寡黙にただひたすら狩る処刑人。しかしいつしか、殺戮に対する悦びを覚えてしまうのだった。昆虫人間と"パニッシャー"的ダーティーヒーローのイメージを併せ持ったキャラクター。バイクも前衛的な形状で造形している ▶ホビージャパン・エクストラ'91年春の号掲載



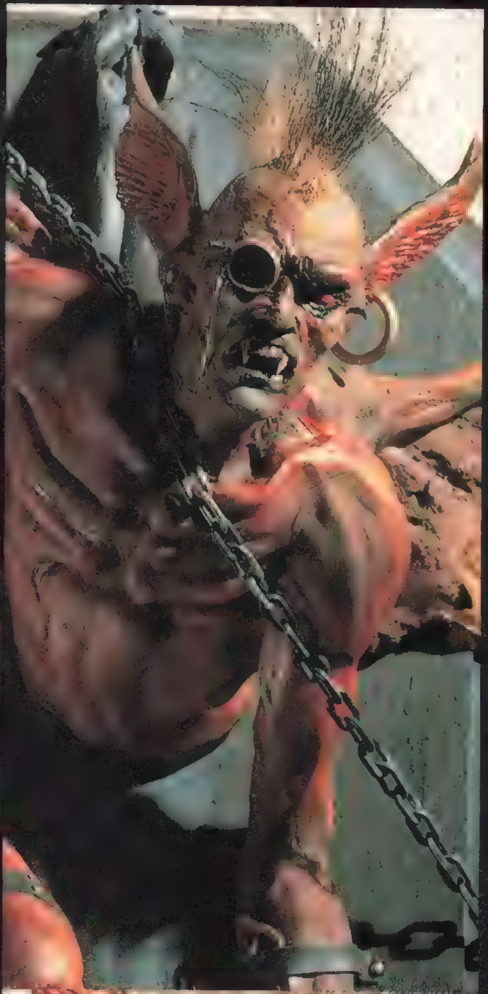
CREATURE EXHIBITION

44

MAN VAMPIRE BAT

550×500×30mm/Fando 200g, Sculpey 300g, 3mmφAluminium rod 2000mm, Lead sheets 600×600mm, Monogram's resin model Bats, Real? blood 300cc

夜になるとコウモリの姿に変貌する種族の男。人間時はハードコア・パンクの趣味があるため、頭髪はモホーク・カット、身体には様々な装飾品を着けている。ケガをした翼をレザーて補修していたが、調子が悪く、墜落してしまった。円型のベースを月に見たて、流れ出た血の赤は、同時に「吸血」を表現。左足は分解して小さなコウモリの群に変わっている。これは「吸血鬼」のイメージからもって来たもの。▶月刊ホビージャパン'92年3月号掲載



MAN VAMPIRE BAT II

300×310×130mm/Sculpey 100g, Epoxy putty 60g, Aluminium rod 70mm, Takeya's resin model-Old man, Animal's bone, Rubber sheets 10×100mm, Real fur 50×60mm, Plastic chain 70mm

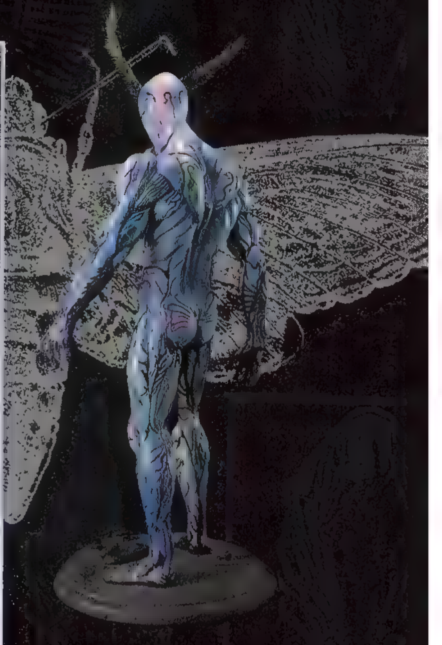
「マン・ヴァンパイア・バットII」。前ページとの連作である。こちらは半立体を木製ベースに埋めこんだ、レリーフ風仕上げとした。設定としては、年に1度、美女が眠る鍾乳洞に群れ集い、決闘によって美女を奪い合う、コウモリ人間の一族の一人…といったところ。ガレージキット化の予定あり　▶本書用新作

BELSEBUB

200×200×300mm/Takayuki Takeya's original resin model, Sculpey 200g, Epoxy putty 50g, Pla-repair 50g, Imitation flies

「ベルゼブブ」(またはベルゼビュート)は"ハエの悪魔"の名前。悪魔の中では位が高いという。作品は、ハエの姿に変身していく男の姿を造形したもの。カフカの「変身」や、映画「ハエ男の恐怖」「THE FLY」等のイメージをもとに独自にアレンジ。"ハエ光り"塗装もこの作品のウリの1つ。

▶月刊ホビージャパン'92年9月号掲載



CHRYSALIS COLLECTOR

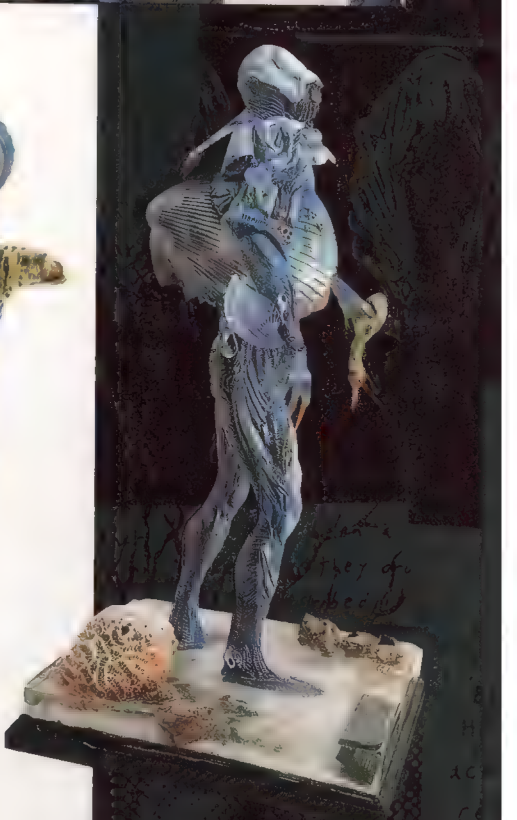
300×370×480mm/Fando 200g, Sculpey 250g, 3mmφ Aluminium rod 1200mm, Photo-etched parts, Luminous paint

地球環境の変化でミュータント(突然変異体)として生まれた新生人類は、その成長の過程でサナギと化す。しかしサナギ時は自由に動けないため、数々の危機に見舞われる。最初にサナギからかえった男が、仲間の安全のため、各地に出向いてはサナギを回収していた。それらを安全な場所に保存し、仲間がかえるのを待つのだ。そんな彼を、人は"クリサリス・コレクター"と呼んだ ▶ホビージャパン・エクストラ'92年春の号掲載

MAN CHRYSALIS

200×200×350mm/Fando 200g, Sculpey 250g, Epoxy z-1 300g, 3mmφAluminium rod 1300mm, Real barnacles, Other real shell

新生人類の成長過程には、サナギと化す時期がある。この時期を経て一人前になると、不思議な能力が身に着くという。しかし、全く身動きのできないサナギ時は、ゴミと共に捨てられたり、湿地帯で腐ったり、見せ物にされたり、盗賊団によって売り払われたりする。作品はヒトのサナギらしさを表現するために人体を部分的にモールド。長い手指が両目に入り込んでいる、スーサイダル(自殺的)なデザインとしている ▶ホビージャパン・エクストラ'92年春の号掲載



LEVIATHAN

100×100×240mm/Fando 300g, Sculpey 300g, Epoxy putty 70g, Balsa board 100×100×200mm

「リバイアサン」（レビアタン）は旧約聖書ヨブ記41によれは、「地上に存在しない海の巨獣」のこと。SF映画「リバイアサン」における、遺伝子操作による深海用生体兵器という設定をもとにイメージをふくらませてみたのがこの作品。分断されたリバイアサンの細胞が深海の貝類や無足生物を採り込みながら、だんだんビーチへ出て来た、といったシチュエーション。知性が無いので無害　▶月刊ホビージャパン'92年9月号掲載

YELLOW

210×210×420mm/Fando 200g, Sculpey 150g, 3mmφAluminium rod 1200mm, Real fur 300×200mm, Rivets 175, Strings 5000mm, "Spiral zone" figure, Sewing tools, Yolk

サーカスやピエロのテイストと"レザー物"とを組み合わせてみた。子供たちに笑われるための存在であるピエロだが、その顔の裏に隠された恐さというものを表現しようとした。身体中に多数のオモチャを着けて子供たちを誘惑し、さらってしまう。得意な芸は操り人形やケン玉である ▶月刊ホビージャパン'92年8月号掲載

POKER FACE

210×160×340mm/Fando 200g, Sculpey 100g, Epoxy putty 70g, 3mmφAluminium rod 1400mm, Real fur 300×300mm, Mini chain 2000mm, Torture tool like metal junk, Real? blood 200cc, Doll house accessories

出会った相手の思惑次第で良い存在であったり悪い存在であったりする。映画「ヘルレイザー」のセノバイト(修道士)的コンセプトの一品。「ポーカーフェイス」とは"のっぺらぼう"のこと。殺戮者が無表情な方がコワイので、ストレートに顔の無いデザインとした。最近のホラー映画のVILLAN(悪役)HEROのデザインによく見られるレザー、ビス、"縛り物"を採り込んでいる。防御用の実用的デザインではなく、自らに苦痛を与えるマゾ志向と"見せる"事が目的のスーツである ▶月刊ホビージャパン'92年8月号掲載

AMDOSKIAS

210×160×300mm/Fando 100g, Sculpey 150g, Epoxy putty 70g, 3mmφAluminium rod 1300mm, Cellophane tape cace, Strings 4000mm, Photo etched parts, Tone of a flute

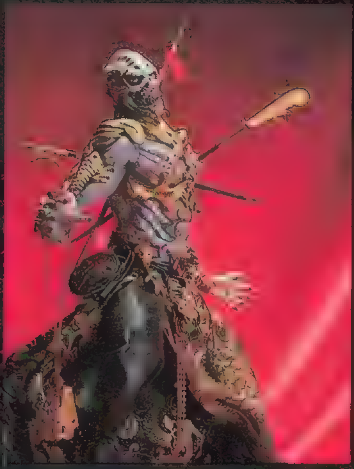
「アムドスキアス」は、悪魔図鑑などでよく見かける、バイオリンを持つ悪魔で、デザイン的にも、角が2本生え、コウモリの翼を持つオーソドックスなもので、我々がストレートにイメージするアクマ像である。作品の方は、管楽器のパイプ類を身体中に配してあったり、顔面半分ラッパだらけといった、シュールな楽器人間をヨーロピアンテイストで造ろうとしたのだが、インドネシアなムードになってしまったようだ ▶月刊ホビージャパン'92年10月号掲載

05

HOKYO[[illegible]]

[illegible] 150g, So[illegible] 00g, [illegible]m, 4mm [illegible]mm, So[illegible]cts, C[illegible] cloth, 4[illegible]mm, Sep[illegible]c, Pho[illegible]ched [illegible], Gold O[illegible]

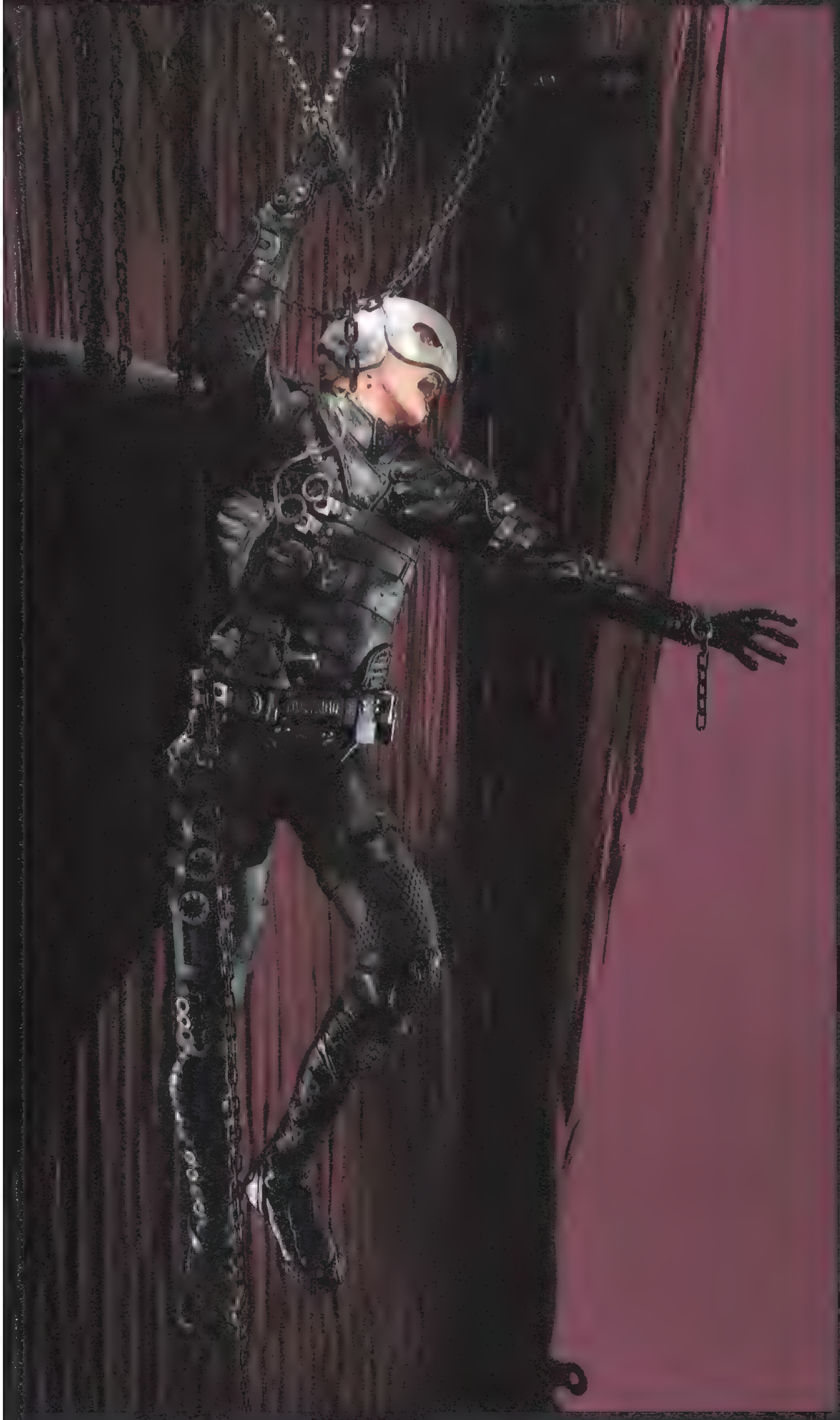
[illegible]風テイストを狙った作品。「[illegible]きょう[illegible]中国の山奥[illegible]出没する、猿によく似た妖怪で[illegible]という凶暴な存在。作品は、中国系という以外は共通項は無いが響きが良いという理由でこの名にした。イメージはむしろ、映画「シッターズ」の"スー・ウォリアー"に近い ▶月刊ホビージャパン'92年10月号掲載

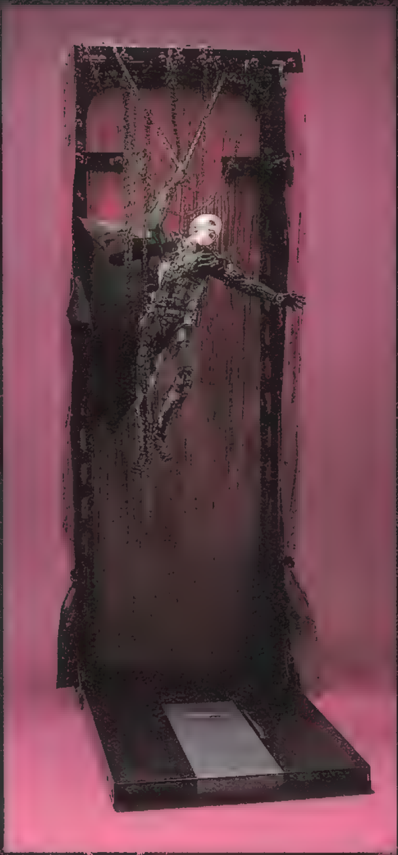


PHANTOM

210×410×800mm/Fando 90g, Sculpey 350g, Plastic parts, 3mm ϕ Aluminium rod 1200mm, 1mm ϕ Vinyl tube 120mm, Rivets×80, Real fur 400×500mm, Aluminium sheets 20×20mm, Glastic eyes×2/Base. . . Steel frames 2200mm, Steel board 450×280mm, Mini chain 5500mm, Bloody cloth 1000×300mm, Lead sheets 300×100mm, Jack Danniels 1.1/2bottle

CREATURE EXHIBITIONの掉尾を飾るのは韮沢のフェイバリット・キャラクターである、映画「ファントム・オブ・パラダイス」のファントムへのオマージュ的作品である。自ら作った曲を盗まれ、そして顔までも失ってしまった作曲家ウィンスローの悲劇の物語。ウィンスローが仮面を被りファントムとなってロープで登場するシーンをイメージ。仮面はギアクラッシュさせ、コスチュームも完全オリジナル・デザインとしたが、色味により、劇中のファントムと同じ印象を与えるものとなった ▶ホビージャパン'92年11月号掲載





VARIOUS WORKS

BLAUE AMMON
FAILED GUYVER
AQUVA TANK

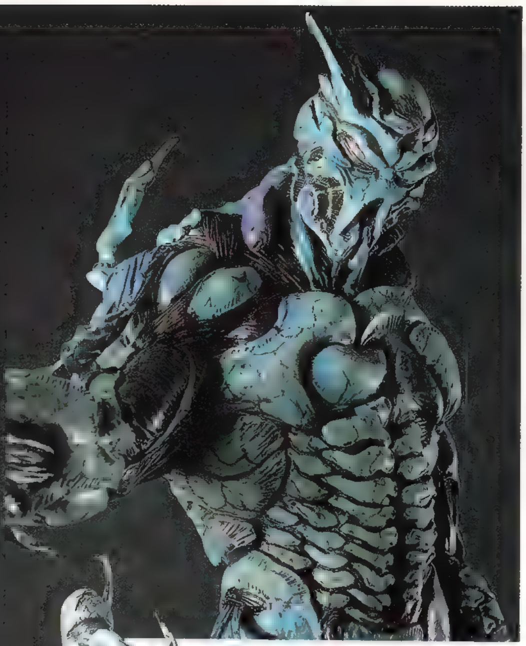
CD-CENOBITE
BEAST WARRIORS
A-RANK THUNDER
SUDDLER
LILIPUT

このパートは、様々な企画・目的のために造形した作品を集めている。競作企画、ガレージキット改造作例、ゲームソフトのパッケージ用作品、映画宣伝用フィギュア等々であり、その題材も多岐に渡る。月刊ホビージャパン'88年3月号の特集「THE FUTURE POLICE」のために製作した"アーマード・ポリス"が、写真紛失につき掲載不可となったことをお断りしておきたい。

BLAUE AMMON

140×220×160mm/Styroform 50×120×150mm, Fando 100g, Sculpey 400g, 3mmφ Aluminium rod 600mm, Epoxy putty 100g, Vinyl tube 300mm

[illegible]いう性質をも表しているのかもしれない) ▶本書用新作



FAILED GUYVER

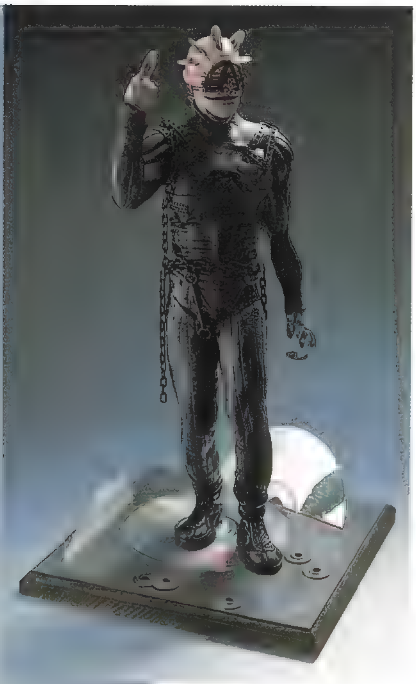
330×120×210mm/Fando 100g, Sculpey 400g, Epoxy putty100g, Some real shell, Condom

高屋良樹のコミック『強殖装甲ガイバー』をモチーフにオリジナル造形する"ガイバー・コンペ"参加作品。タイトルは「失敗したガイバー」の意。ガイバー・ユニットが悪人に作用し、しかも変な箇所に付着したまま殖装してしまったら…というコンセプトで製作。従って、殖装のしかたが一様でなく、アンシンメトリーな姿になっている。元が悪人のため、顔つきも凶悪ならば性質も残忍で、人間を殺すことに喜びを感じている…そんな様子をストレートに表現　▶月刊ホビージャパン'91年11月号掲載

200×300×100mm/Styroform 50×50×120 mm. Fando 60g. Epoxy putty30g. Vinyl tube 30mm. Tamiya's 1:35 scale figure. Hasegawa's 1:72 scale figure. Roco model's plastic madel-M113 US personnel carrier

AQUVA TANK With BABOSH & SABIZUME

ホビージャパン「近未来戦車コンテスト」ゲスト参加作品。巨大兵士バボーシュとサビズメが乗用する生体戦車、という設定。関節一つ分の巨大な指状のものがボディ左右からビッシリと生えており、それらが連動することによりクロール走行する。兵装としては、主砲から巨大な火球を発射するのみで、しかも装填にひどく時間がかかる。情景は、タンクを止めて一服しているバボーシュに、旅人が道を訊いている(人探し?)といったところ ▶月刊ホビージャパン'90年1月号掲載



CD-CENOBITE

210×160×340mm/Fando 100g, Sculpey 300g, Epoxy putty 100g, 3mmφAluminium rod 1200mm, Rubber sheets 40×120mm, Urethane sheets 40×300mm, Real fur 70×30mm, Washer ×9, D pattern washer ×3, Plstic chain 600mm

映画『ヘルレイザーIII』登場のキャラクター。ホビージャパンに載った他ページの「イエロー」「ポーカーフェイス」を見た映画配給会社の担当者が、宣伝のためにと韮沢に懇願し、モデル化に至ったという作品。劇中の"CD"は、首長的魔道士"ピンヘッド"の魔法により、ディスコ"ボイラー室"のＤＪが変身した魔道士という設定。身体中に着いているCDを発射して殺戮を行なう　▶月刊ホビージャパン'92年11月号掲載

PLAYER
+
DIECOON

LIVE-ROSSER
SUVELIA-
CUP 1

FOR
MEGADRIVE SOFT

BEAST WARRIORS

210×160×340mm/Fando 260g, Sculpey 200g, Epoxy putty 50g, 3mmφ Aluminium rod 1200mm

[illegible]によって闘うために生み出された巨獣達、「ビーストウォリアーズ」。日本テレネットのメガドライブ対応ソフトのキャラクターデザインということで受け負ったのがこれ。内訳は、プレイヤーキャラ及びビースト達のデザイン約30種と、パッケージ写真用立体物。元来、韮沢の興味のあるネタだったただけに大ノリ気で始めたが、動かす必要性や左右対称という制約に、非常に頭を悩まされた仕事だった

A-RANK

THUNDER

FOR CD-ROM

210×160×340mm/Fando 50g, Sculpey 450g, Epoxy putty 250g, 3mmφ Aluminium rod 1300mm, Real fur, Rivets×20

「ビーストウォリアーズ」の1年後、今度はメガCD対応ソフト「Aランク・サンダー」のデザインを担当。国家転覆を狙う秘密組織によって改造人間にされた男が、組織に対して反旗を翻し挑戦していくという話。改造人間モノということで、前回以上に意気込んでやった仕事である。このページに掲載したのは、デザイン決定稿と、パッケージ用写真を転用させて頂いたもの

TYPE B
A-RANK THUNDER

C-RANK GYROSTIN

SUDDLER

210×320×140mm/Kotobukiya's resin model-G-3, Epoxy putty 200g, Heat pressed plastic parts, Revell's plastic model-Human skeleton, 5mm/Crystal light parts, Fancy feather

コトブキヤのガレージキット「G-3」の改造作例。元デザインが昆虫的なためそのイメージをさらにふくらませての改造となった。雑誌掲載時は、「ファントム・コア」のキャラクターという設定で登場。ファンキュアに下半身を切断され、魔法屋リグルに飛行機のランディング・ギアのようなものを取り付けられた
▶ホビージャパン・エクストラ'88年夏の号掲載

LILIPUT

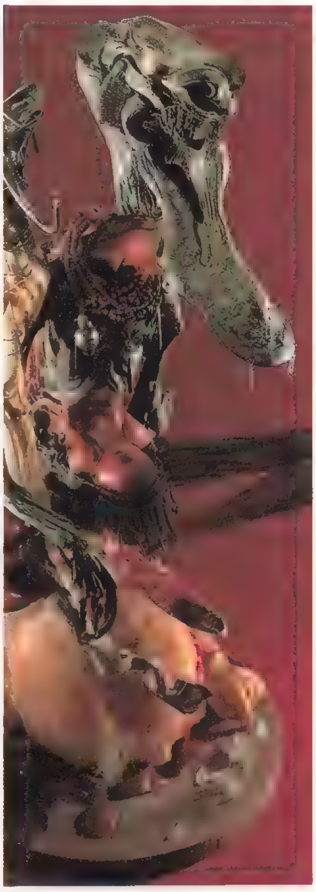
140×170×180mm/Takeya's resin parts, Epoxy putty 200g, Glastic eye, Steel wire 250mm/Base... Epoxy adhesive 1/3tube

韮沢が制作に関わった映画「ゼイラム」で、宇宙のおたずね者ゼイラムが、ピンチに陥った時にカプセルの中から出現するお助け怪人、"リリパット" の設定をもとにオリジナル造形した作品。コンセプトとしては、劇中登場の3匹の特徴が混ざって一体になった といったところ。"未完成さ"を表現するため、アンバランスなデザインとし、ボルトやワイヤー等の人工物を取り込み、シュールな雰囲気を盛り上げている ▶月刊ホビージャパン'91年12月号掲載

創作活動においても私生活においても、韮沢靖と互いに影響し合う間柄であり、ヴィジュアル業界の第一線で活躍しているクリエイター達。本書でも韮沢デザインの立体化、あるいはイラストで参加してもらっている。このパートでは、各人のオリジナル作品を寄せてもらった。但し、[illegible]には韮沢デザインの中で最も気に入っているというキャラクターを立体化してもらい、寺田克也にはイラストレーションのページで登場してもらうことにする。

TAKAYUKI TAKEYA
YUSUKE TAKAYANAGI
EISAKU KITO
KAZUJI KOSUGI

GUESTS' GALLERY



［竹谷隆之］1963年北海道生まれ。阿佐ヶ谷美術専門学校卒業。造形家。映画「未来忍者」「ゼイラム」、「ファンタゾーン1990」オープニングフィルム等のモデル、プロップを製作。コトブキヤ、マックスファクトリー、海洋堂、ファルシオン、M1号等のガレージキットの原型を手がける。月刊「ホビージャパン」にも作品を多数発表。韮沢とは小林誠の仕事場で出会ってからの知り合い。最も親密な間柄である

AN OLD CHERUBIM HUNTER

悪魔は天使を獲(と)ります。でも多くは殺しません。食べるだけ。肉はもちろん、脂や髪の毛、骨に至るまでムダ無く使います。だから、大物が獲れると皆が何日も困らなくてすみます。近ごろは天使の数がめっきり減りましたが、このお爺さんは部族一の名人で、七日に一度は獲物があります。秘訣は、十字架を括(くく)りつけた道具を持ってジッと隠れていると、向うから寄って来るのだそうです。そこをグサリとやるわけです（竹谷）

170×170×450mm/Sculpey 300g, Resin 200g, Epoxy putty 150g, 3mmφAluminium rod 100mm, Doll baby, Balsa timber, White metal parts, Some accessories, Epoxy adhesive, Feathers, Racoon dog fur, Lead, Driftwood

MODELING BY TAKAYUKI TAKEYA

GOSHI

260×260×320mm/Styroform, Fando 400g, Sculpey 1200g, RC engine, Leadline 600mm, Lead board 30×200mm, R-rivets ×10, Some plastic parts, Hotpore/Base...Concrete block, Sponge, Hotstuff

今回またもや下品極まりない作品を載せて頂きました。韮沢氏が「高柳はこれね」って感じで、変質的筋肉肥大物、いつものヤツ、というデザインを心づくしで描いて頂いた、私的趣味な作品です。ヤツの武器は拳のみ。下半身が無くとも内臓ひきずって歩き、相手を砕き、殺す。知能は低いので、敵・味方の区別ができず、死ぬまで殺戮を続ける…ってところでしょうか。これからも!Q60シリーズ、体力がウリ、みたいなヤツをやってみたいですね(高柳)

[高柳祐介]1965年千葉県生まれ。アデランス・スタジオADに所属、後に造形グループ・ガラパゴス、アルゴナーツに参加、現在フリーの造形家。ハリウッドの「MONSTER MAKERS CONTEST」優勝。テレフィーチャー「アフターマン」のアニメーション・モデル、映画「ゼイラム」最終形態制作、映画「真・仮面ライダー」変身エフェクト、映画「仮面ライダーZO」クリーチャー制作、「バーチャルシアター」スペシャルメイク等を担当。韮沢とは竹谷隆之を通じて知り合う

MODELING BY YUSUKE TAKAYANAGI

19

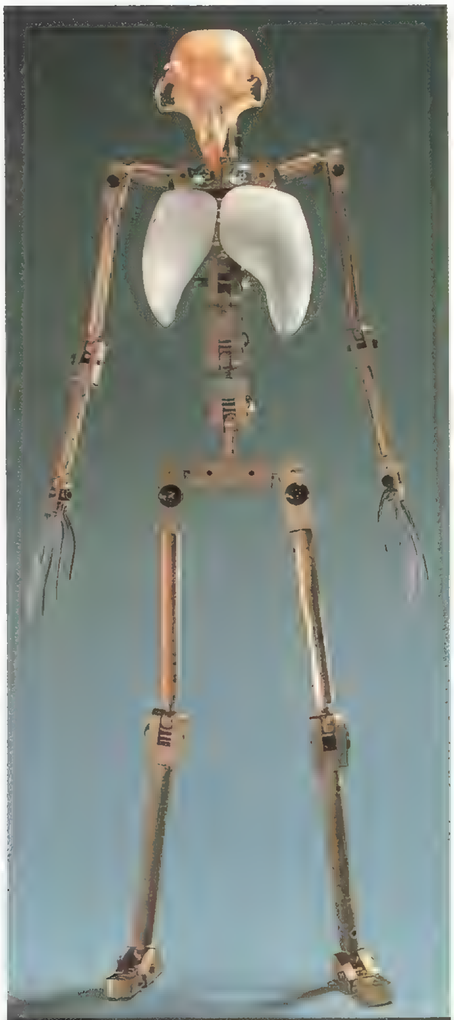
［鬼頭栄作］1969年愛知県生まれ。阿佐ヶ谷美術専門学校卒業。イラストレーター兼造形家。「日本グラフィック展」準グランプリ受賞、「オブジェ東京展」「日本イラストレーション」展にそれぞれ入選。映画「ゼイラム」プロップ、久石譲CDジャケットのオブジェ、「ぴあマップ」表紙のオブジェ等を担当。韮沢とは竹谷隆之を通じて知り合う

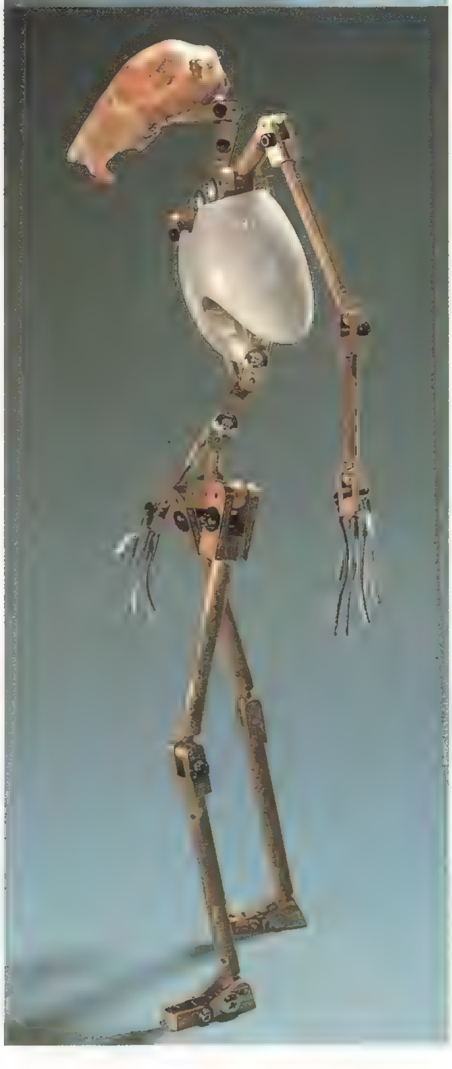
BARQUIER

220×180×270mm/Acrylic form 30g, Woody putty 120g, Plastic putty 10g, Epoxy putty 150g, Wood parts ×2, Plastic propeller ×2, Rivets × 50, Eyelets ×13, Some resin parts, Plastic model parts- car&bike, CTR gears, Lead board 50×100mm

1972年6月29日、ファティマにて目撃されたとされる天使を再現した物である。通常天使は視覚的、電磁的にステルス化されている場合が殆どなので、非常に稀なケースと言える。目撃者は少年とその祖母で、細部の証言は得られなかったが、非攻撃型の形状や独特のサウンドパターンや後光効果(ハローエフェクト)等の特徴から、七大天使の内のバルキエル説が有力視されている。因みにこの老婆は盲目であったが、その姿を認識したという（鬼頭）

MODELING BY EISAKU KITO

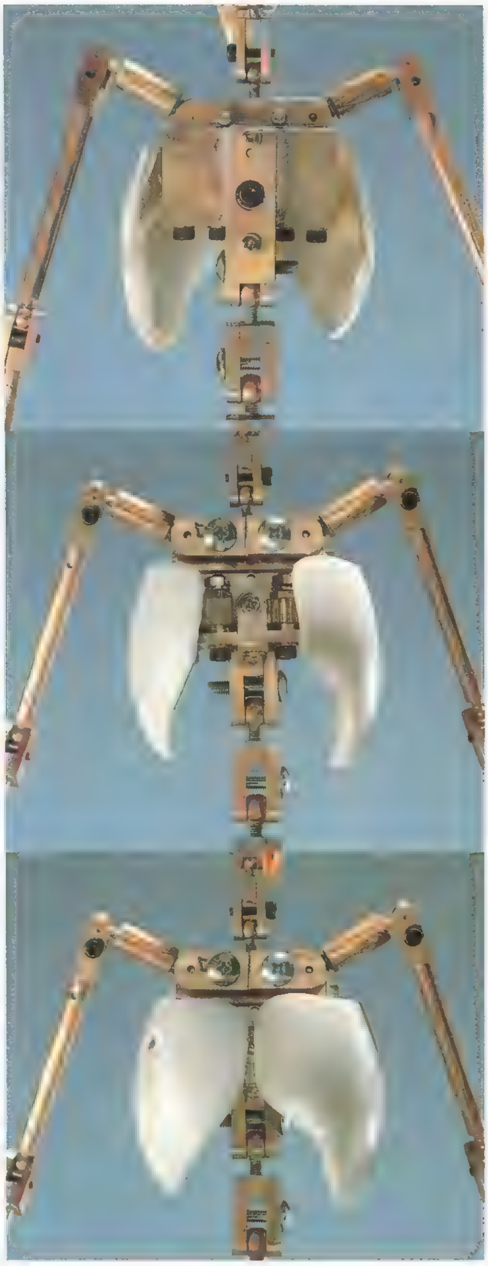


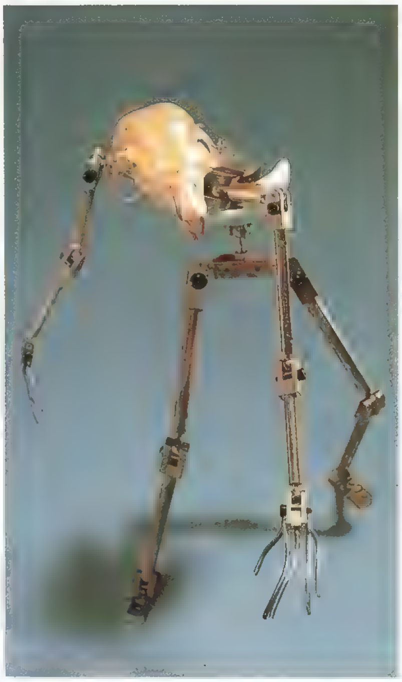


BI-COLOR
ORIGINAL CONCEPT ARMATURE

本書刊行の話を聞いた小杉氏が言ってきた。「本、出すんですってぇ？ じゃあ僕も何かやろうかナ、そうだ、それがいいや、やるに決めた／ 何かと何かが戦うのにしましょうョ／」有難い／ 私もモデルアニメーションは死ぬまでにはやりたかった。で、何かと何かは、ワイヤー、カミソリ、チェーンなどを使うモノクロなヤツ"MONO"と、ケン玉、竹馬、バネ、アヤトリなどを使うピエロなヤツ"VIVID"にした。撮影は'93年春始動!?（韮沢）

40×70×150mm/6mφBras balls×24, 4mmBras rod 65mm, Square rod 5×10×30mm, Animal bone





［小杉和次］1964年東京生まれ。中学・高校時代からモデルアニメによる自主映画を撮り始め、東京国際大学時代に初期代表作「エイリアンハンター」を完成させる。造形集団ガラパゴス、小川モデリングでの仕事を経て高柳祐介と造形グループ・アルゴナーツを設立。代表作「妖怪ハンター・ヒルコ」「ゼイラム」、テレフィーチャー「アフターマン」。現在は造形および人形アニメ製作会社DŌDŌを設立し活躍中。韮沢とは竹谷宅にて知り合う

BUILT BY KAZUJI KOSUGI

MONOCHRO SPIRIT

ORIGINAL CONCEPT

BI-COLOR

MONO CHRO SPIRIT

TWO-TONE

モノクロの魂を持つ生命体。カミソリ、チェーン、ワイヤー、フックなどを自在に操る。病的な白い肌に黒いレザー物をまとう。デザインは準備稿である

VIVID SPIRIT

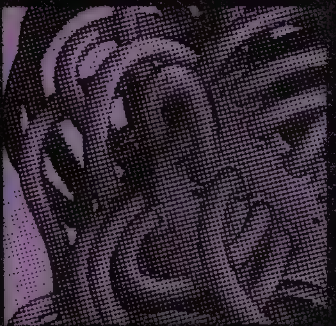
色の魂を持つ生命体。カサ、玉、太鼓、バネ、竹馬、色彩などを自在に操る。極彩色の筋肉に補色のスーツをまとう。マジックも使うらしい。これも準備稿である

VIVID SPIRIT

YASUSHI NIRASAWA ORIGINAL IMAGE BOARD FOR BI-COLOR

PHANCURE
365×515mm/Colored pencils and color ink on paper
HOBBY JAPAN EXTRA '88 SPRING

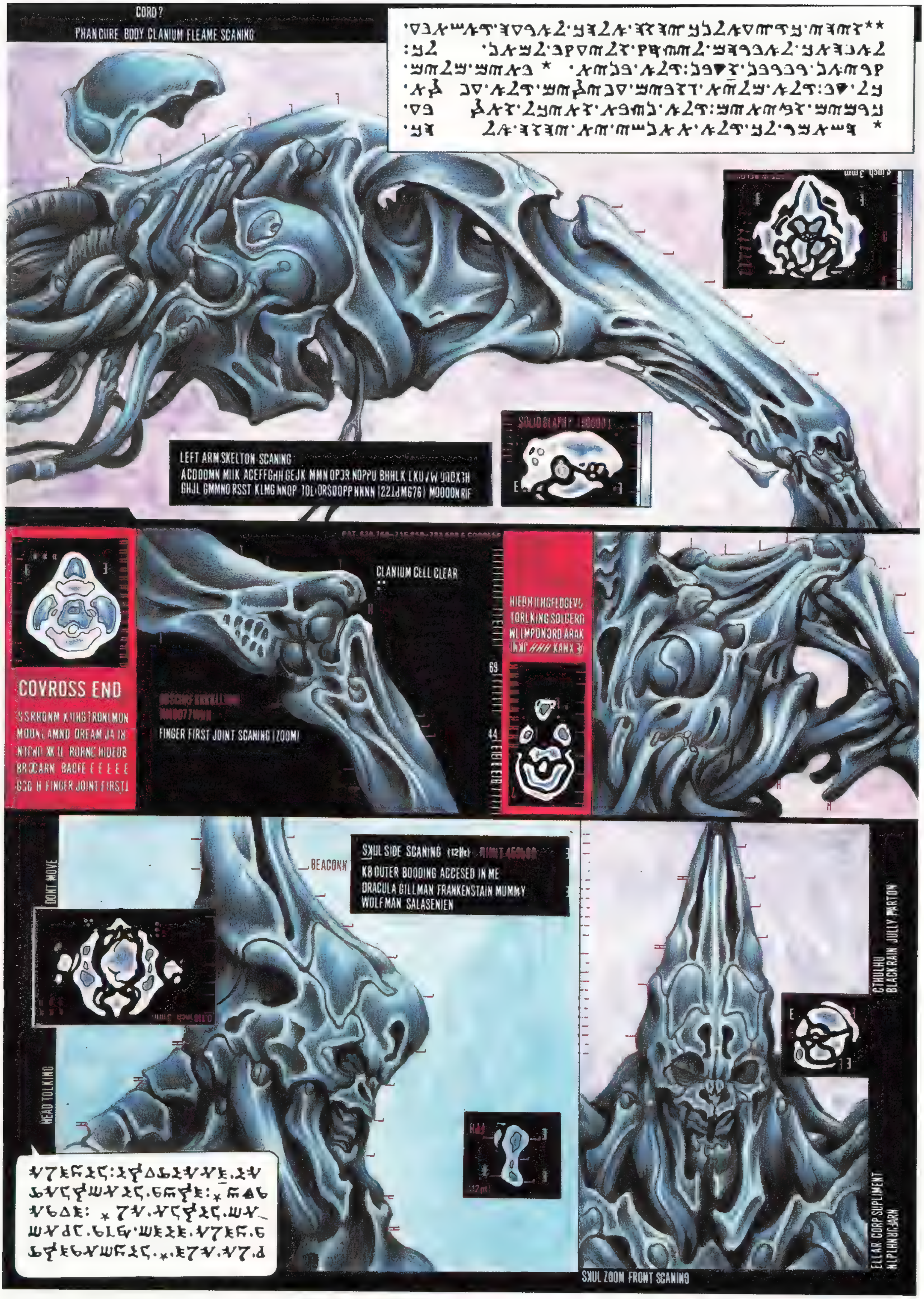
2D WORKS



ILLUSTRATIONS FROM

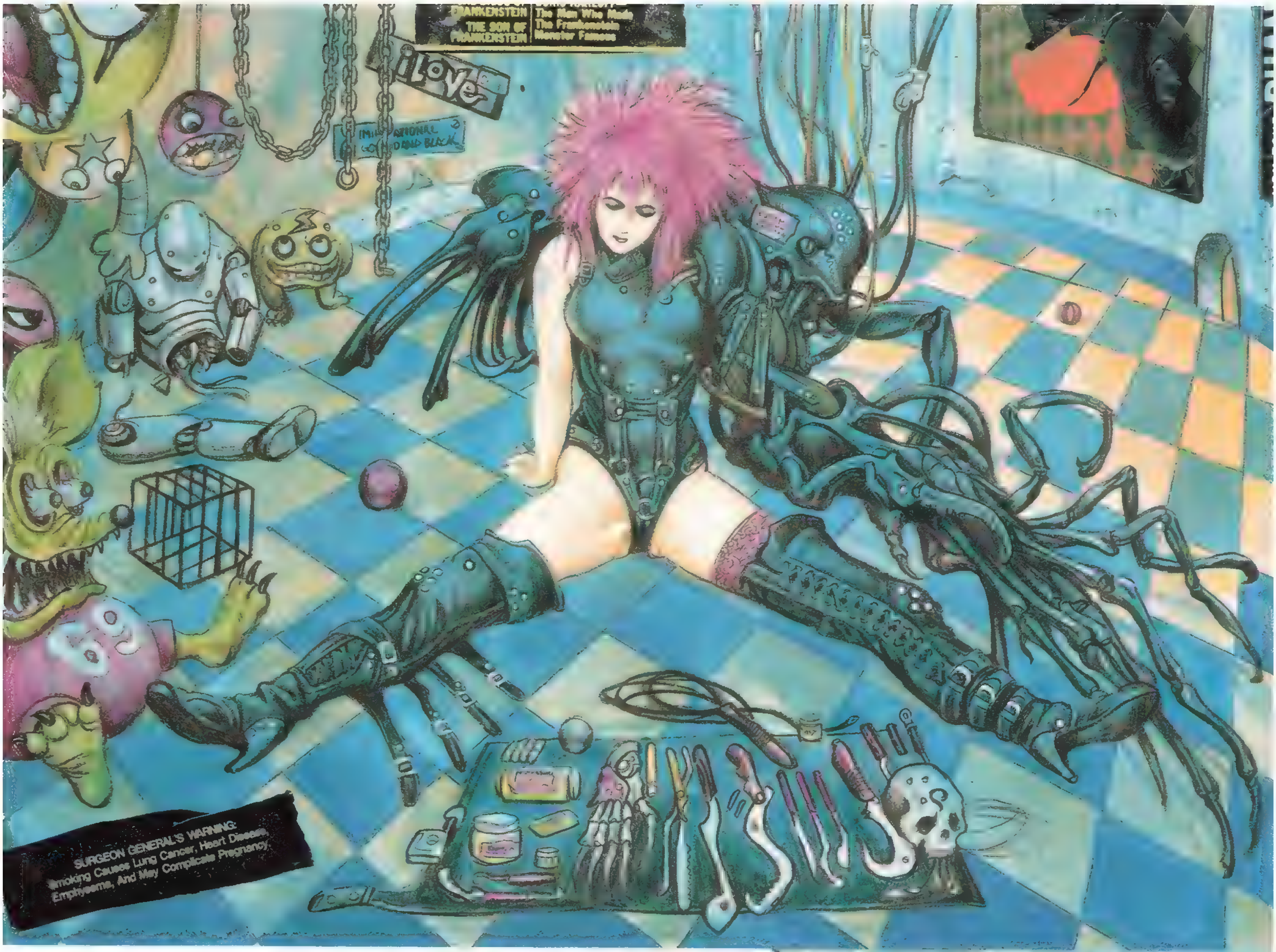
PHANTOM CORE

このパートに収録したのは、ホビージャパン・エクストラに掲載されたコミック「ファントム・コア」の扉絵、冒頭カラー稿等に描き下ろし画稿を加えたものである。扉絵は寺田克也によるものも含まれており、また同者によるゲスト参加ページもこのパートに設けている。



SCANNING FRAME

285×365mm/Colored pencils and color ink on paper board
HOBBY JAPAN EXTRA '90 WINTER



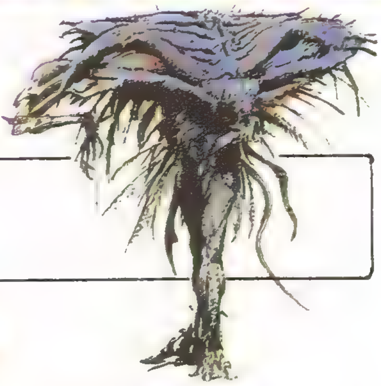
ADJUSTMENT ROOM

258×365mm/Colored pencils and color ink on paper board
NEWLY DRAWN

WHITE MUSCLE SUIT INNER

365×268mm/Colored pencils and color ink on paper

NEWLY DRAWN



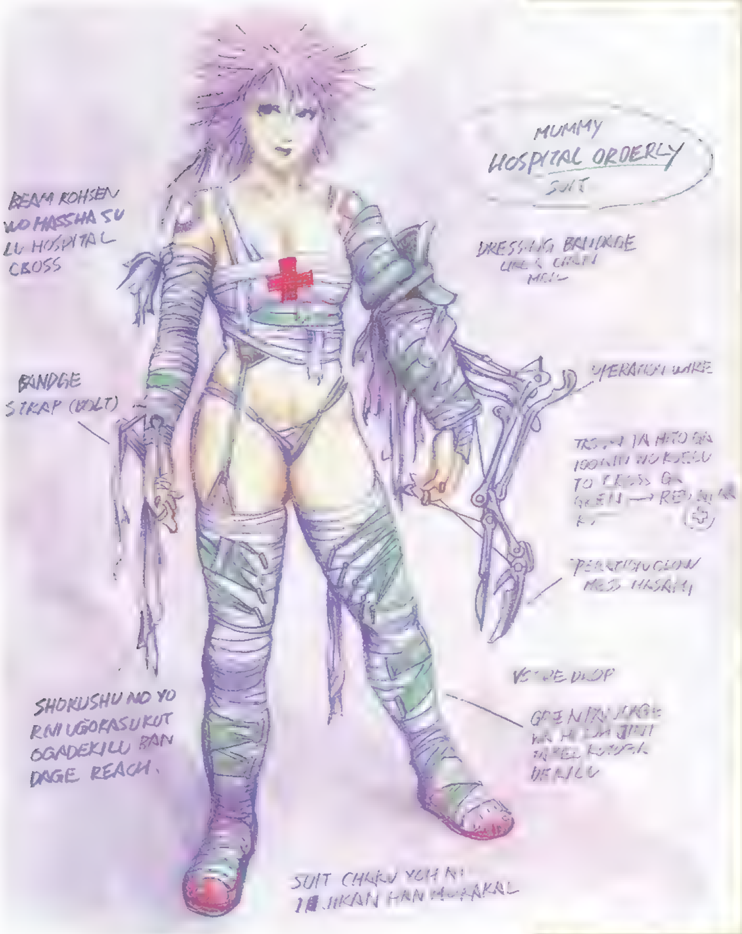
YOLLGARN
Frank has always valued. The artist now also has a spacious studio—but tends to work, as usual, in the heart of a vociferous and omnipresent family, all of whom appear to

GREENGOMOSS
For the past several years, Frazetta has accepted only those commissions that really interest him. Profits from the sale of posters and prints made from his work have long sinc freed him from the grind of earning daily bread

NURESANE
In other words, commerce claimed him from the start of his professional career—but his talent stamped all his work as clearly and gracefully as the bold signature his fans

ENDING OF FIRST STORY

262×259mm/Colored pencils and ink on paper board/HOBBY JAPAN EXTRA '88 AUTUMN

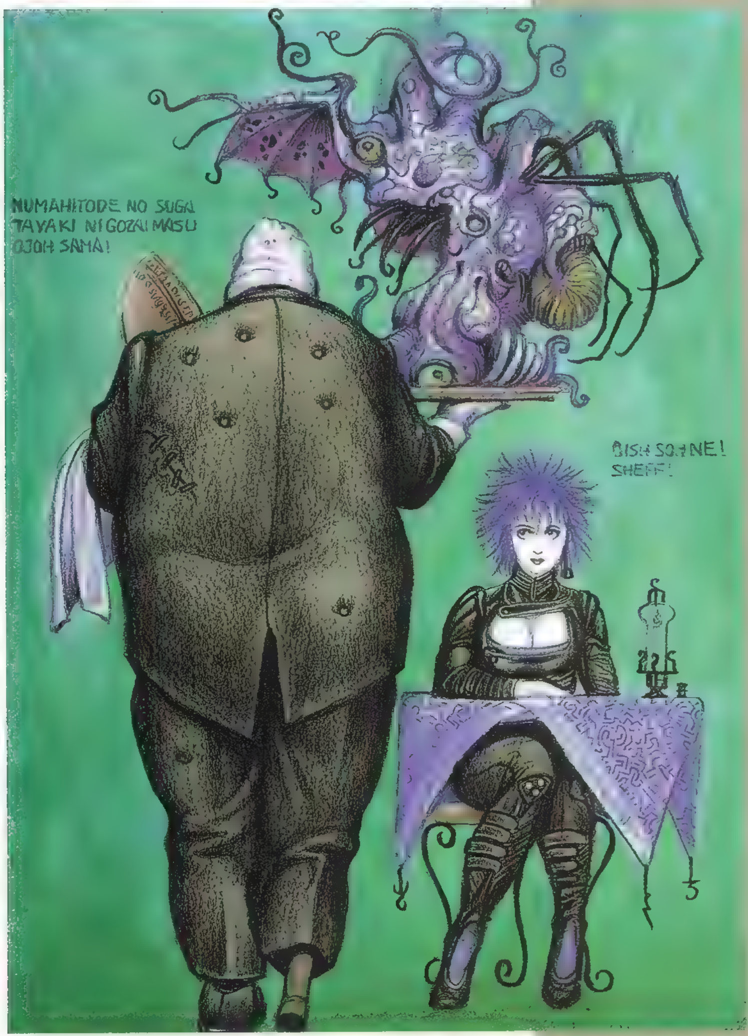


HOSPITAL ORDERLY SUIT

329×229mm/Colored pencils and color ink on paper
HOBBY JAPAN
EXTRA '92 SPRING

GOBLIN LUNCH

259×181mm/Colored pencils and color ink on paper
HOBBY JAPAN EXTRA '92 WINTER



COLOURING & COSTUME VARIATION'S

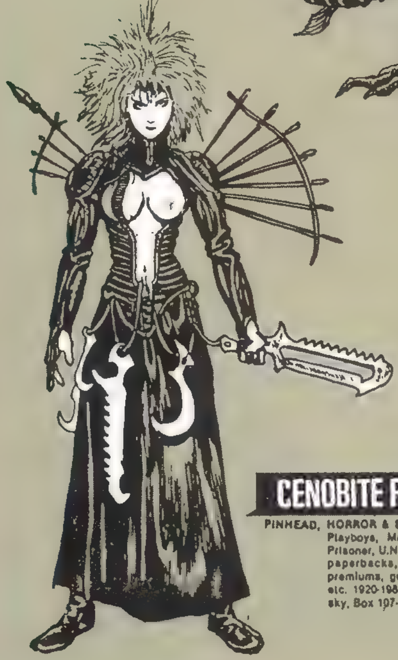
OF NINA DOLONO COLLECTION

CLONOS SKULL SKIN

WANT TO BE A VAMPIRE This video shows the way to produce horrifying realistic false teeth—the art dentists use—and how to slime—(VHS) $15.95 + $3.80 (s&h) K.D. S 2767 Sherlock Dr. San Jose, CA 95121—C add state tax
"SLASHER" AN AUDIO HORROR MIND Visual lyrics with music and FX. You mus

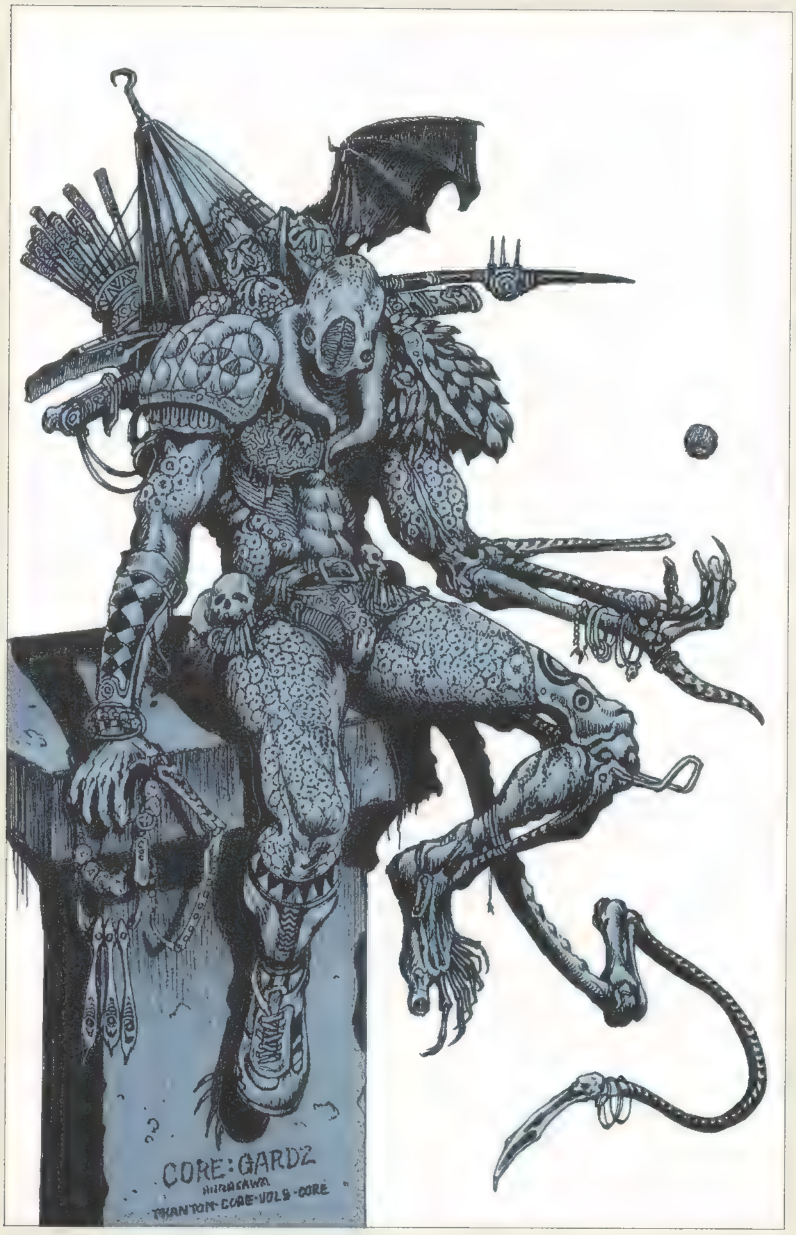
GILLMAN SUMMER SKIN

MASQUERADE The how-to video of sci fi/horror makeup. Former BBC makeup artist Sheelagh Wells demonstrates makeups from Doctor Who, Blake's 7, Phantom, aging, burns, blood & gore, 3D masks and more. $14.95 + $2.00 P&H. VHS only Send check/mo payable to Space Rat Press to Masquerade PO Box 422 Park Ridge NJ 07656.



CENOBITE REPLICA SKIN

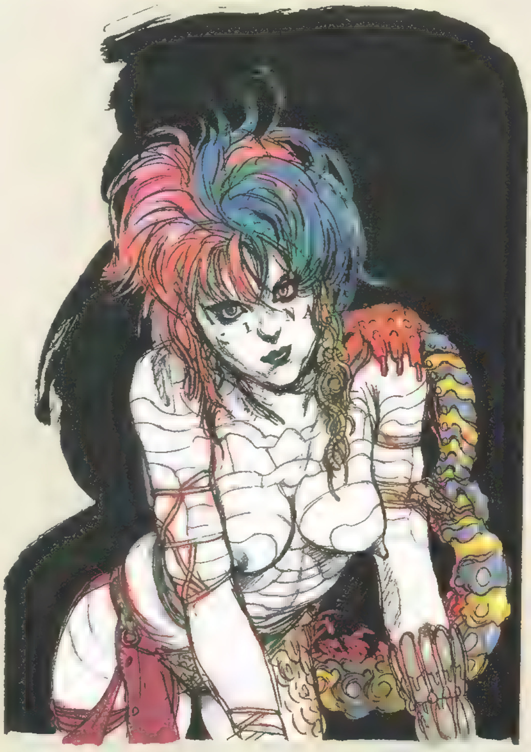
PINHEAD, HORROR & SCI FI MAGAZINES, James Bond, Playboys, Movie & TV Mags, TV Avengers, Prisoner, U.N.C.L.E., Dark Shadows, TV Guides, paperbacks, comic books, serial items, premiums, gum cards, movie posters, photos, etc. 1920-1985. Catalogs $1.00. Howard Rogofsky, Box 107-F, Glen Oaks, NY 11004.



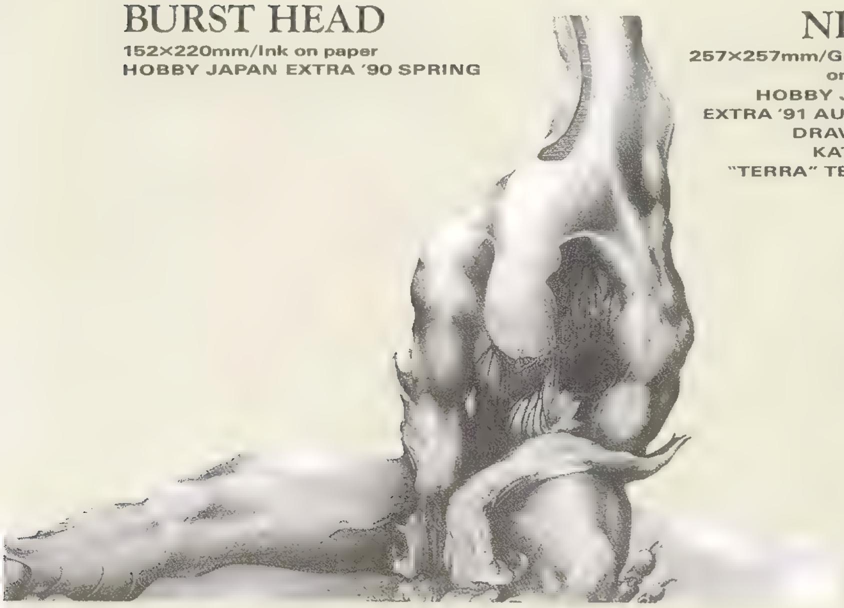
CORE GUARD GISS
220×145mm/Ink on paper/HOBBY JAPAN EXTRA '91 SUMMER

METAMORPHOSED CORE
167×237mm/Ink on paper/NEWLY DRAWN

NINA
304×258mm/Ink and markers on paper/NEWLY DRAWN
BY KATSUYA "TERRA" TERADA



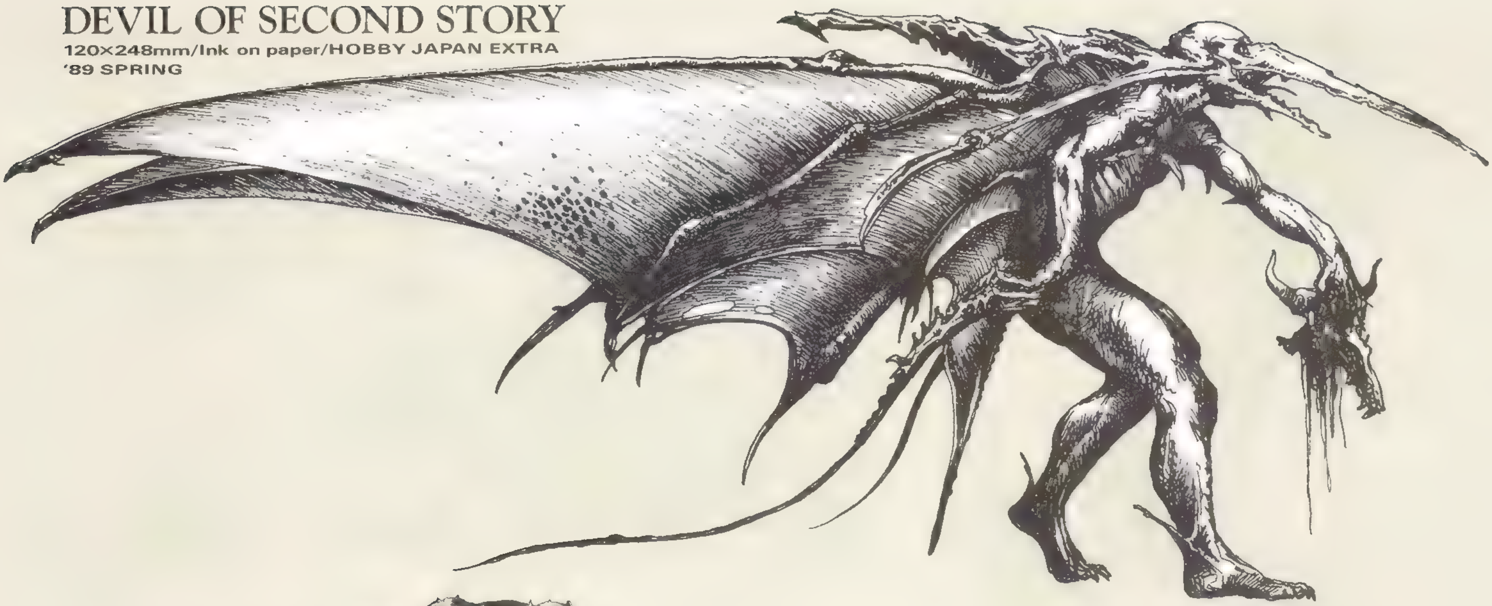
BURST HEAD
152×220mm/Ink on paper
HOBBY JAPAN EXTRA '90 SPRING



NINA
257×257mm/Gouache on paper
HOBBY JAPAN EXTRA '91 AUTUMN
DRAWN BY KATSUYA "TERRA" TERADA

DEVIL OF SECOND STORY

120×248mm/Ink on paper/HOBBY JAPAN EXTRA '89 SPRING



METAMORPHOSED CORE

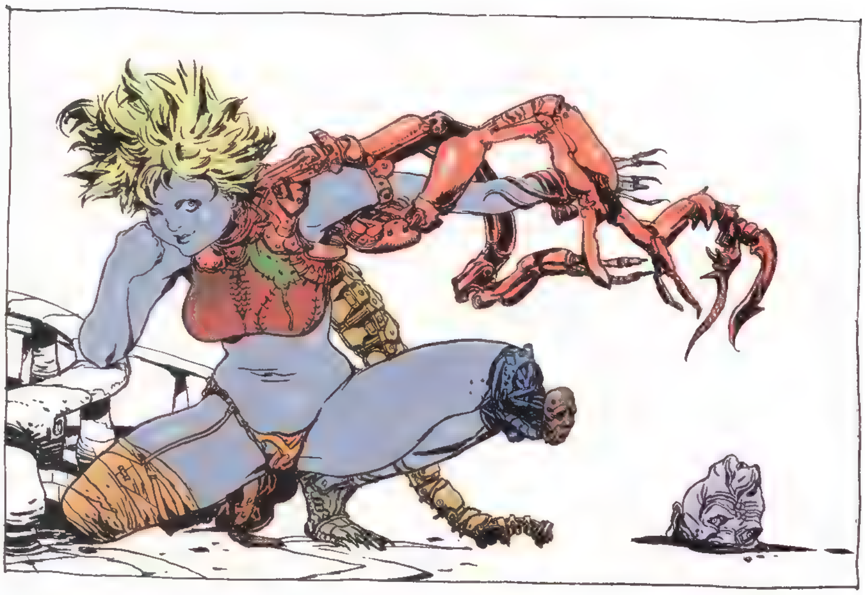
218×308mm/Ink on paper/NEWLY DRAWN

NINA

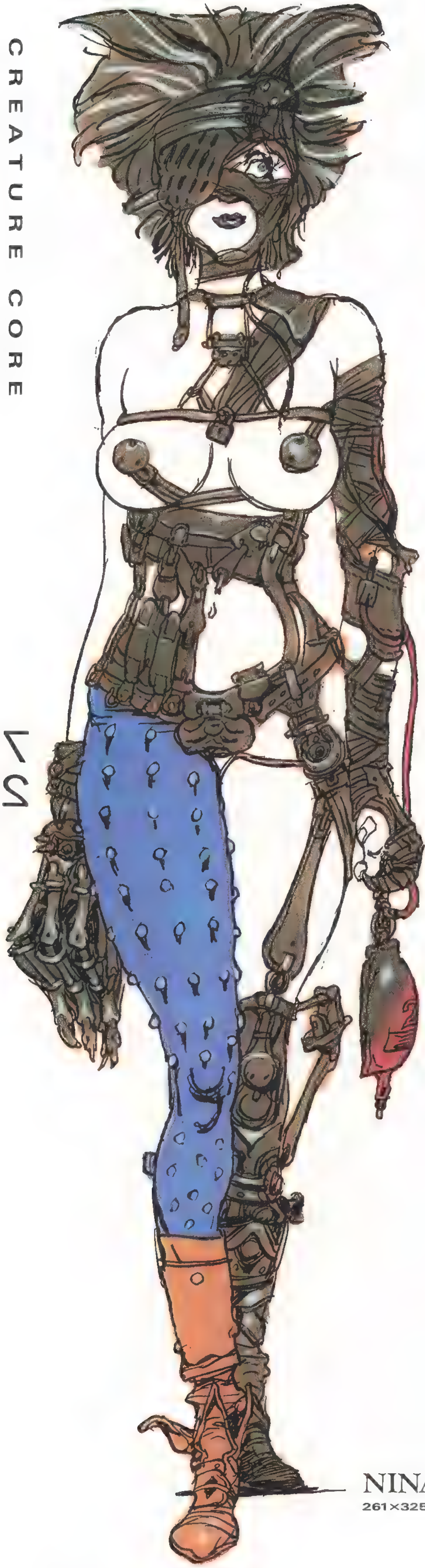
259×184mm/Ink on paper/HOBBY JAPAN EXTRA '92 SUMMER

HOTTER THAN HELL

257×182mm/Ink on paper/HOBBY JAPAN EXTRA '89 AUTUMN

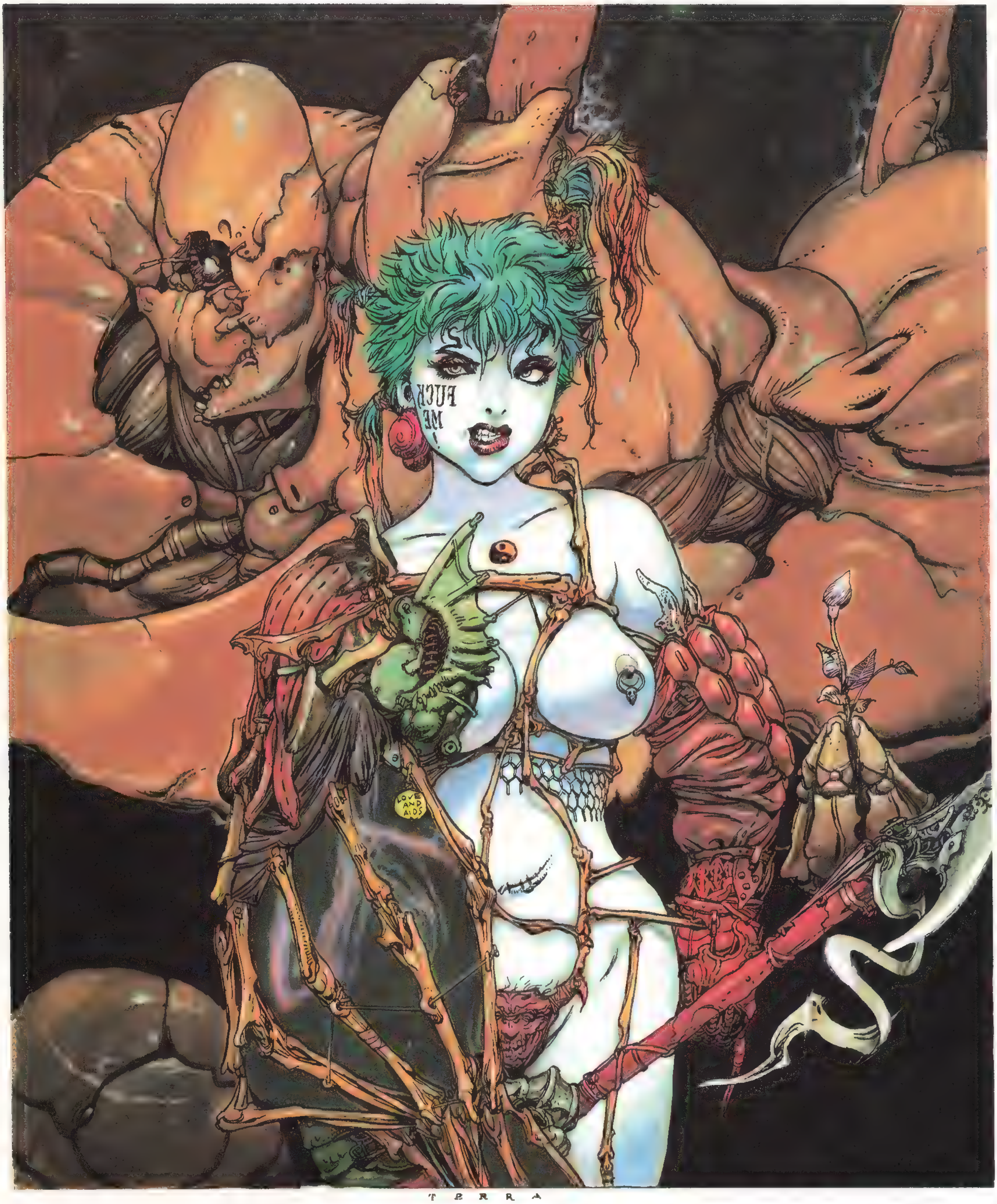


NINA
360×201mm/Markers and ink on paper



NINA
261×325mm/Markers and ink on paper

WCS-WCF
302×229mm/Ink on paper



数々のゲーム用パッケージ・イラストやオリジナル・コミックを人間離れしたスピードで描き上げる寺田氏。私とは家が近所だということで知り合い、互いに影響を受け合う関係となっている。この作品集を刊行するにあたり、過去のスケッチブックの、イタズラ描きと称されているものを「使わせて下さい／」とお願いすると、「新しく描きますョ／」と描き下ろしていただいた。オリジナルのデザインを守りながら、独得のセンスを盛り込んだニナのスーツや表情の素晴らしさは私が説明するまでもないだろう。それにしても、ニナのボディが私の描くニナよりも私好みなのが興味深い／（韮沢）

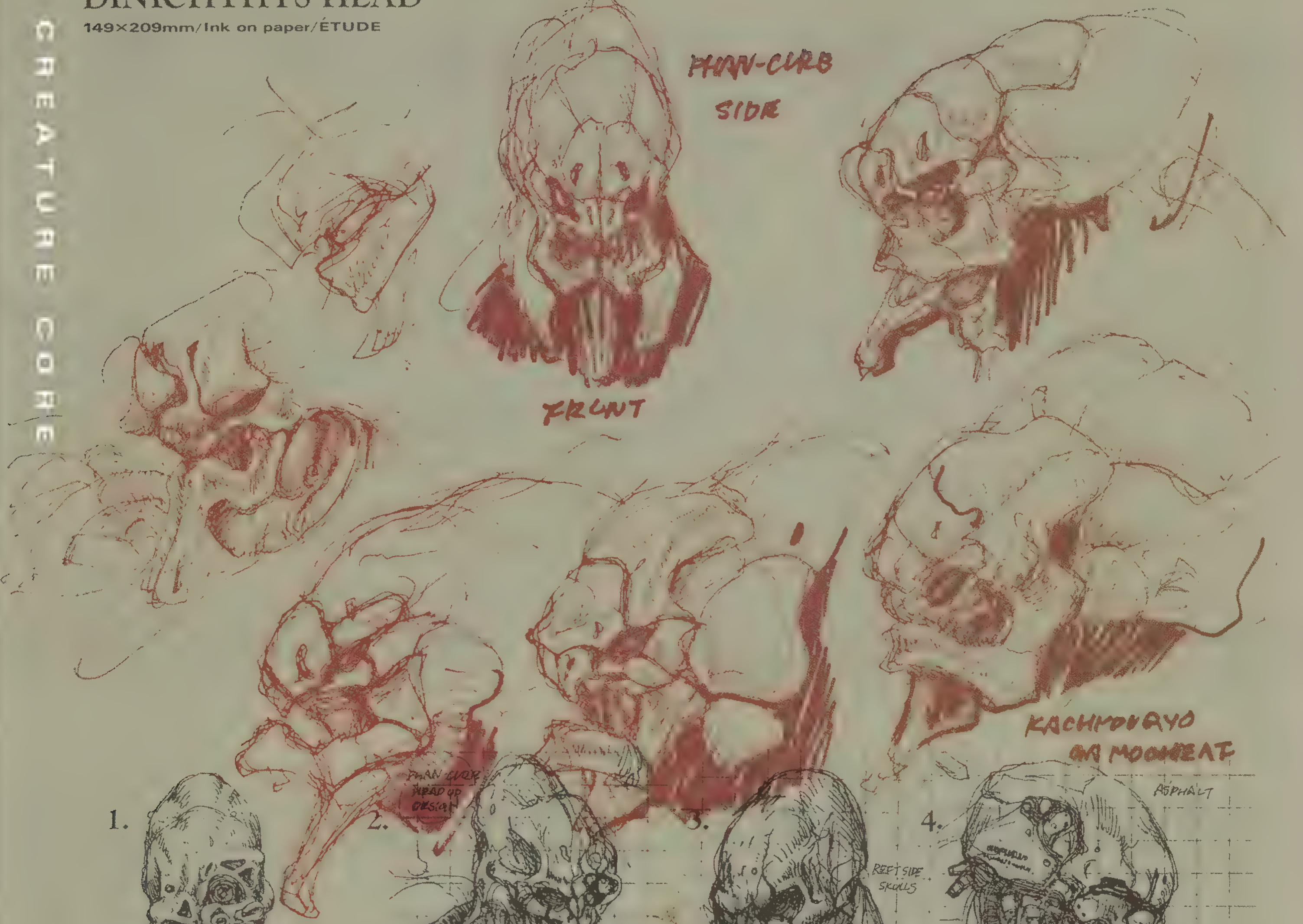
［寺田克也］1963年岡山県生まれ。阿佐ヶ谷美術専門学校卒業。イラストレーター。韮沢とは小林誠の仕事場で出会って以来の友人関係。映画「未来忍者」キャラクターデザイン、ファミコン・ソフト「神宮寺三郎」シリーズ・キャラクターデザインおよびメインヴィジュアル担当。月刊「Begin」誌、「モデルカーレーサーズ」誌にイラストやエッセイを、月刊「Car EX」誌にコミックをそれぞれ連載中

THIS SPREAD
DRAWN BY
KATSUYA "TERRA" TERADA

NINA & PHANCURE
384×297mm/Markers and ink on paper

DINICHTHYS HEAD

149×209mm/Ink on paper/ÉTUDE

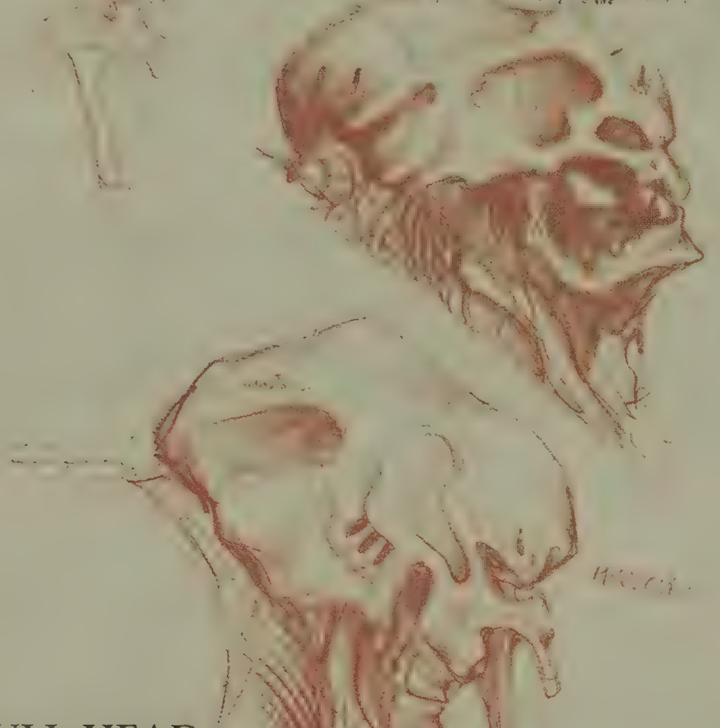


VARIATIONS

100×370mm/Ink on paper
ÉTUDE

PHANCURE EARLY DESIGN

「ファントム・コア」の主人公である"ファンキュア"の頭部初期デザイン群。上段のものは、デボン紀の甲冑魚"ディノクチス"がモチーフとなっている。生体の持つ堅い部分を参考にするために選んだものだ。最下段のデザインは、ドクロをモチーフとした頭部である。基本的にファンキュア自体、象徴的(コスモス)ではない、アンチヒーロー的キャラクターを目指したものであるため、この選択となった。中段は、上段と下段のデザインをブレンドしていったヴァリエーション。1は中世的なファンタジー要素が色濃く出たもの。左右非対称な顔面は後に継承される。2は決定稿に一番近い印象を受ける。3は左半面丸ごとドクロを配したデザイン。4は顔面下半分を機械化したデザイン。感情移入し難そうなので外したが、これは後に"ズールー・アスファルト"へと継承されることになる。



SKULL HEAD

257×216mm/Pencil on paper/ÉTUDE

MONO & FULL COLOR ILLUSTRATIONS

5

OTHERS

このパートは、初期習作群、レコードジャケットのための準備稿、RPGのパッケージ・イラスト、月刊ホビージャパン、月刊RPGマガジン等に掲載された依頼画稿その他を収録した。

NIGHTMARE

365×516mm/Colored pencils and color ink on paper/ÉTUDE

SHELL-MOLÉQUE

516×365mm/Colored pencils and color ink on paper/ÉTUDE

CORMA GREEN

365×516mm/Colored pencils and color ink on paper

HOBBY JAPAN EXTRA '89 SPRING

HUNTER
365×516mm/Colored pencils
and color ink on paper board/ÉTUDE

EPHEMERA
365×516mm/Colored pencils
and color ink on paper board/ÉTUDE

SCARECROW

365×516mm/Croquis pencil on paper board/ÉTUDE

BLAUE AMMON

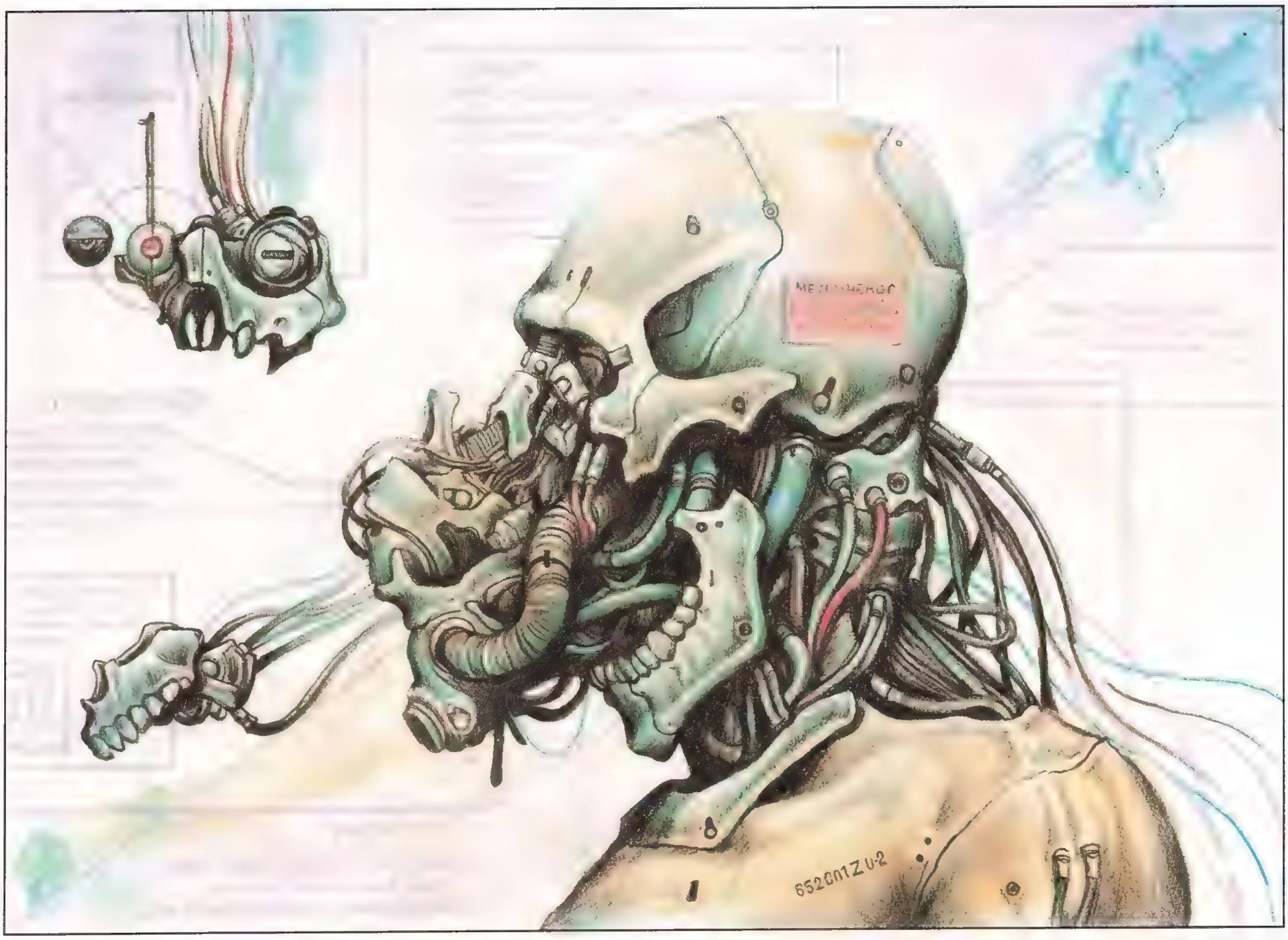
365×516mm/Croquis pencil on paper board/ÉTUDE

HUMPTY-
DUMPTY

516×316mm
Croquis pencil
on paper board/ÉTUDE

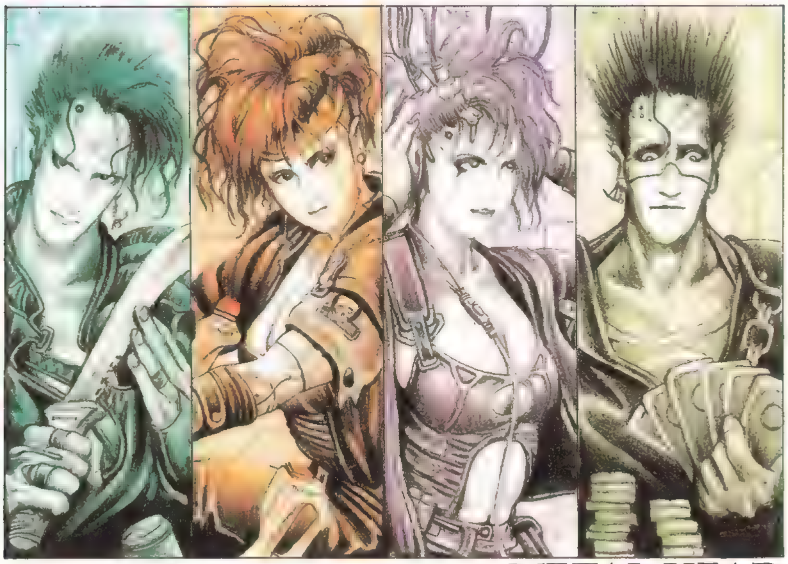
STORM BRINGER

363×258mm/Colored pencils and color ink on paper board
HOBBY JAPAN RPG SUPPLEMENT



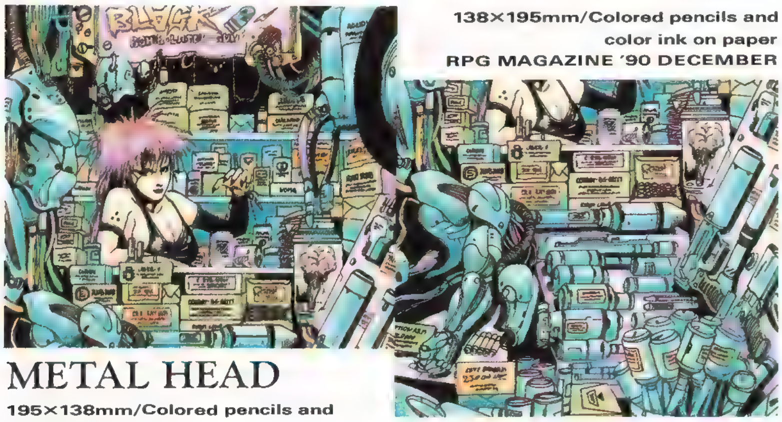
METAL HEAD

138×195mm/Colored pencils and color ink on paper board
RPG MAGAZINE '90 DECEMBER



METAL HEAD

138×195mm/Colored pencils and color ink on paper
RPG MAGAZINE '90 DECEMBER

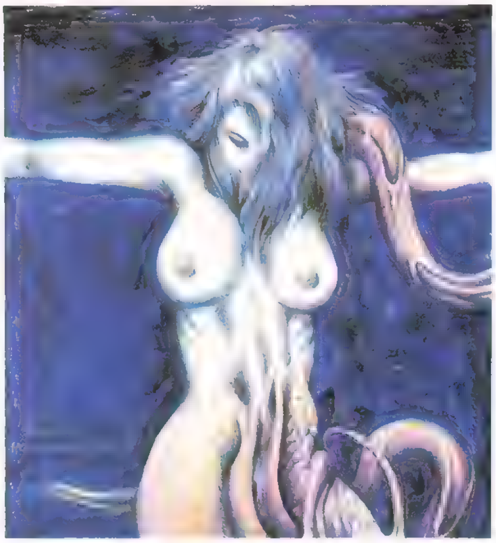


METAL HEAD

195×138mm/Colored pencils and color ink on paper

HORROR OF SQYLLA

180×160mm/Colored pencils and color ink on paper board/TACTICS CTHULHU WORLD TOUR

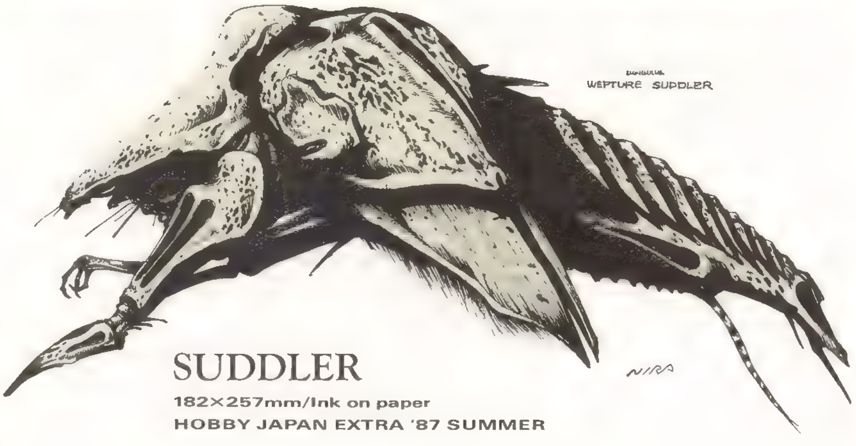


BIG FOREST

298×213mm/Ink on paper/HOBBY JAPAN '88 SEPTEMBER

GUNDAM SPIRITOUS

155×193mm/Ink on paper/ÉTUDE



SUDDLER

182×257mm/Ink on paper
HOBBY JAPAN EXTRA '87 SUMMER

PHANTOM CORE CHARACTERS

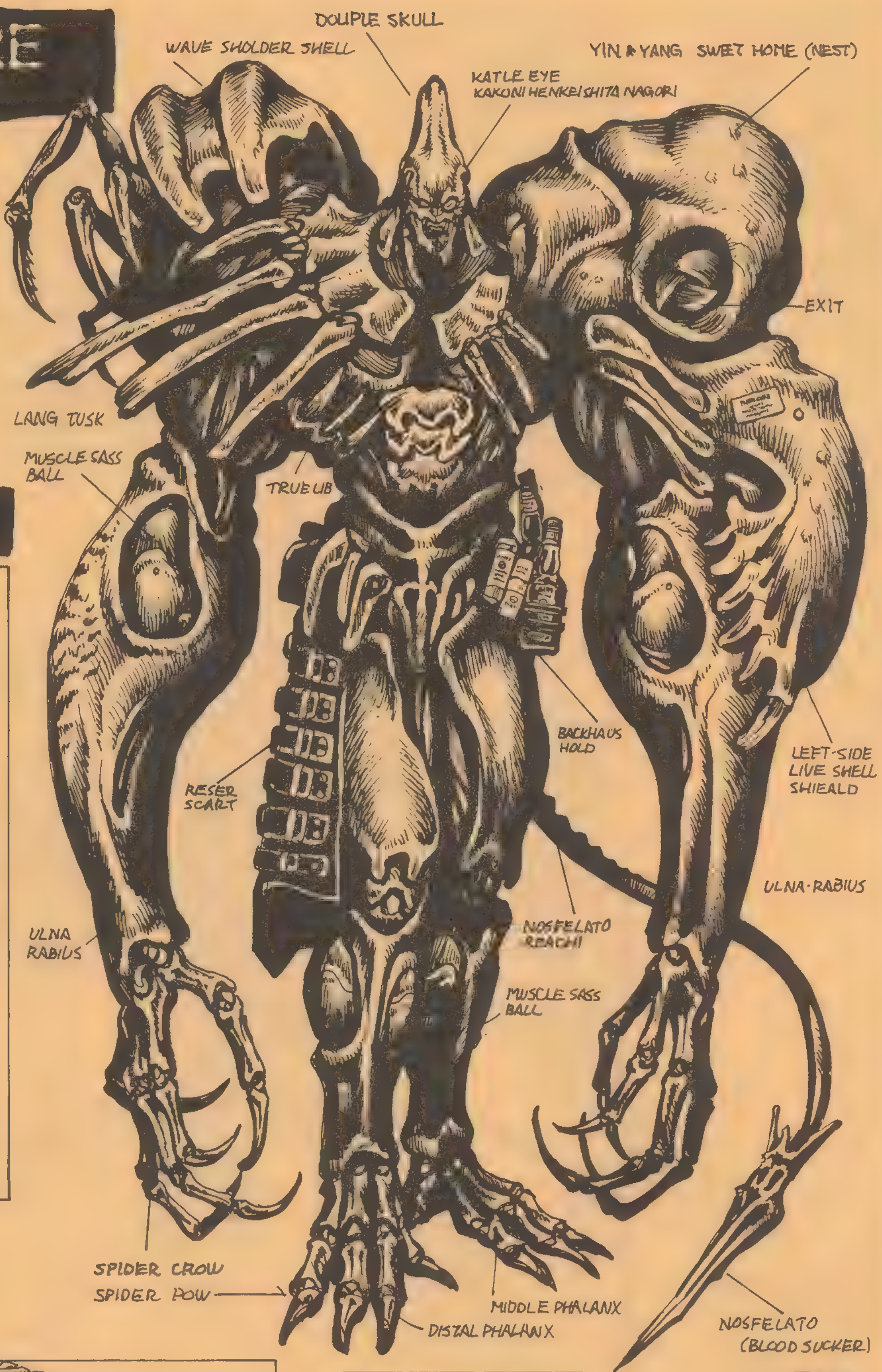
★このパートでは、ホビージャパン・エクストラ連載中のコミック「ファントム・コア」(単行本未刊)より抜粋して、登場キャラクター('88年秋の号〜'92年秋の号)を紹介★

PHANCURE

SKULL FROG

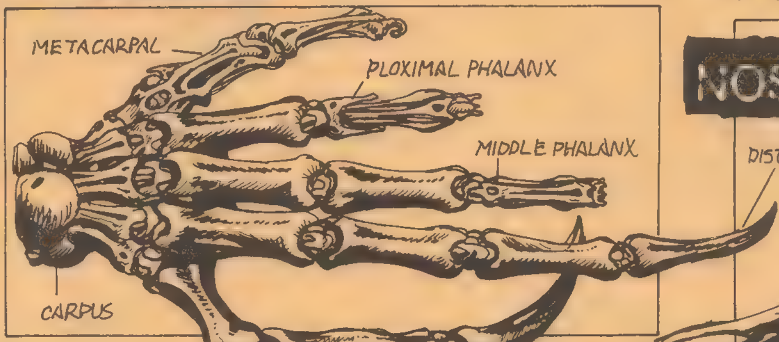
with LIVE SHELL

ファンキュア。カッシュ・アイアンブラッドによって生まれた鎮圧野郎。ほとんどが有機物質で構成されているが、一部複合素材の骨格を持つ。外皮は反応金属と骨質の複合。相棒である2匹の大蛇の爪からの薬物投与で、身体各部の変形・融合、治癒が可能。ビールが大好きだ



METAMORPHOSE

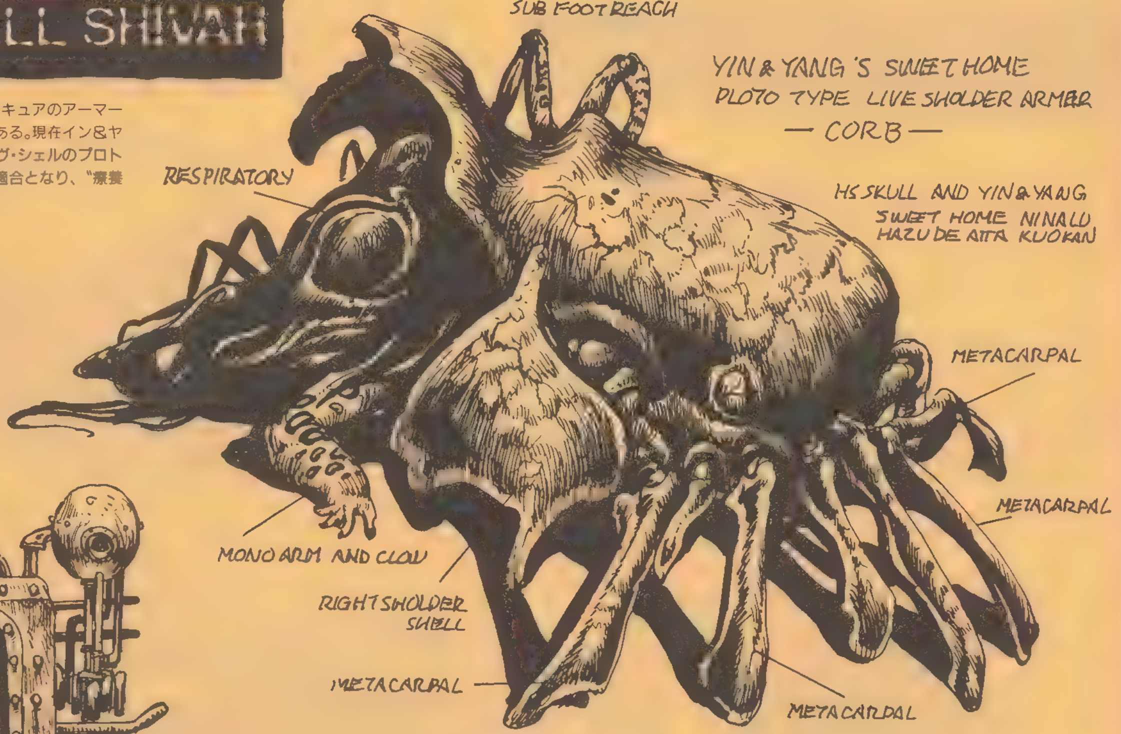
SPIDER'S

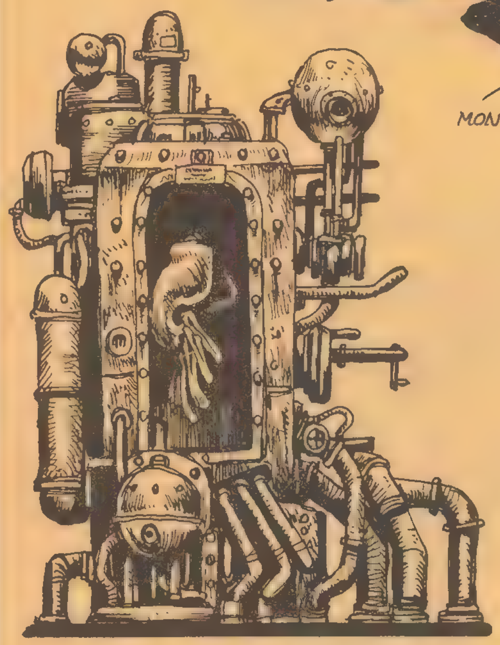


NOSFELATO

LIVE SHELL SHIVAH

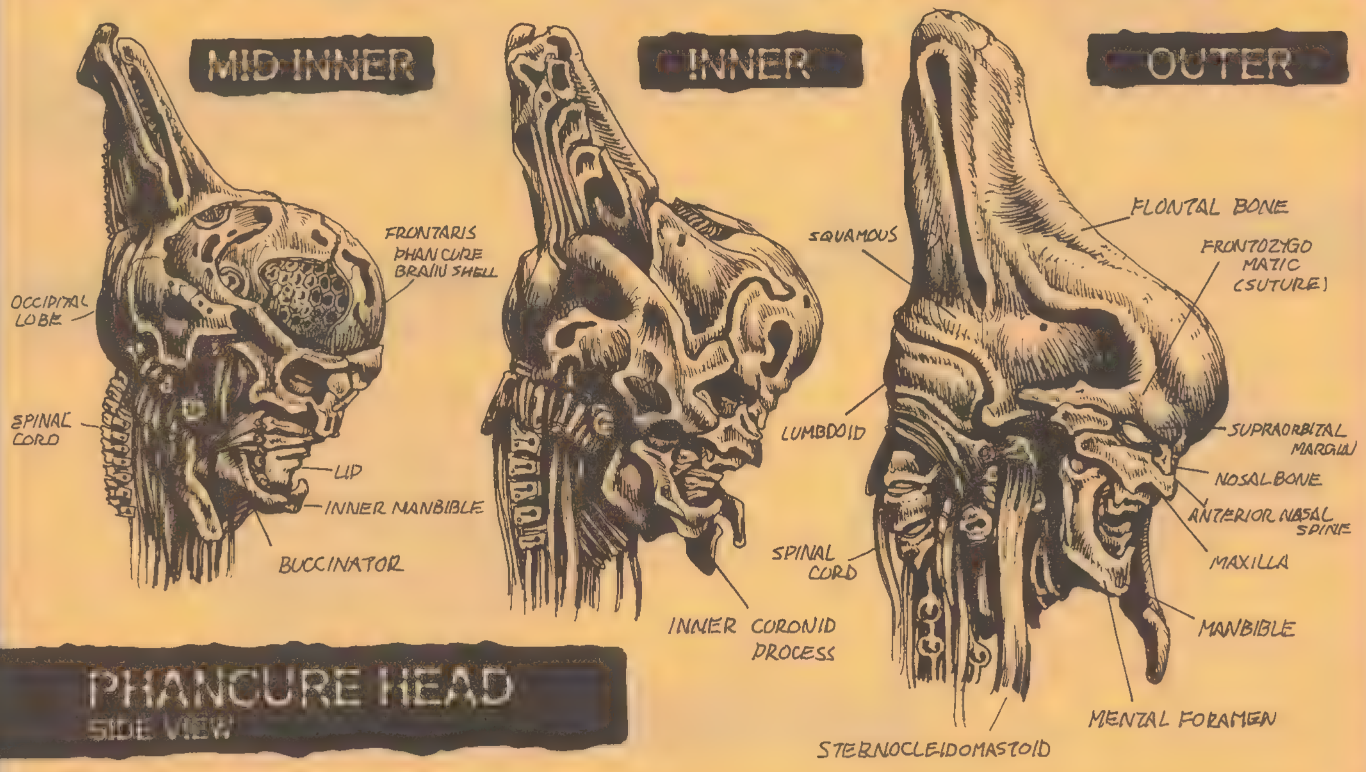
ライウ·シェル　シウァ。ファンキュアのアーマー類は、ほとんど「生きた装甲」である。現在イン&ヤンの巣となっている左肩用ライヴ·シェルのプロトタイプがこのシヴァである。不適合となり、“療養生活”を送っている





カルティヴェイショナル·タンク。ファンキュアのアーマー素材、ライヴ·シェルの培養タンクである。シェルの種類によりそのサイズも様々だ。このタンク内でアーマー自体を薬漬けで育てる。アーマーという性格上、意識を持ったものはあまり無いが、逆に言えば、ファンキュア自体このライヴ·シェルに脳と筋肉(マッスル·ブイ)を付けただけということになる。ライブ·シェルは大きく2つの種類に分けられる。攻撃を自ら認知し、質量を変形させるタイプ(背面用)と、薬物による変形·融合などの速攻性タイプ(腕·脚部用)である。突然変異体として生まれたのがシヴァやコスマである。生命は不思議だ

LIVE SHELL CULTVATIONAL TANK



PHANCURE HEAD
SIDE VIEW

LIVE SYRINGER
YIN & YANG

イン&ヤン。ファンキュアの鎮圧行動遂行のための生きた注射器であり、相棒である。インは、作戦に合わせた身体変形・融合を可能とする薬物を牙に仕込み(言うなれば黒魔法)、ヤンは傷の治癒や解毒、体力アップのための薬物を牙に仕込む(言うなれば白魔法)。名前の由来は、宙空で闘う白と黒の2体の悪魔を描いた大昔の絵画。これを見たカッシュが思わず名付けたわけだが、まさか後に本物(オリジン・イン&オリジン・ヤン)に出会うとは夢にも思っていなかっただろう

YIN & YANG NO SWEET HOME <NEST> WA LIVE NEST DEALU NEST GITAIGA -COSMA- TO IU IKIMONO DE ALU. SHILANKATTADALOW!

LIVE NEST
COSMA

コスマ。ライブ・シェル・タンク内で生命を持つに至った突然変異の生きた巣。イン&ヤンの棲み家である。本書にて初登場の顔た。仏頂面である。半年に1度、捕食のために顔を出す。ウォルハリン地区で置き去りにされたことがあったが、1週間で戻って来たという

BOB
THE SPIDER FROG

ボブ。カッシュによって生み出された合成動物。何のために生み出されたのかは定かではないが、ただの遊びだったら、カッシュもひどいことをするものである。しかしボブ本人は嫌がる風でもなく、オフィス内やイン&ヤンの巣であるコスマの中で寝てたり、独りでバスルームに入ったりと、無表情ながらも楽しそうだ

トブ。カッシュの細胞遊びで生まれたコウモリバエ。彼も本書か初登場。が、しかし今は標本状態。見かけなくなったと思っていたら、スキャンヴィジョンの裏で干からびていたらしい。合掌

TOB
THE FLYBAT

YOV
THE AMMO GECKO

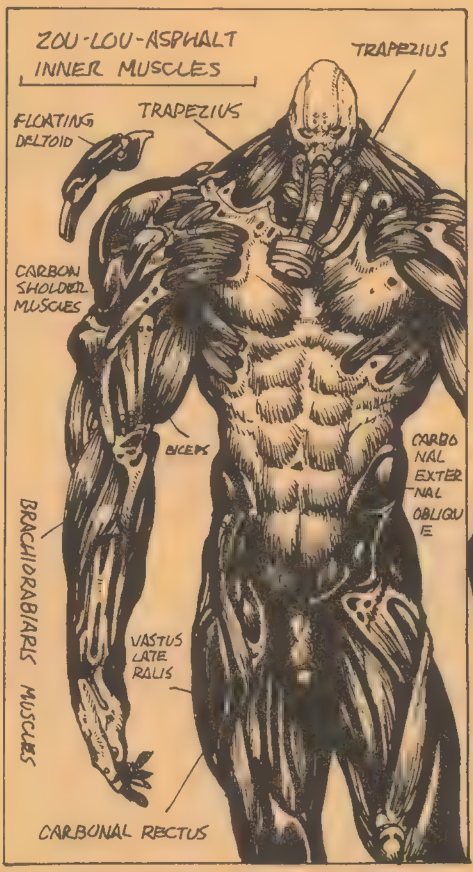
ヨヴ。彼も初登場。溶解槽で浮いているところを発見。現在は壁のレリーフである

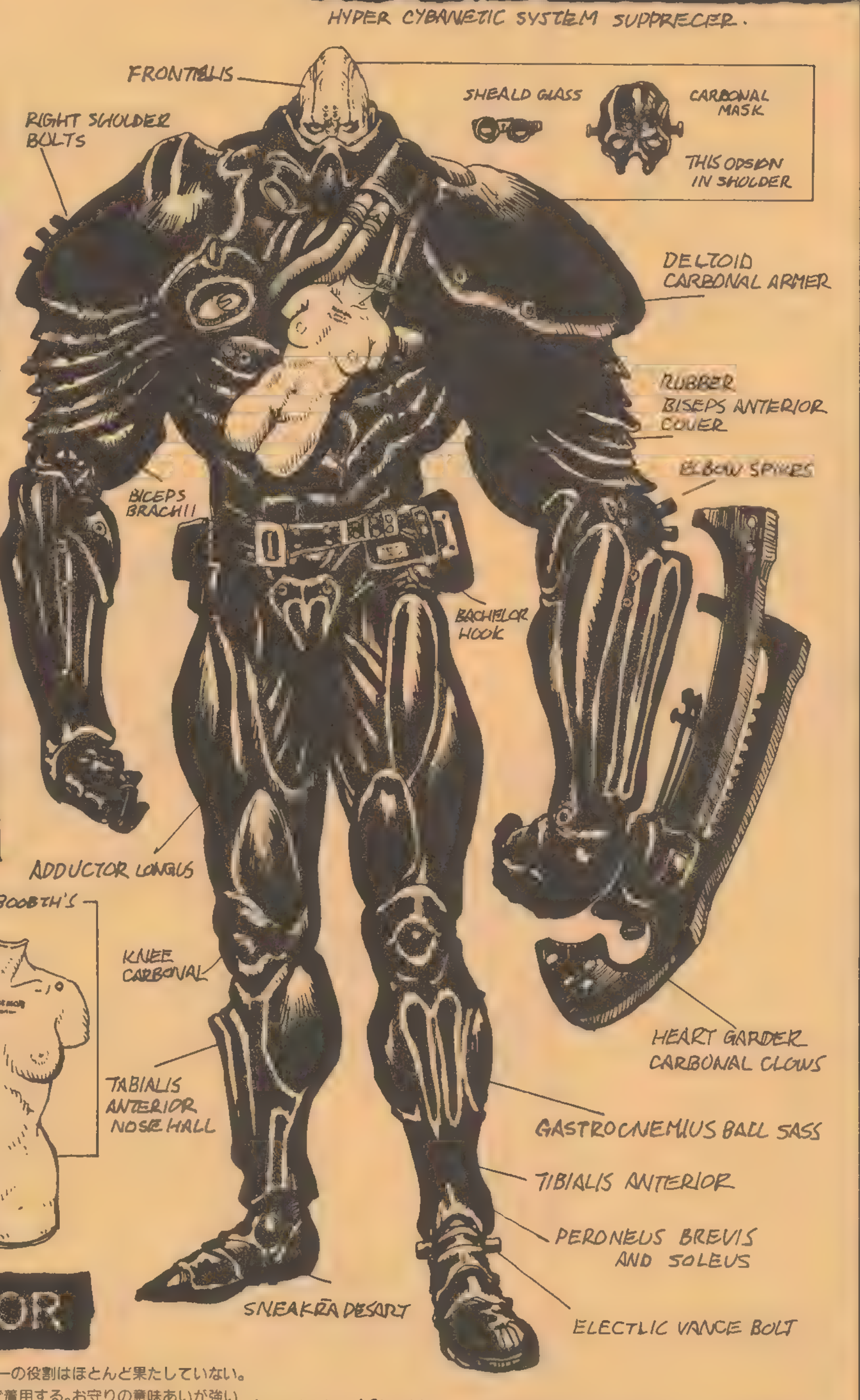
マモノはチィミドゥロに
まかせよう！
CAPU

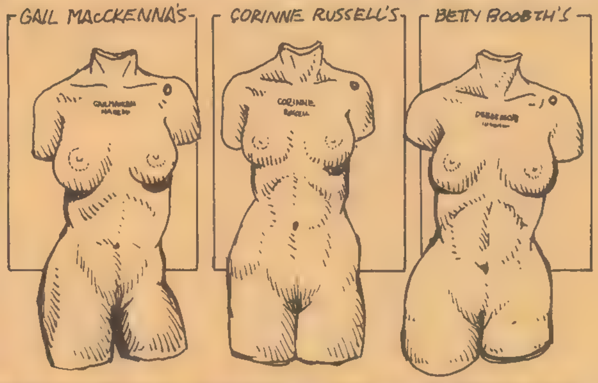
ズールー・アスファルト。昔WCSにいたか辞め、ボディをサイバネティックスにしてフリーの鎮圧屋としてデヴューした。白いスキンヘッド、黒いスーツはWCS時の名残り。「ファントム・コア」随一のHヤローてある。報酬のほとんどは、ボディチューンか、イロゴトに消えてしまうようだ

ZOU LOU ASPHALT

HYPER CYBANETIC SYSTEM SUPPRECER.





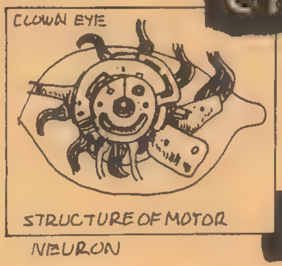


REPLICA BODY ARMOR

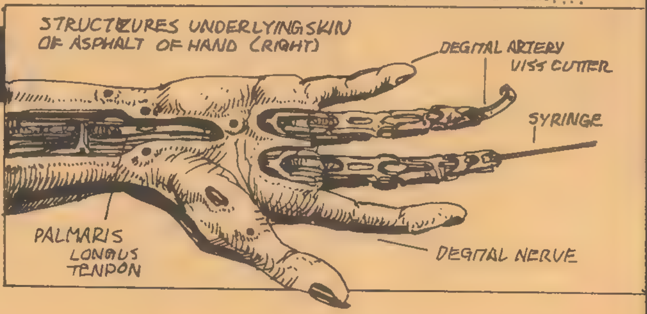
ズールー自身はボディーアーマーと言っているが、見てのとおり、アーマーの役割はほとんど果たしていない。有名ポルノアクトレスのレプリカトルソーである。仕事に行く前に選んで着用する。お守りの意味あいが強いと思われる

ZOU-LOW-ASPHALT. MUKASHI WA W·C·S·W·C·F NI SHOZOKU SHIZEI TAG YAME GENZAI FREINO SUKEVE CHIINATSU YAROH DA!!!!

CYBERNETIC FINGER



ボディーチューンが趣味のズールーは、身体の70%は機械である。左はスキャニング用のクロスアイ。右は損傷部を素早く治す、スピーディー・シリンジャー



NAKED EYE

PHANTOM CORE CHARACTERS 89

ZOU LOU ASPHALT

NINA DOLONO

ニナ・ドロノ。昼はフリーの鎮圧屋、夜は秘密のアルバイトで情報を集め、荒稼ぎしている活発なヒロイン。ファンキュアのライブ・シェルの失敗物などを身にまとって仕事をする。そのサプレス・スーツのヴァリエーションは数限りない

NINA'S COSTUME VARIATIONS

PSYCHEDELIC GLAM SUIT

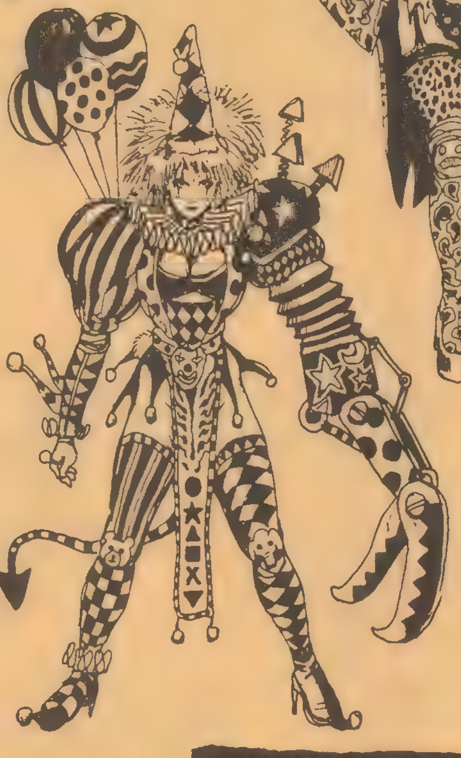
ニナのステージ衣装。色がスゴイがモノクロで残念

CLONOS SKULL SKIN SEE P.69

GILL MAN SUMMER SKIN SEE P.69

CENOBITE REPLICA SKIN SEE P.69

PINHEAD, HORROR & SCI FI MAGAZINES, James Bond.

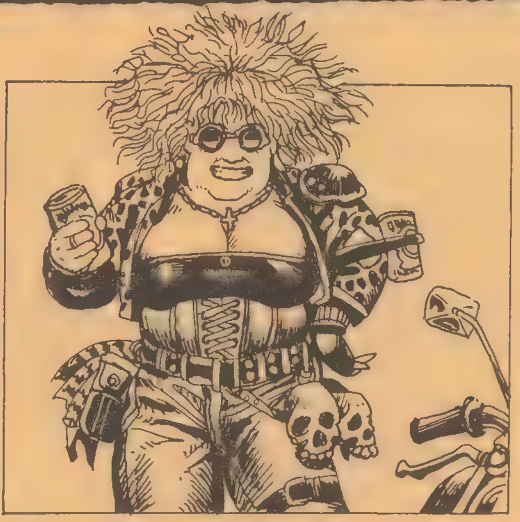


BUFFOON BALL SUIT

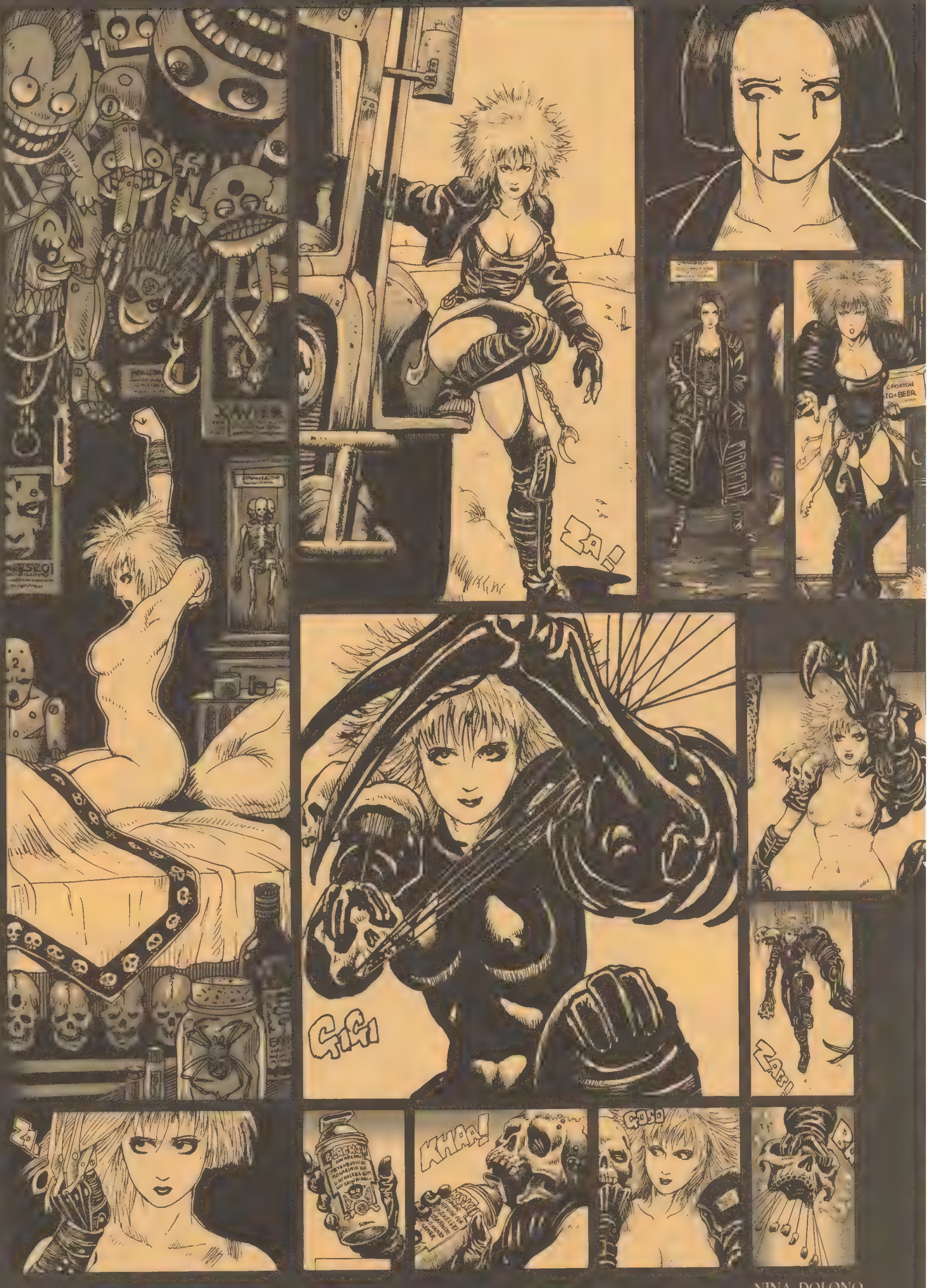
ピエロのようなバッフーンボール・スーツ。見かけは人をバカにしているが、様々なウェポンを隠している

NINA'S MAMA

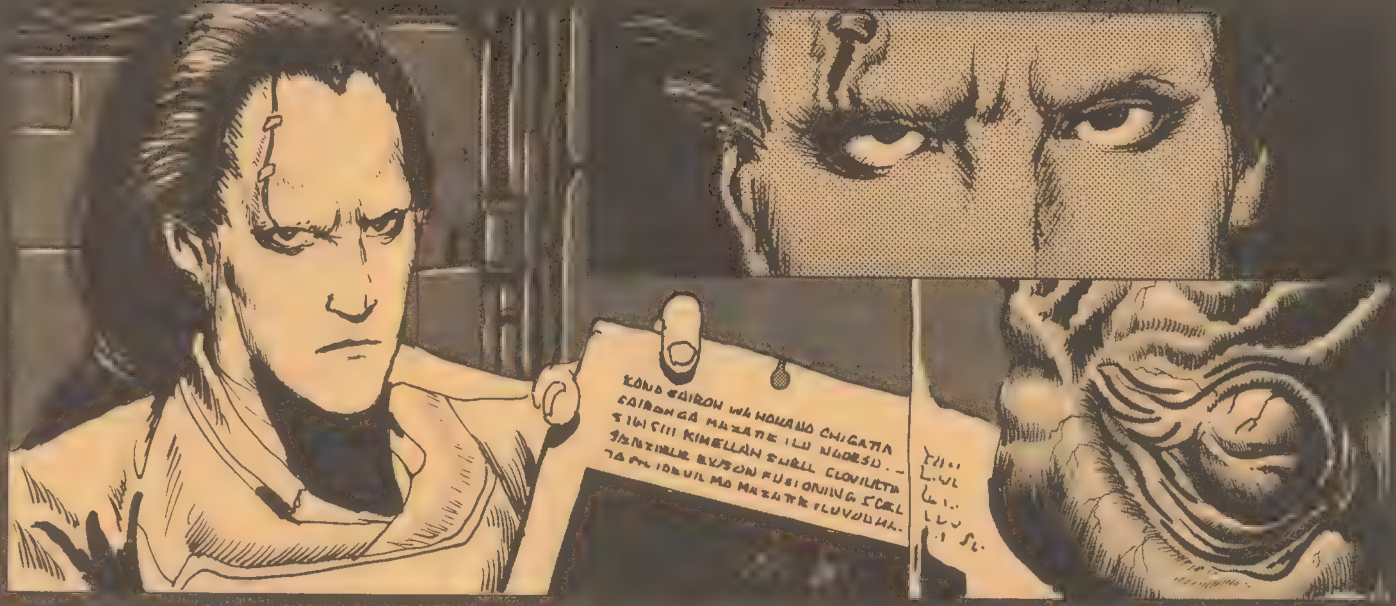
SIOUXSIE DOLONO



スージー・ドロノ。ニナのママである。ニナの数限りないスーツを現場まで届ける役で、"ファット・ブル"というバイクを駆る。若い頃タナカじじいと結婚していたとのウワサあり

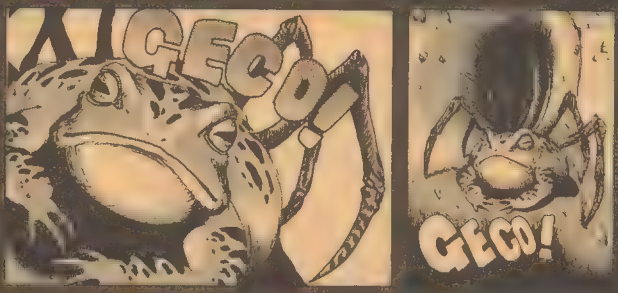


NINA DOLONO



KASH IRON-BLOOD

生体工学者の父は、ノイマー生体工学研究所で働き、作業用生体機器"Weapon Creature"の開発につとめ、悪魔的な実験を行なうことで"ドラキュリストー血を吸う学者"と呼ばれ、恐れられた。が、その功績は素晴らしいものがあり、Weapon Creature=Wepture"の下敷きを完成させた。しかし本格的な開発に乗り出す直前に他[illegible]
死細胞を再生する実験に成功、種々の動物細胞で妙な生物を創造することもあって[illegible]
力に活かされている

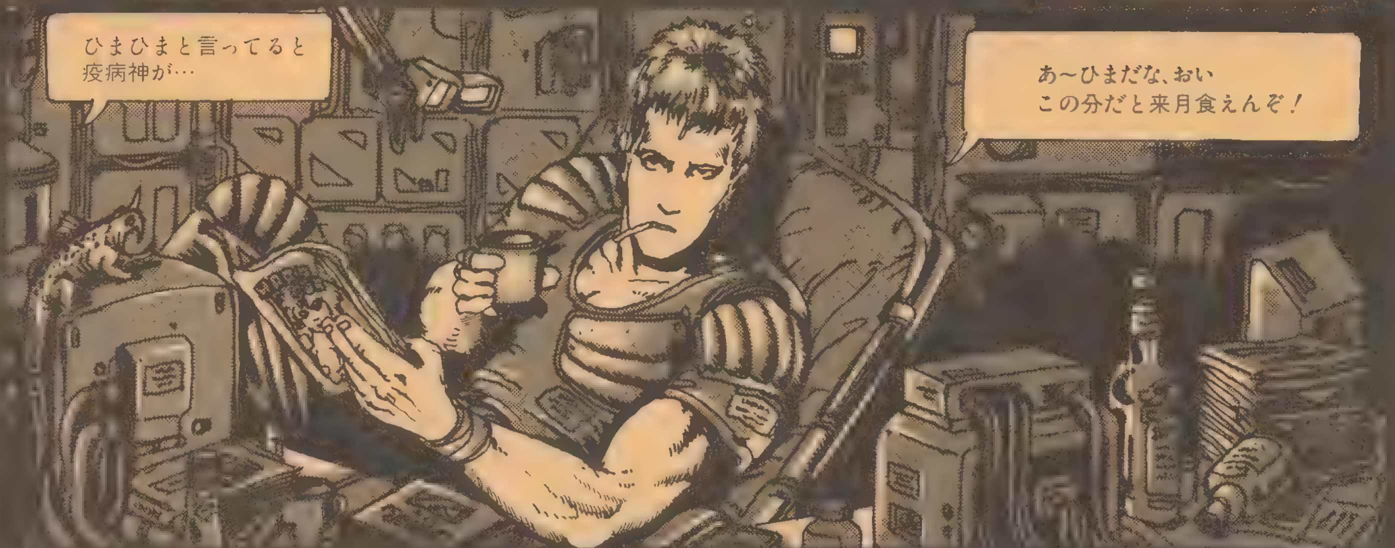


BOB

ボブ。カッシュにより生み出された合成動物。何のために生み出されたかは定かではないが、遊び半分ならばカッシュもひどいことをするものである。しかしボブ本人はいやがる風でもなく、オフィス内でイン＆ヤンの巣である"コスマ"の中で寝たり、バスルームに入ったりと、無表情だが仲々楽しそうだ（⬅P.86と同じだった）

SHORK LONG-STONE

[illegible]



KASH IRON-BLOOD★BOB★SHORK LONG-STONE

WEAPON CREATURE SUPPRESS WEAPON CREATURE FORCE

HARD MUSCLE REAR

身軽さと敏捷さではこのレアスーツであろう。
左腕のクローザーのリーチも長い

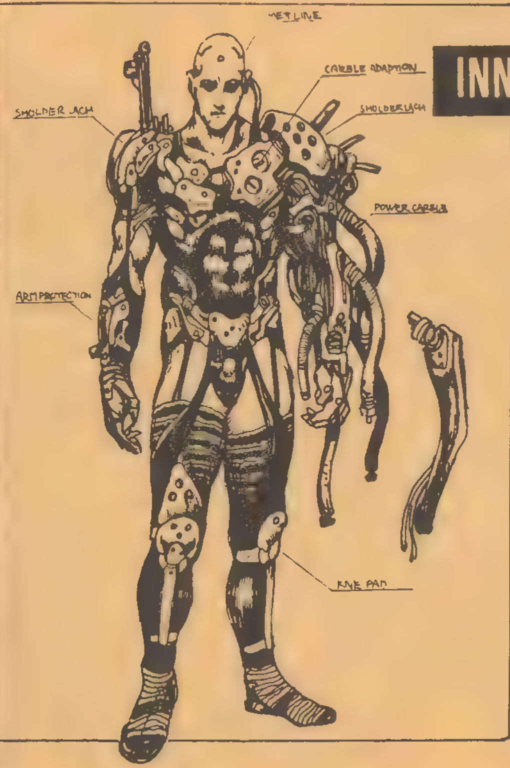
HARD MUSCLE MIDEAM

ハードマッスルの標準タイプ。WCSの7割は
これに各々オリジナル・カスタムをしている

HARD MUSCLE WELLDUN

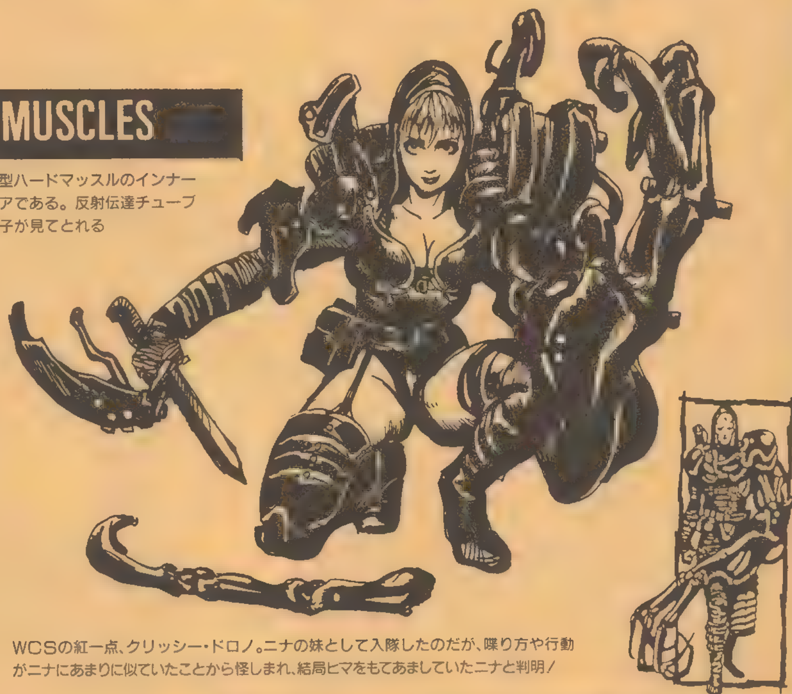
ウェルダンスーツ。重量級で、クローザーは火薬カートリッジで射ち出すヘビータイプを装着している

左から、"生殺し"、"半殺し"、"肉殺し"の意



INNER MUSCLES

標準型ハードマッスルのインナーウェアである。反射伝達チューブの様子が見てとれる



WCSの紅一点、クリッシー・ドロノ。ニナの妹として入隊したのだが、喋り方や行動がニナにあまりに似ていたことから怪しまれ、結局ヒマをもてあましていたニナと判明!

CHRISSIE DOLONO

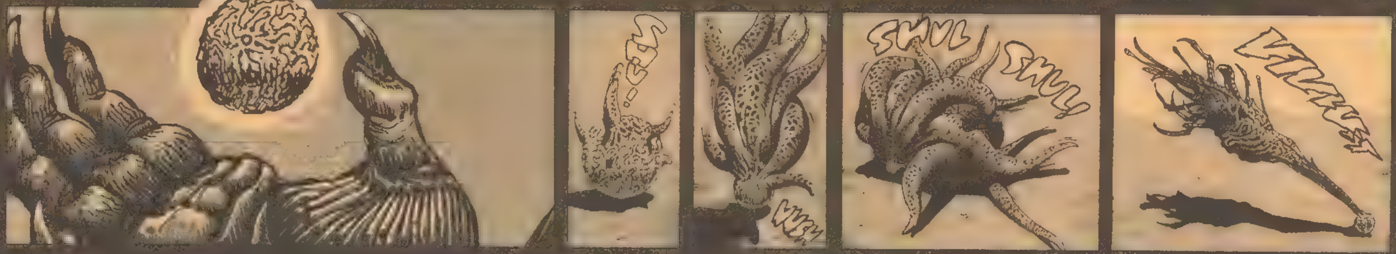
CHIMIDOLLO

チィミドゥロ。正体不明の向うの住人。本人は、昔はSATANであったが有名になりすぎたので名前と姿を変えたと言っている。彼の言動に逆らう者がいないところを見ると本当にそうかも知れないが、単なる向うの斡旋主かも知れない。本エピソードの要となる"コア"を創造した張本人だ

04

CORE

チィミドゥロによって創り出されたという、言わゆる"怪物玉"(ファントム・コア)である。成分その他全く不明。通常は球型を保っているが、質量を変えずに無限と思えるほどの異種生物が湧き出る。外の生体を取り込んだりもするらしい



CORE GUARD GISS

[illegible]
生態なのだ。その生態を利用して向うでは危い物の預り人として有名らしく、背中には
[illegible]

QUBUVUM

[illegible]
あり、その曲線美とヌラヌラした皮膚は充分に官能的である。コイン1枚で召喚させて
[illegible]

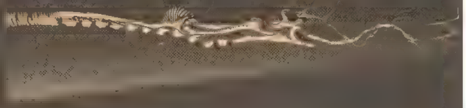
CHIMIDOLLO+CORE GUARD GISS+QUBUVUM

オリジン・イン&オリジン・ヤン。イ
ンはチィミドゥロの分身の一人で、
白い肌を持つ。“コア”に憑かれて発
狂、こちらの世界で憑依を繰り返し憑
依する者を体内より無数に生やすこ
とになった。ファンシキュアによりあえ
ない最期を遂げた。ヤンはもう一人の
分身で、黒い肌を持つ。チィミドゥロ
と共に現れ、鎮圧屋達に憑依防止の酒
CYKAIZO(シカイゾ)と、NEG
LLAH(ネグラ)というタバコを配
った。本人も酒好きらしく、この世界
に現れている時もほとんど飲みまく
っていた

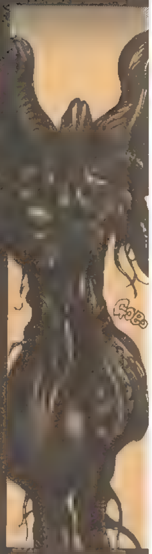
ORIGIN YANG

[illegible]
いハチのようなKUBISS(クビス)、腹中虫のようなKODOQUE(コトクー)、ヒルのような
[illegible]
妖獣を戦利品として持ち帰ったが、その後消滅したらしい。

YIN'S BUGS

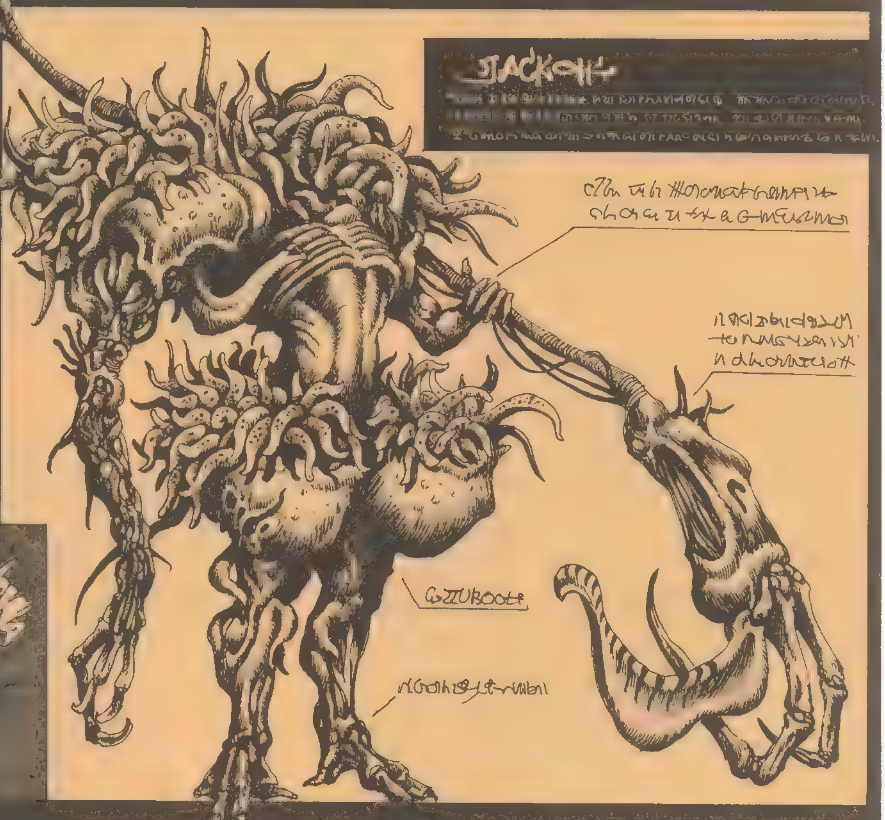


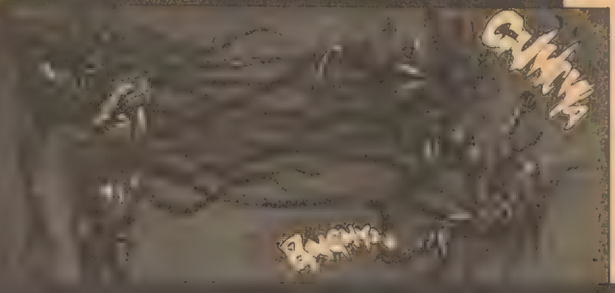
ORIGIN YIN



SALLASENIEN

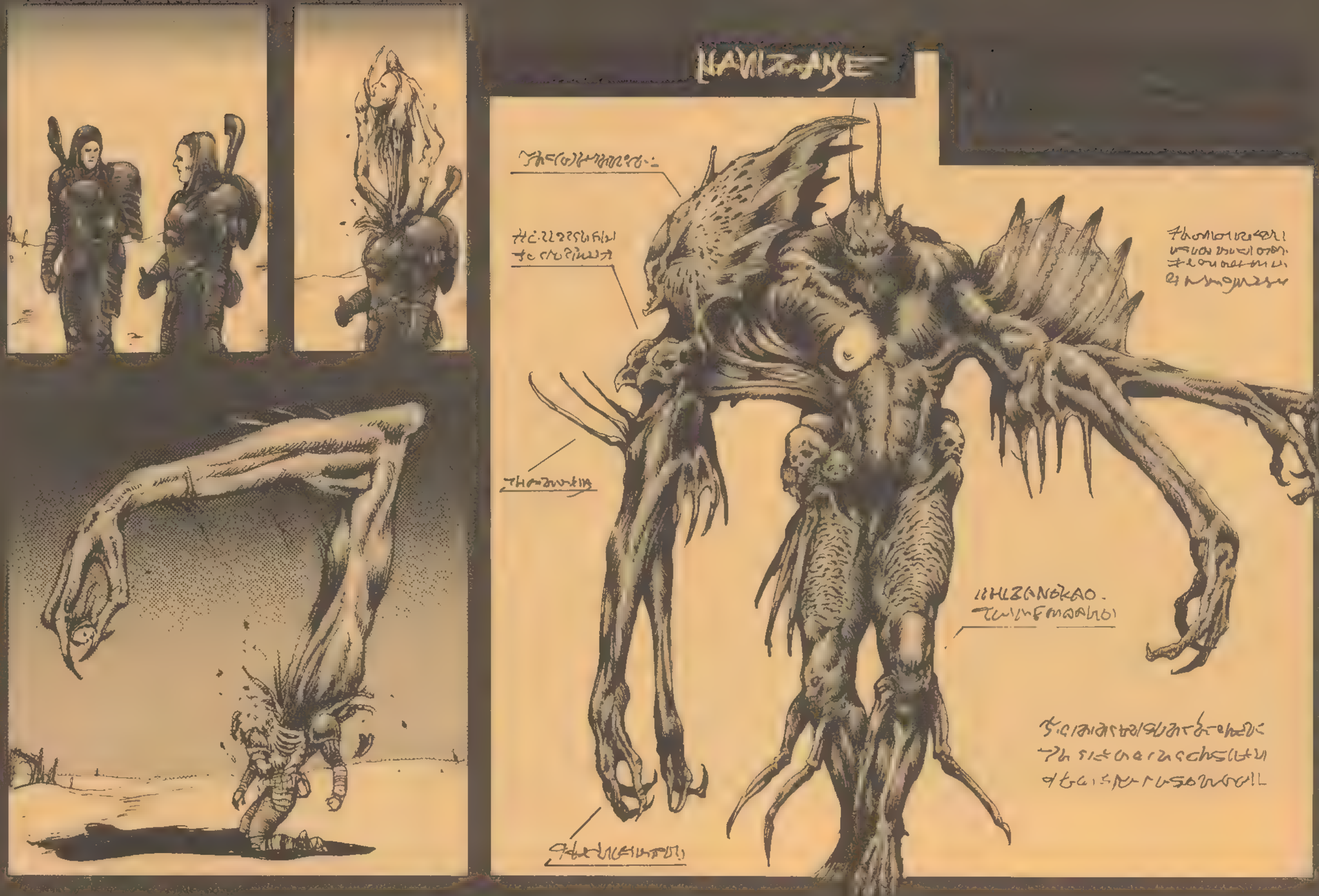
[illegible]
世界で、いくら切られても刺されても頭さえ残っていれば、身体を急速に再生させてしまう能力があるため、賞金稼ぎとなる。向うの賞金稼ぎにはランクがあり、下からG [illegible] 上級のバスカに属する。決め手となる攻撃技は無いが、強いて言えば、彼には死が無いということであろう





JACKOH

[illegible] 壺状の部分に収納して貝のようになることができる



KABIZAME

カビザメ。彼もバスカの一人だが、この世界に出現した時に[illegible]くいかず、おまけに座標軸を誤り、WCSのクローンの体内より現れたためにWCSの鎮圧に合い、早々に引き上げてしまったらしい。WCSも、マモノ退治と浮かれたらしいが、帰る方も帰る方だ

HIFFGROM

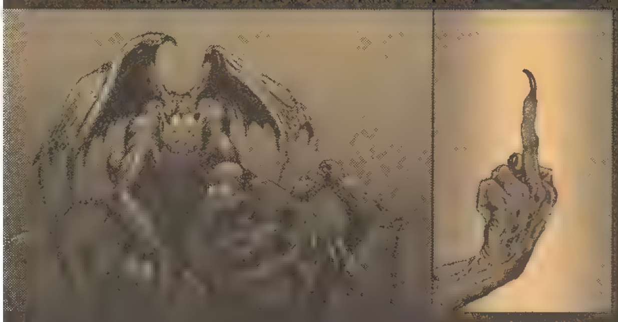
ヒフグロム。やはりバスカである。雷を操るアクマで、彼も雷の発生源と思われる背部のヒダ状生物と何らかの共生関係にある。目と思われる3つの球で不定射の雷の焦点を合わせるらしい。イシス・バグであるカミナリヌイに襲われたが、シャコーの触手によって救けられる

WVOII

ウヴォイ。水系のアクマである。チィミドゥロと何らかの縁があるらしく、ファシキュアによって、召喚された。絵を喰いにこの世界に現れたGELNIL(ゲルニル)を一瞬のうちに溶解
[illegible]
[illegible]
の生ガキが好物らしく、報酬もこれだったという

BYE BYE

バイバイ。サイクロプス酒場に出現した白ゴブリン"ジャラ"を捕まえるためにチィミドゥロが無料で送り込んで来た料理人。身体に着けている肉塊をバラ撒いて相手をおびき寄せ、そこをすかさずつかまえる。あとは「バイバ〜イ」と言いつつその肉で料理を作ってしまう。背中に付いている"あじみ君"が素材を吟味し、鼻に付いている袋のタレで味付けをする。そのため、彼の料理は抜群に旨いという



FUCK DEMON

ファック・デモン。ミス・フィッツの体内より現れた小アクマ。ファンキュア達に向って、「コノヤロー、お前らもそのうち乗っ取ってやる」と言わんばかりにファッキング・サインをし、その後すぐにかき消えた

MOHRIYOR

モーリョー。チィミドゥロに率られたバスカ達かこの世に座標軸を合わせて出現した[illegible]れてしまったようた

FULY

[illegible]たウェプチャー。オリジン・ヤンによって巨大になり、ファンキュアとはかなりの長期戦を演じた。しかし結局、延髄をもぎ取られ、倒れる。その体内より現れたオリジン・ヤンは、「合格」の意味で憑依防止タバコ"ネグラ"をファンキュアに与えた

YOLLGAN

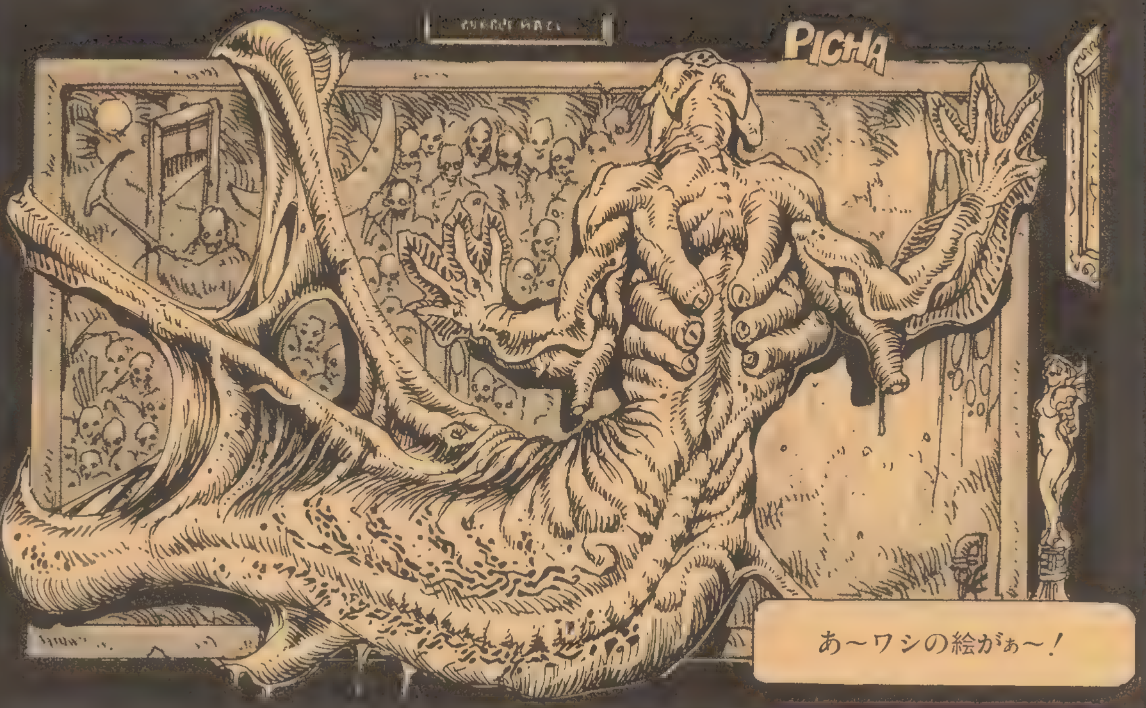
ヨルガン。彼もファンキュア同様ウェプチャーの鎮圧屋であったか、何者かの憑依により、身体中から無数の異生物を生やし、狂ってしまう。ファンキュアによって抹殺され、その後細胞単位まで解剖されたか、原因不明のまま廃棄処分となって[illegible]

DRAGON

ドラゴン。WCSの通報により駆けつけたファンキュア達か目撃した巨獣。本当のドラゴンではないか、言わゆるドラゴンの特徴を持つレプタイル系である。発見者の話だと地から湧いて出たらしいか、自重で関節か外れて動けなくなり、WCSの食料となったらしい

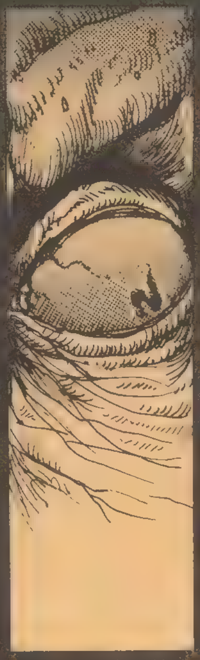
MISS FITS

ミス・フィッツ。ファンキュアと同じくLIVE SHELL という骨格構成で造られたワイツンス地区の鎮圧屋だったか、彼もヨルガンと同じく何者かに発狂させられた。ファンキュアとニナの連携鎮圧により解毒剤で倒れるか、体内よりアクマか現れた



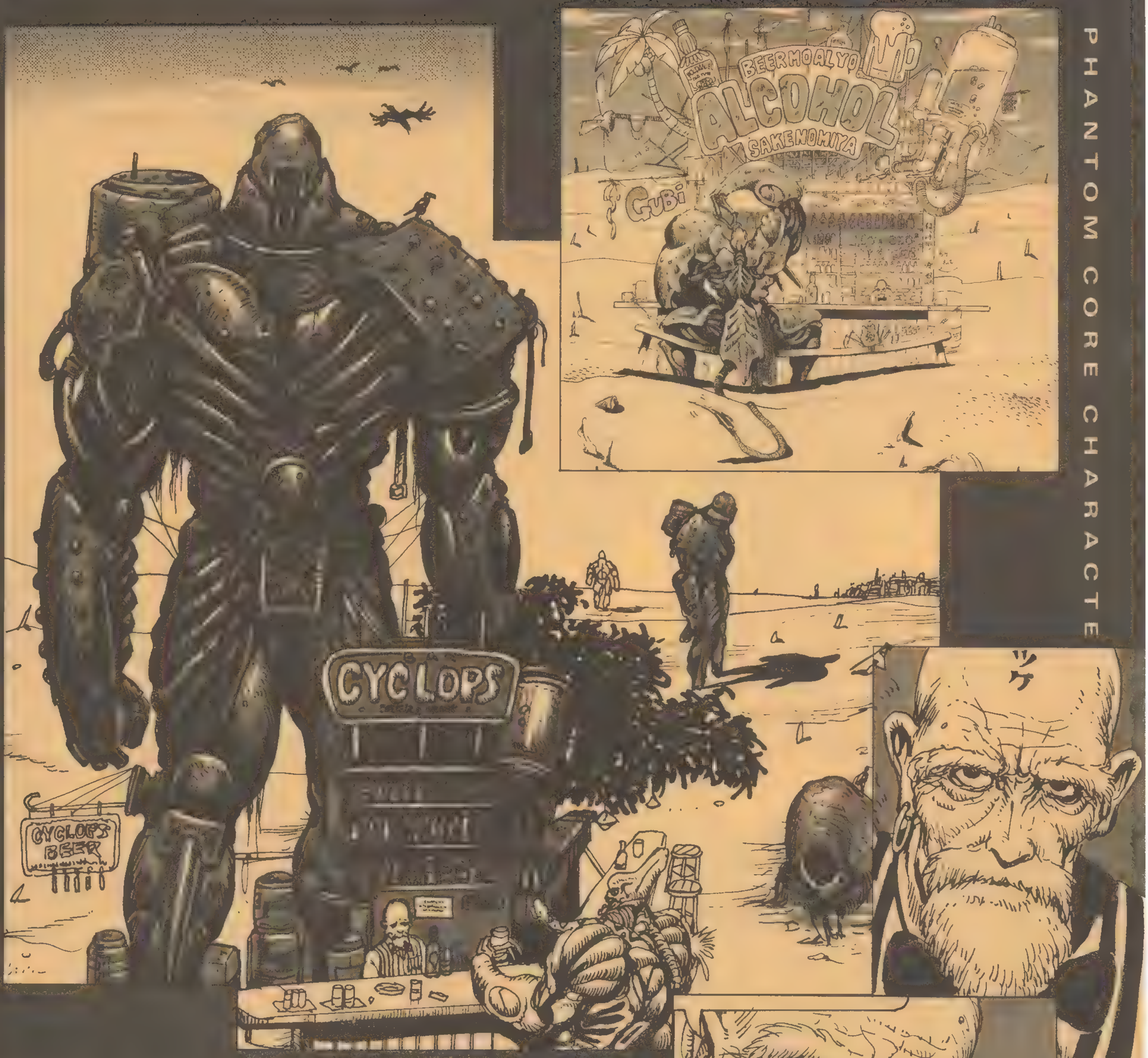
GELNIL

ゲルニル。昔、宮廷画家のモラルトによりすりつぶされ絵の具とされたアクマの子孫
[illegible]
ヴォイの液体で溶解してしまう。無念にも先祖の絵の具はなめきれなかったようだ



JARAH

ジャラ。ハードタイム・タナカじじいの新しい店"バー・サイクロプス"のガーディアンの眼窩に巣食う小アクマ三匹組。恐らく彼らもパスカ出現の際にできた歪みより現れたのだろう。とにかくイタズラ者だが、向うの世界では食うと仲仲美味いらしく、チィミドゥロのコック、バイバイに串刺しにされて連れて行かれた



HARD-TIME TANAKA & HIS BARS

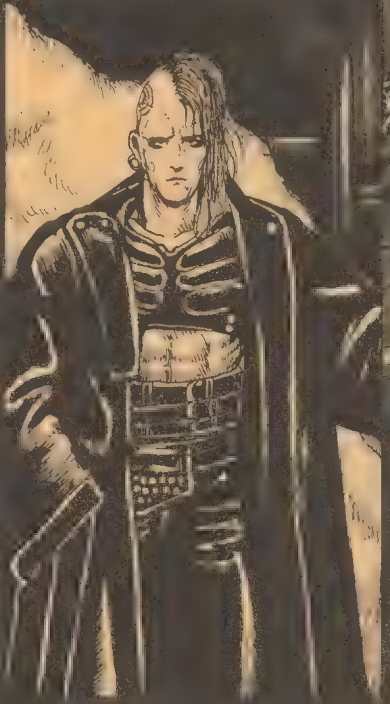
[illegible]
だったせいか執念深く、取り立てはしつこくキビシイ。店は"ALCOHOL"、"BACCHUS"、"CYCL-
[illegible]
事実である

SHIN STRAWBERRY

シン・ストロベリー。"ファンキュア鎮圧オフィス"の仕事のクライアント。彼も昔、鎮圧屋をやっていたが、ロブソンの戦いでかなりの痛手を負い、死の淵より

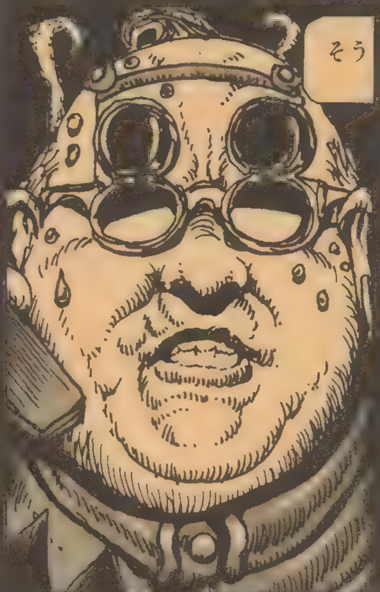
ROKUZOH GOLDEN CHAMELEON

ロクソー・ゴールデンカメレオン。昔は大トロボウとして鳴らしたオヤジで、ファンキュアとオリジン・インのバトルの舞台となった"カシェット・ウォール"内の[illegible]ン"の名が付いた。現在は質屋で鑑定家でもある



PHILIP PLUG-INN

フィリップ・プラグイン。ニナの昔の恋人。ハルマン・ラボより"NECRO THING"(ネクロスィング)という変身薬を盗むが、ニナ本人の手によりその命を断たれてしまう。ニナはその後自殺を図るがファンキュアにより制止させられる



DEGU COLOR

[illegible]集家。彼の購入した絵画にゲルニルというアクマが現れ、ファンキュアが鎮圧に向うが手に負えず、ウヴォイを召喚し、退治したというエピソードがある

ROKUZOH GOLDEN CHAMELEON★PHILIP PLUG-INN★DEGU COLOR

★このページのイラストは、'91年から'92年にかけて、月刊ＲＰＧマガジンのサイバーパンクＲＰＧ「メタルヘッド」リプレイ記事の挿絵用に描かれたものである★

METAL HEAD

CREATURE CORE

★このページのイラストは90年から92年にかけて月刊RPGマガジンの各種ファンタジーRPGのリプレイ記事の挿絵用に描かれたものである★

STORM BRINGER★RUNE QUEST★HORROR OF SCYLLA

FANTASY ILLUSTRATION

★CHIMIDOLLOのもとより秘かに入手したアクマ図鑑「イグロニカン」の複写をここに収録する。複写とは言え、放っておくと消滅する恐れがあるので注意して頂きたい。現に、前半のものからは欧文解説が消えているし、後半のそれは乱れに乱れている。なにぶん古い本のため、判読しづらい点はご容赦頂きたい★

CHICKEN★BALL

▲チキン。魔術魔法系の生態。死者を蘇えらせたり、ゾンビを操ったりできるブードゥーな奴だ。副業でニワトリを売ったりしている
▼ボール。背面全部が甲羅に覆われている。球状となるとかなりの防御力があるが、攻撃性の無い、臆病者だ

▲コフィン。生体実験人形達のスペシャル殺戮部隊"ソド"のリーダー格とおぼしき存在。背負った棺の中の死体は、変わり身に使ったりする擬装用のもの
▼コープスは動物の死体を身体中に張り付けており、損傷を受けても平気で闘うゾンビ野郎。ブラインドネスは、気配で相手の動きを読む名人。後方支援役

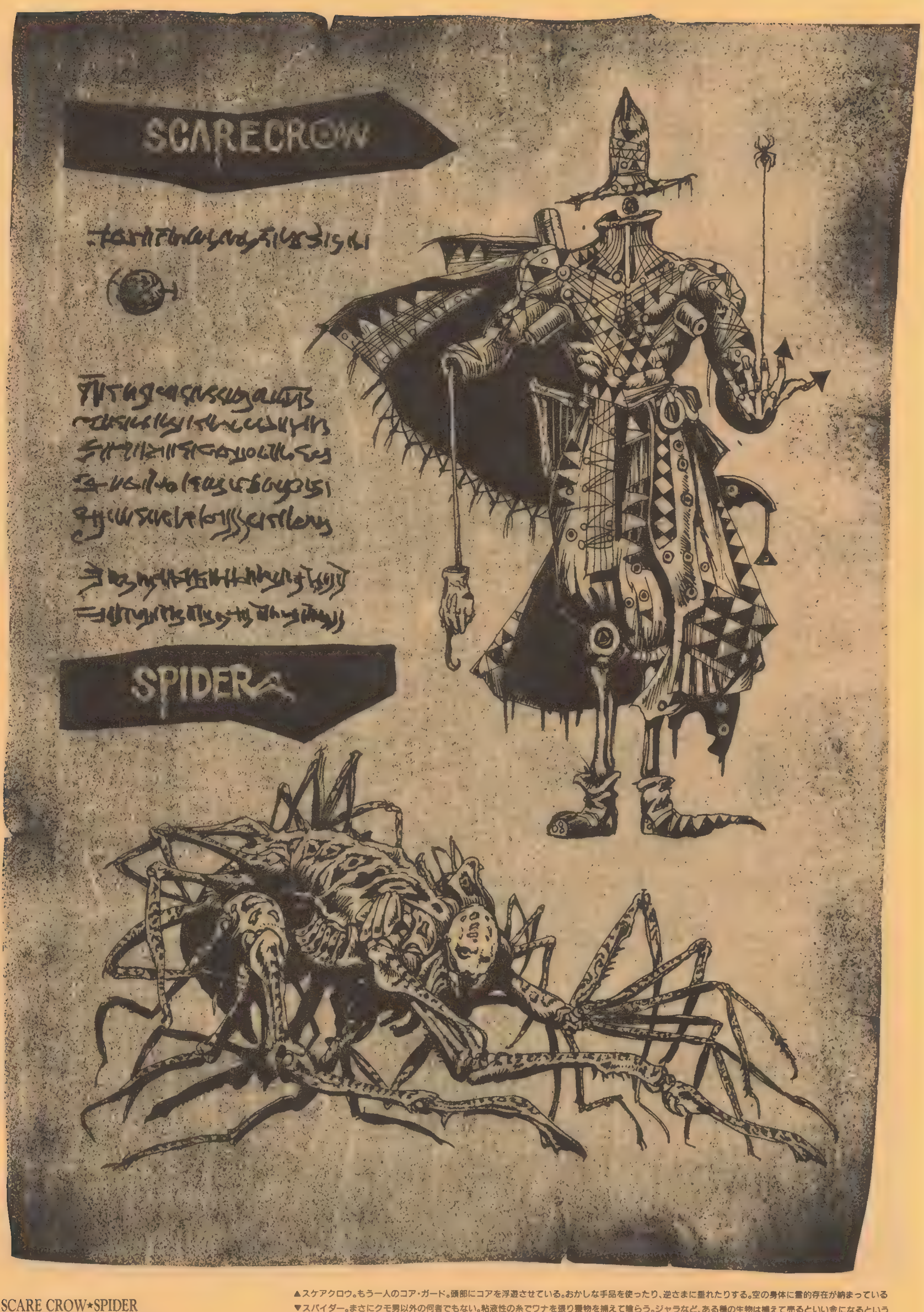
COFFIN★CORPS★BLINDNESS

FLESH LUMP★TATOO

▲フレッシュランプ。本体が肉の塊のようだが、肉屋である。チィミドゥロのコックであるバイバイが、彼から材料を仕入れている。何の肉かは知らぬが仏

▼タトゥー。シャーマニングで造り出されたゴーレム。身体中に呪文が入れ墨のように彫り込まれている。ゴシとの闘いで左半身を失い、電気ノコを装着

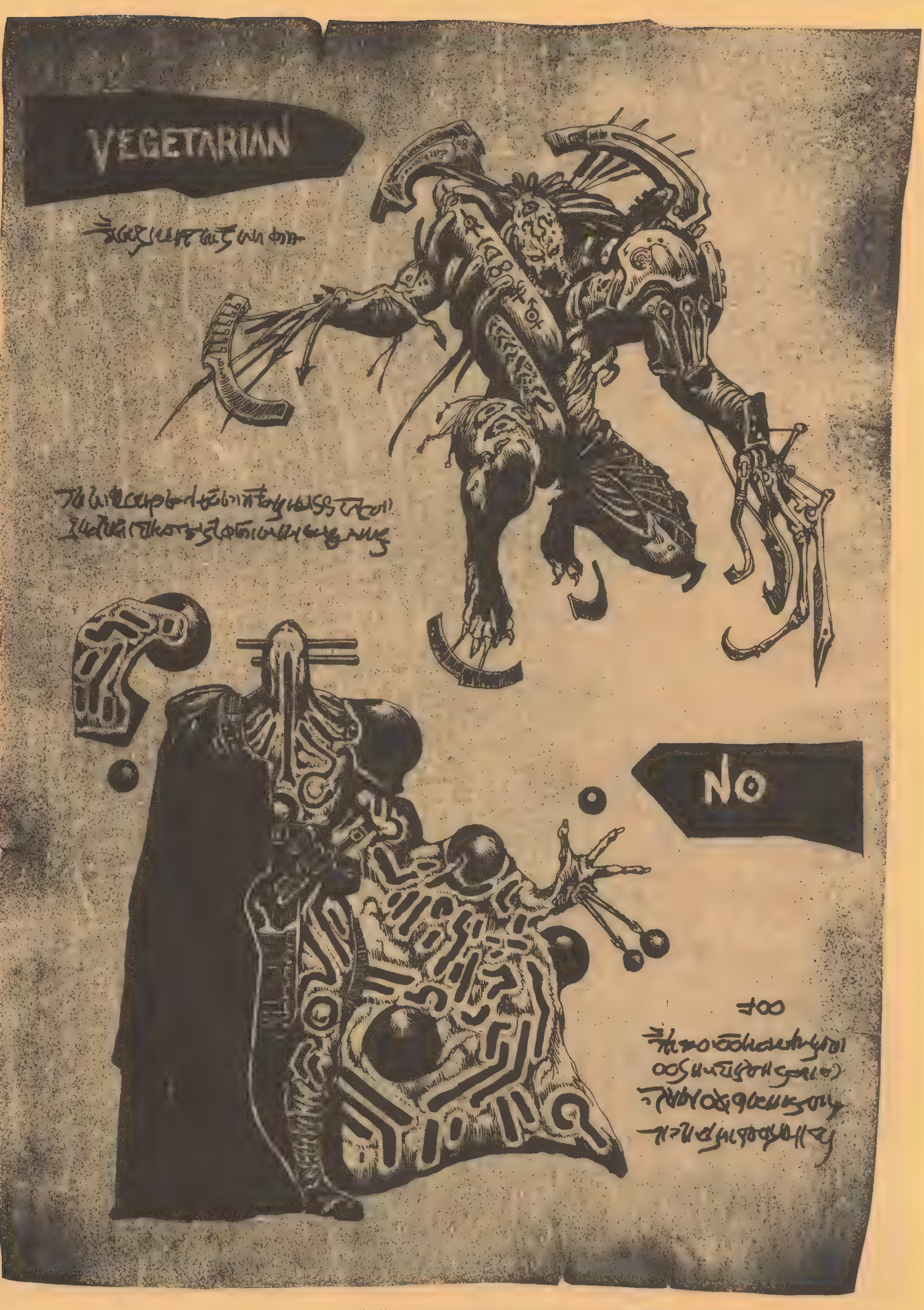
▲ブラックマミー。チィミドゥロの過去の身体を包葬したものらしい。霊魂が離れた現在も動きまわる。チィミドゥロが遠隔操縦しているらしい
▼モスキート。異界のブラッド・バンクである。異界では血液型が共通のものが少なく、個々に違っているため、みな彼に自分の血を預けておくらしい



SCARE CROW★SPIDER

▲スケアクロウ。もう一人のコア・ガード。頭部にコアを浮遊させている。おかしな手品を使ったり、逆さまに垂れたりする。空の身体に霊的存在が納まっている
▼スパイダー。まさにクモ男以外の何者でもない。粘液性の糸でワナを張り獲物を捕えて喰らう。ジャラなど、ある種の生物は捕えて売るといい金になるという

▲ボッシュ。異界のドクロ掃除人。小鬼のディレクターが左肩でやかましく指示するのに素直に従っている。性格はおとなしいが、敵にまわすとかなり恐怖
▼レフトキーガード。グニアス門の左側面の鍵を守る鬼石像がライヴとなったもの。一定の場所に留まっていないため、グニアス門は増々「開かずの門」だ



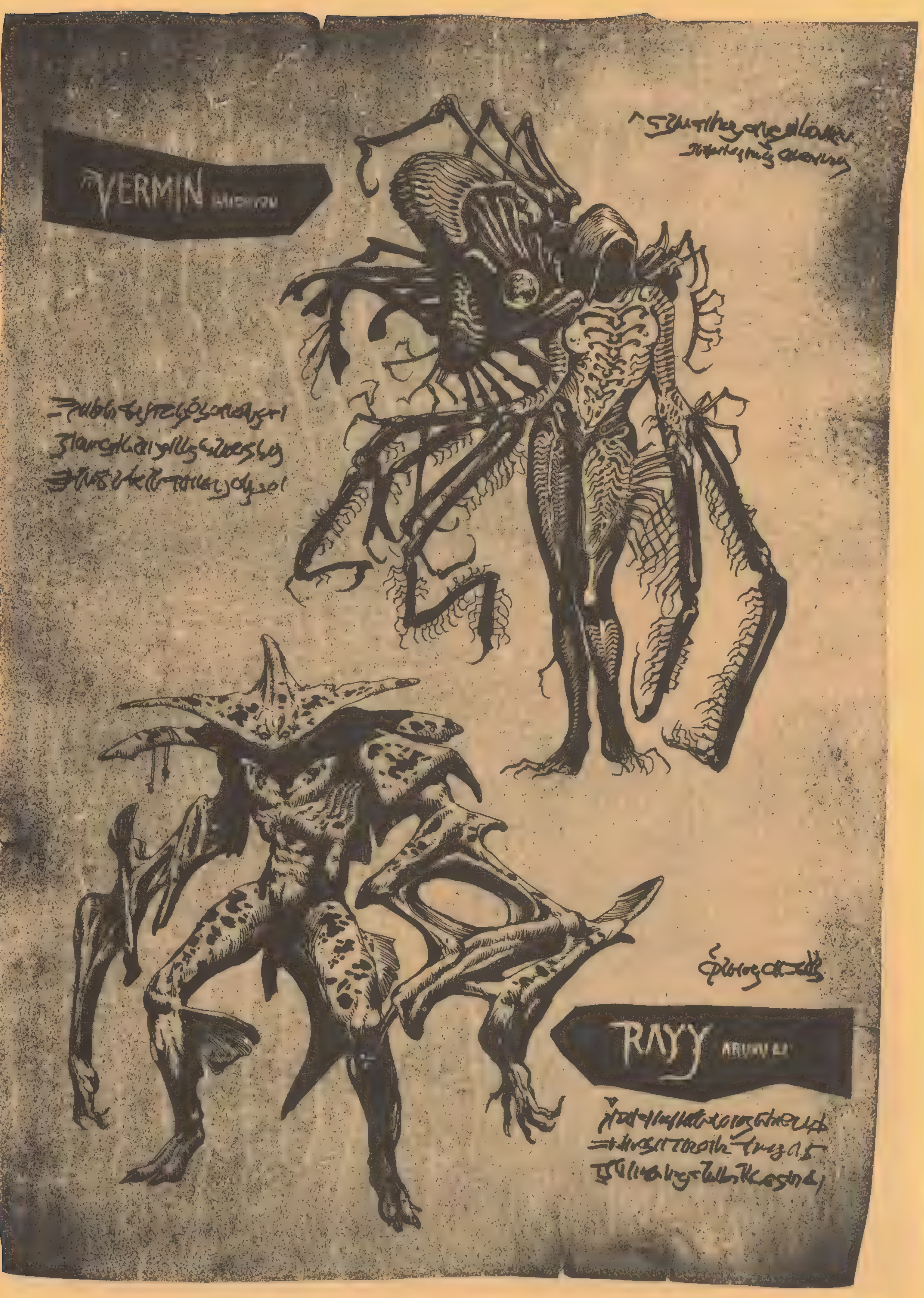
VEGETARIAN★NO

▲ヴェジタリアン。大昔に飛来した異世界の生物。殺戮を好むが、本人は植物系のものしか食さず、肉類はフレッシュランプに売りに行くらしい
▼ノー。謎の黒球を多数操る呪術師。黒玉を使っての攻撃は予想できず、大抵の者があっさりと倒される。その強さゆえに、チィミドゥロの側近として働く

▲アイアン。全身を鉄の塊で武装したゴーレム。本体の脳は背部のグラスカプセルに収納されている。前面の身体は、破損しても再生する性質を持っている
▼ポイゾン。異界のドクロのバラまき人。体内よりドクロが湧き出て来て、背中に溜まったドクロが溢れ出ている。右腕に毒を持つ

▲フィギュア。生体実験用ダミー人形であったが、殺戮症で今ではチィミドゥロの兵士である。右肩部の魔法金具で攻撃をする
▼センティペイド。その名のとおり、ムカデ野郎だ。何するわけでもないが、異界を徘徊してガラクタを集め、売り買いしている

▲タイム。少々、時間を操れるアクマ。この世の時間にして30秒程度は過去に戻れる。背部の大型時計盤に左手の針を合せ自分のスピードも変えられる
▼ヘヴン。本人は天使だと言う。黒一色のスーツの中からは、無限に有機生物が湧き出て来る。彼は「コア」を制御しているのかもしれない



VERMIN★RAYY

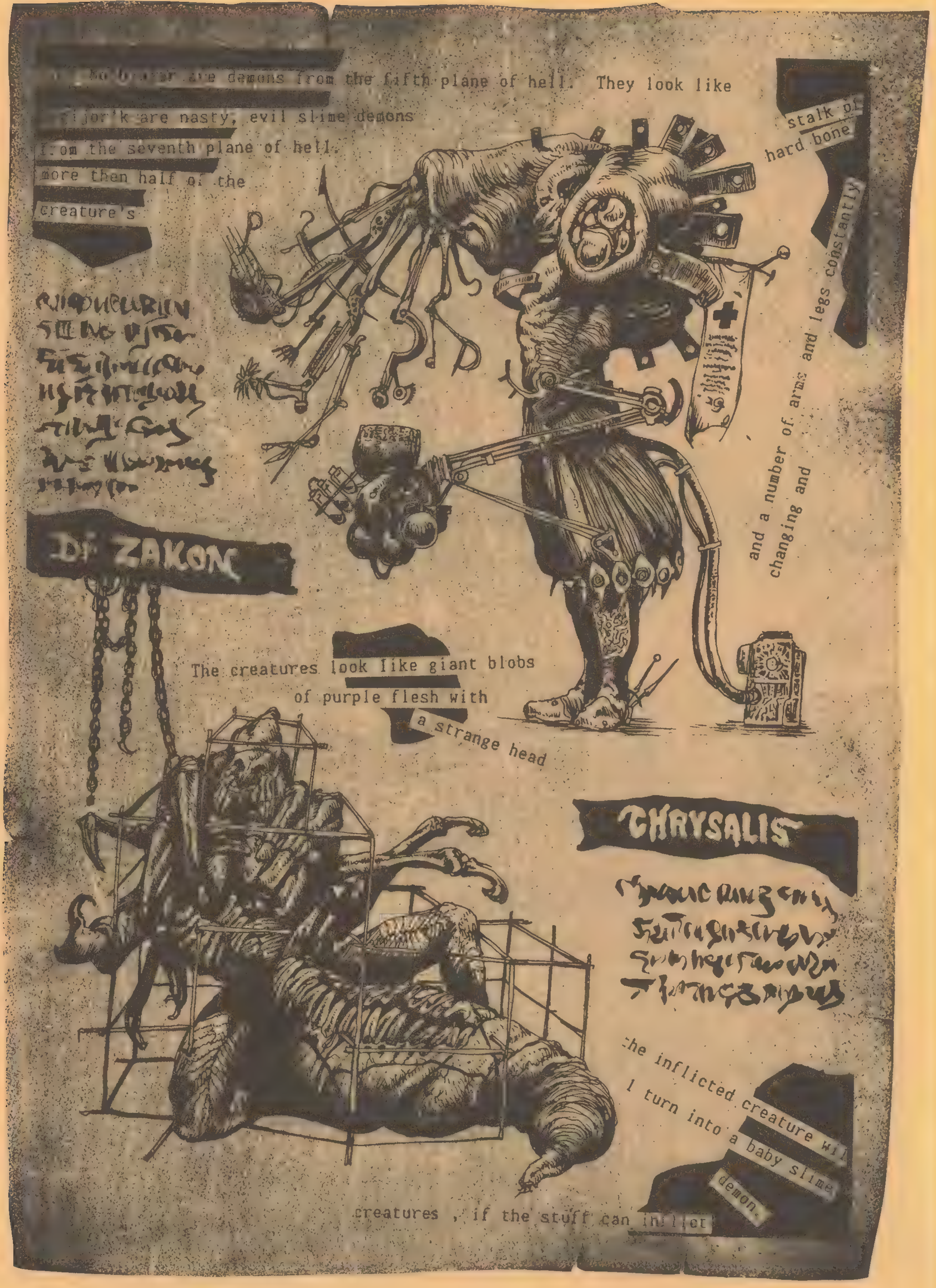
▲ヴァーミン。彼女は他の生体に取り付いた寄生虫を食してくれるため、異界のスラム地区では女神あつかいされているが、それらの虫を操るから実は恐い
▼レイ。水系のアクマであるが、水を嫌い陸に揚がった変り者である。腕が三重関節になっているほかの特徴は、カムフラージュ能力くらいだ

▲トゥイッグ。水玉模様のマントの内側に無数の関節が隠されている。この関節は伸縮が自由自在で、これを使って異界を移動している
▼アーマースィング。アイアンと同様、鉄の鎧を身にまとうゴーレム。しかし中身はスケアクロウのように空らしく、何かの霊的なもので動いているらしい

THIN HUGGER★TOW CUTTER

▲スィン・ハガー。魔術系のアクマであるが、さまざまな魔術の代償として、身体のあちこちが無かったり、伸びたり変形したりしているフリーキーな奴だ
▼トゥーカッター。職業的殺し屋である。殺しの依頼が解除されるとすぐに仕事をやめ、今まで狙っていた相手と飲みに行ったりする

▲サッカー。ヴァンパイア系の一人であるが、チィミドゥロによって、腹部から異種生命体を生み出す能力を身に着けている
▼キャブ。下半身輪転機のタクシー野郎。これと言って芸は無く、走りの方も速いわけではない



Dr. ZAKON★CHRYSALIS

▲ドクター・ザコン。チィミドゥロの主治医であり、さまざまなマモノの治療も行なう。意識共通の身が10体あるらしい
▼クリサリス。いわゆる「サナギ」。異界時間にして1年先の状況を予知し、それに応じた生態として生まれる、フレキシブルな奴だ

▲ウヴォイ。水系の生態。好物は生ガキ。「ファントム・コア」エピソードにも登場
▼キャタピラー。その名のとおり無限軌道である。垂直面はもとより、逆さまにも、地中さえも進める。ただし低速だ

LOU LEE LEE★DOLL MALTA

▲ルーリーリー。もともとヴァンパイア系の生態であったが、チィミドゥロによって生体改造された戦闘兵器。背面に角状にたたまれた骨が開くと、コワイ
▼マルタドール。フィギュアと同様、チィミドゥロの使う生体実験用ダミー人形であったが、耐久性が強いため呪文金具を身体中に埋め込まれ兵士となった

GOSHI

[redacted]gres are huge humans
[redacted]ind flesh. The ogre has
[redacted]sub-race of creatures belonging
[redacted] with a face like
to it called,[redacted]
that of a bear.

Machine men are [redacted] ancient robots created by the old ones

DULIEATER

with an octopus head.

The death lizard is a bright metallic-yellow lizard that lives in large deserts and in deep dark caverns. The creature can be as large as 99 feet long. Its mouth is so large that a full grown giant can walk upright down his throat.

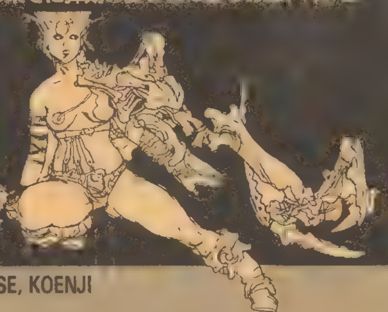
▲ゴシ。ギガンティス系の巨人であったが、下半身をやられ、上半身のみとなった半機魔人。しかしそれでも絶大なパワーを誇る

▼デュリエーター。身軽さや敏捷性は異界一かもしれない。クトゥリアン(水系魔物)であったが、やはり水を嫌い陸に揚がった。自作道具を使って泥棒をするのも得意

DEATH★BUTOH

▲デス。死神だが、それにしては人間くさい性格なため、チィミドゥロに従っている。話をしないと相手かまわず首をカットする顔マニアだ
▼ブトー。異界のゲーム(ザリバ)の選手であったが、あまりに殺戮屋なのでチィミドゥロが引き取った。金を払わずとも殺してくれるので、トゥーカッターよりいいかもしれない

TALK AND COMMENTS



韮沢 靖の造形の師であり悪友である竹谷隆之を迎えて歯に衣着せぬ対談を敢行。韮沢作品の秘密と謎に包まれた(?)人間関係をここに暴露する。絶妙のタイミングで合の手を入れ、警句の果てに弾劾の憂き目に遭うのは、(株)ビークル専務・萩原篤である。パート末には韮沢をよく知る2人の巨匠、マルチクリエイター・小林誠、映画監督・雨宮慶太のイラスト&コメントを収録した。

PARTICIPANTS
N▶NIRASAWA（韮沢 靖）本書著者
T▶TAKEYA（竹谷隆之）造形家
H▶HAGIWARA（萩原 篤）造形工房ビークル専務取締役

DATE: NOV. 16, PLACE: PENGUIN HOUSE, KOENJI

[MR. KOBAYASHI & MR. TAKEYA] **T** どういうきっかけでこの世界にはいったの？ **N** そもそも小林誠さんの作品集「ハイパーウェポン」を見て、写真もかっこいいし、オリジナリティーのある人だな、と思って。高円寺パルという書店で偶然会った時に名刺渡して、で、1年くらいたった時にタカハシという友達と、コトブキヤでやった小林さんのサイン会に行って、「小林さん覚えてる？」「うん、今度高円寺においでよ」「うん、それじゃ」と、そんなもんです。で、何度か遊びにいってたわけなんです。そうこうしているうちにモデルアートなんて本を見て、本来カタい本なんであんまり見ないんだけど、そのカタい本にぴっちりカタいエイリアンが載っていて、それが竹谷隆之だった。小林さんのところで「ニラちゃん、これが究極のダンバインを造ったタケヤくんだよ」って紹介されて「あっコンチワ」って言ってるうちにタケヤ、テレながら消えちゃって。**T** テレてないよ。ただ用事があって帰っただけだよ。**N** それがタケヤとの最初の出会いですね。行ったらいたと。**T** 違うよオレが行ったらいたんだよ。 **N** 何でもいいや。そうこうしているうちにタケヤが「未来忍者」のプロップやっているから手伝ってってって言われて、東宝ビルドへ行ったら守衛さんが「誰もいないけど11スタに電気がついてる」と。11スタ行ったら真っ暗で誰もいないから帰ろうかな、と思っていると、ボロ布をまとったカマキリのようなヤツがいたんですよ。それがタケヤ。2度目です。 **T** カポックの上で毛布にくるまっていたら人の気配がしたんで起きたらいたんですよ。その前の日に成城の駅前で3時間待たせたんですね。**N** 人の脚見て。3時間たっても来ないんで小林さんに電話したら「3時間待つ方がおかしいよ、早く帰って来なさい」って怒られちゃった。3度目に会ったのは「女の子と付き合ってるんだけど、別れようと思うんで、ちょっと一緒に行ってくれないか」と。「オレの役目は何だ、適当なところで帰ろうと言えばいいのか」「うん、そうだ」。で、鍋をつついていると、ひとしきり口喧嘩が始まって、気まずいな、と思っていたら、何だか知らないけど仲よくなっちゃって、帰りぎわ、二人で手を振って、「じゃーねー」だって。オレは何だったんだ(笑)。それが3度目。他人を利用するなんて汚い手を使って。この時ボクは見抜くべきでした。タケヤの一番信用できるところは、信用できないところですね(笑)。ただ、ボクはハイエナ・モデラーだから、恩恵は受けてるわけです。 **T** 寄生虫でしょ。 **N** パラサイトと言ってよ、かっこよく。 **T** まあ、寄生というより共生ですね。百歩譲って(笑)。いろいろ学ぶべきところも沢山あると。 **N** 学んだのはボクの方ですね。 **T** こんなヤツから学んだことって？ **N** こらえてもつまらないのにこらえながら造るとかですね(笑)、変人と思われながら、エビの頭やモスバーガーのモスチキンの骨を集めたりするしたたかさ(笑)。いつそれを発揮できるかと。全て発揮しましたけど。下積みが大事なことだと。彼が集めたものはボクが全部使ってるんで、彼なんか本当にボクを太ったハイエナ野郎と思ってるかも知れませんけど。 **T** サイの背中にとまってるトリみたいなもんですね(笑)。**N** 今回作品を作るにあたって家で造るのも手狭だし、で、「タケヤさん、仕事場を1日1万円で貸してくれませんか、安いけど」と。安くはないと思うけど(笑)。 **T** それ造り物込みの値段だろ。 **N** ああ、込みか。助かりましたよ。あと、モデルアートのペンギンキャラクター、編集後記のイラストはタケヤだと。今日ボクらの師匠の小林さんからコメントページ用のファクスが来てね、「悪口書いてくださいよ、池に落ちてバクハツしたことか」って言ったんだけど、そしたらマジメなんだ。ありがたかった。ちょっとね、涙出た。アリガトー小林(笑)。

[PHANCURE] **T** ところで「ファンキュア」ってどうやって考えたの？ **N** そもそも当時「キュア」ってイギリスのバンドが好きで、キュアって言葉を入れようと思ってたんですよ。で、キュアじゃ弱いから、ばーん！といったキュアで「ダキュア」！ で、小林さんに言ったら「ニラちゃんそれよくないよ、ダキュアなんて」って言うんで、小林さんが言うんだからよくないんだろうと。そしたら小林さん自分のマンガで「エルメダインIII・ダキュア」なんてつけちゃって。誰なんだあんたは、と(笑)。使われちゃったからここは外してね、「ファントム」のファンをつけて「ファンキュア」。 **T** タカハシの話によると、エルガイムMK IIが好きであういう形になったと聞いたぞ。 **N** いや、形はなあ、違うよ。つまり怪人サイズというか、デビルマン・サイズ？ せいぜい5mくらいが好きだったから。顔がドクロでカエルのジャンプ力を持つ、ファンキュア・スカルフロッグと。第1話の戦闘シーンの「シャーッ！」ていう絵コンテは、「カリオストロ」の影そのまんまですから。もともと爪が長いのが好きでした。左右非対称にするというデザインは最初からありましたよ。 **T** 何で左右非対称なの？ **H** 描けないから？ **N** 描けないのもあるけど(笑)、主人公が完全じゃなくて、いつか壊れるとか狂うとかいう不安定感を… **H** 元ネタはやっぱり「キカイダー」かな？ **T** それを表現するために左右非対称にしたと。 **N** あとタケヤが、オレが最初に描いた絵見て、「これじゃつまんないよ」と。で、頭を尖らせたわけです。最初のガレージキットの顔はタケヤの製作だから。まあいろいろこの周りの酒池肉林があったわけで。こういう時に使う言葉じゃないけど(笑)。 **H** 酒池肉林はKちゃんだね。 **T** 今回は乳暈の広さはどうだったんだい？ **N** もう、ノーマルなサイズで。ノーマルが楽しいよ、皆さん。 **T** シングルCDじゃなかったと。それを打消すだけの愛があったんですね。 **N** 昔から乳暈は5cm以上あった方がよかったんだけど、最近のオレは変った！ **T** もう結婚するしかないね。結婚して子供作って、暖かい家庭を作って…

[SARACENIAN] **N**タケヤくん、サラセニアンからハガキもらったっていう話をしてよ。こんなうらやましい… **T**正月でもないのにですね、差出人がサラセニアンでボールペン書きの普通のハガキが来たんですよ。上半身の絵が描いてあって。「ボクはがんばって仮面ライダーと戦う。だからキミもがんばれ」。年賀状でもないのに。 **H**何でサラセニアンからもらえんのよ、おれが中学生の時に。アレ死んだよ。 **N**こういう人なんですよ、ハギさんて。でも、サラセニアンていうピッキングがね、シブイですよ。オレも好きだったもの。メジャーじゃないんだよ。 **T**しかもタイムリーじゃないんだよ。テレビの方はもうゲバコンドルくらい(笑)。 **N**もう過ぎてる。**H**結局誰だったんだろう？ **T**目星はついてるんですけどね、友達のお兄さんだったんじゃないかと。 **N**でも、ホントにサラセニアンだったと思った方がいいよ。 **T**サラセニアンから来る前に石ノ森章太郎に何年か年賀状を送ってたんですよ。怪人のデザイン画書いて。テレビマガジン経由で。最初そのせいかと思ってたんですけどね。

[BOYHOOD] **T**ところで、新潟で育ったっていうけど、実家は何やってんの？ **N**バー、飲み屋。お袋は芸者でオヤジが仙台でナンパして連れて来たんだって。源氏名は三吉(笑)。飲み屋だったんで、中学の時からアンダーグラウンド見てたんですよ。オッサンが「なんだいヤッちゃん、ダンシング・オールナイト歌うヤツと同じ声してんじゃん、歌え！」。客のために歌いましたよ、泣きながら。 **H**その人のお陰で学校出れたんでしょ（よく知っている）。 **N**いや、石井さん（誰なんだ）は歌えなんて言わなかった。いい人だった。月にまあ2～3万のあまり金の無い客ですね、エラそうなのは。心が貧しいと貧乏ですよ。これがボクの持論ですね。で、お陰で東京デザイナー学院に入ったわけです。「石井さん、焼きソバ食う？」。食わないのに「ウン」てね。作らないのにペケマークを付けるわけですよ、伝票に。帰る時にね、歩けば20秒くらいなのにタクシー呼べって言うの。で、ホントに直線距離を乗って帰るの(笑)。オレはホレましたよ、男ボレ。

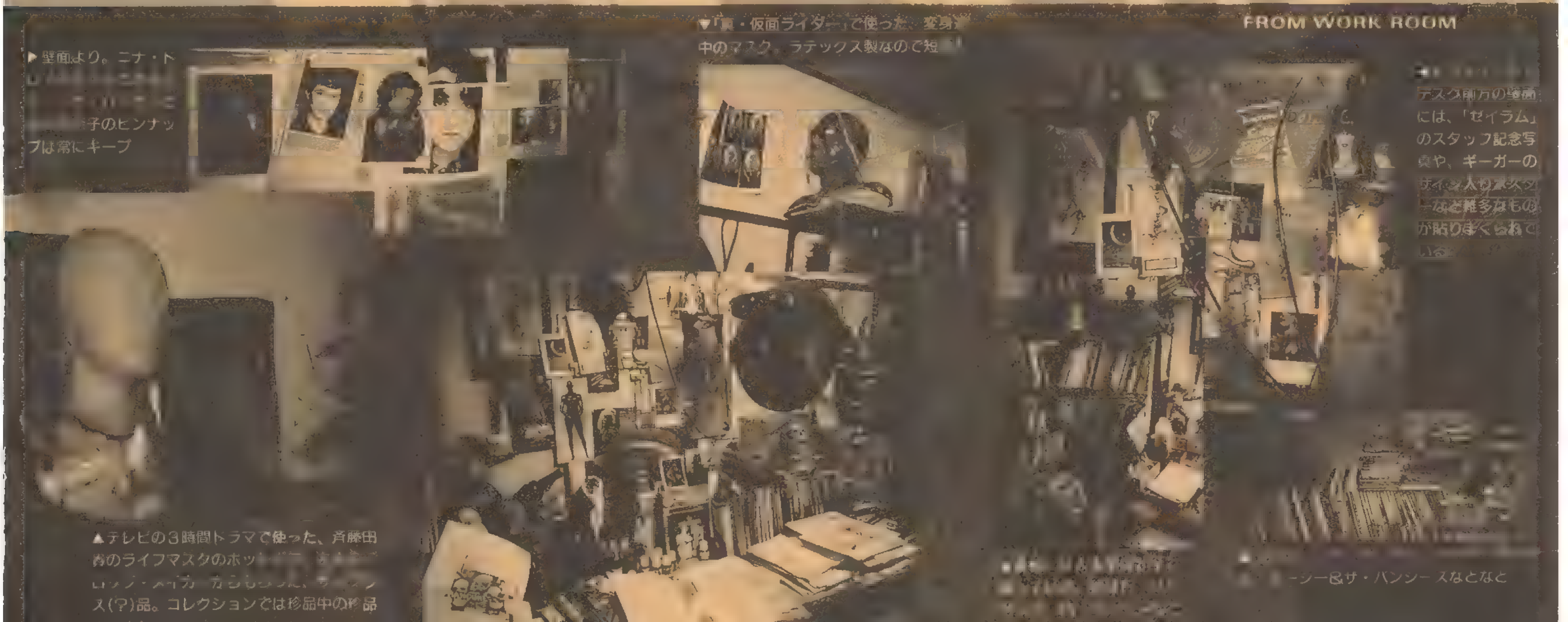
[FRIENDS] **N**ボクは東京来てね、あの、カッコつけてるヤツはいいヤツいないや。ボクの周りはみんなさらけだしてる。タケヤなんて、トランクスのパンツに腕突っ込んで、「スペ～スジョッキー！」なんか言って、小林さんに蹴っ飛ばされてそのままのカッコで転がってってたりして。こんなヤツしゃべりたくないスからね、ホントは(笑)。そんな彼にマテリアルを供給してもらってるなんて、ボクの造形もさぞイノセントだろうと。アッ！ ハギさんは今氷を口に含んでボクに飛ばしたわけですね。こういうことは日常茶飯事で。まあハギさんと出会ったのはですね、小林さんとこにアシスタントでいた時に、ハギさんがやってきて「あ、小林さんの手伝いをなさってるんですか、大変ですね」などと言いつつ隣の部屋へ行き、そこから「なんだ、そうなんだ！」という声が聞こえたかと思うと、出てきたもう次の瞬間に、「なんだ、年下なんだ、バシッバシッ！」なんつって叩くわけですよ、初めて会った日に。このヒト何なんだと(笑)。**T**ぼくのところで二人会った時もね、「あっニラちゃんだ、エイエイッ！」って会うと叩いちゃって。 **N**その後5年くらいつきあってるわけですけど(笑)、や、人間はいい人なんですけど、やっぱりその行動に皆さん驚くわけで。ボクらは大丈夫だからいいんですけど、この間、タケヤが「仮面ライダーZO」やってて、まあ「遣いバッタ」が出るわけです。その原型を造ってたらハギさんが遊びに行って、「あ、何だこのバッタ、エイエイッ」なんつってツブシにかかったわけです。タケヤの場合、もうツブシにかかられちゃっちゃ、「ハギさんやめてよ」って言っても型が伸びる一方で、よくないわけで、タケヤはどういう行動に出たかというと、「あ、シャレんなんないや…」って呆然として横向いたわけ。その行動がやけにリアルでね。そんなことはもう、150回くらいあるわけで、あの時の行動の演出と言うんですか、あれほどリアルなものはなかったんです。あの時モギ取ってたら型は伸びてたわけですから。タケヤの行動は賢明だったと思います。ただそれを外から見てたオレとしては、嬉し哀しいって言うんでしょうか。なんだかこう、演出のリアルってコレだよなって思った反面、オレたちって、こういう現実ってあるよなっていう哀しい面も見たわけで、ハギさんに対する愛と憎しみはその一点に集中したわけなんです(笑)。マテリアルをいろいろツケで供給してくれたりして、ホントいい人なんスけどね。ハギさんありがとう、でもちょっとイノセント（コドモ）すぎるんじゃない？と、こう言いたい。そんなハギさんはあのゲージツ家のクマさんと知り合いなわけで、クマさんからビーグルに電話が来て、「クマだけど、ビーグルいるかい」ってハギさんを呼び出すわけです(笑)。ハギさん自身がビーグルなわけなんですね(笑)。ツクダの竹田さんも大笑いすると思いますよ、これ読んで。まあ、困った年上というんですか。あらよ、ここで「バシッ」と入れてください。**T**あと、どんな人と付き合いがあるか言っといた方がいいんじゃないの。 **N**今回ゲスト・コーナーでいろいろな人と付き合ってもらったんですが、そもそもというのはつまり、タケヤんちに「イッタライタ」というこのカタカナを明確にするために、タケヤ氏から話してもらいましょう。まず最初に寺田くんから。 **T**寺田はね、デザイン専門学校の同級生だったんです。ボクの家にしょっちゅう遊びに来るんです、家が近いもんで。ニラサワと「未来忍者」の時に紹介し合った。似たようなものが好きなんで。高柳はどうだっけ？ **N**「孔雀王2」の時ですね。その造形ぶりと話しぶりのギャップが面白くてね。 **T**ああセイカク破綻してるからね。 **N**ボクも仕事直接関係無いから、もう面白いばかりなんだけど、タケヤはメイワク被っているらしいんで。 **T**挙げたらキリが無いんですけどね。電話がかかって来るんですよ、寝てる時に限って。午前中寝てるボクも悪いんですけどね。**N**造形家午前中寝てるのフツーだよね。 **T**「ネテマシタ～？」。「寝てるよそりゃ。切っていいか」って言っても、「チョットキイテクダサイヨ～」って延々話し出すんですよ。**N**まあ言いたいのは、タバコでも吸ってイカレろと(笑)。ボクは実害無いんで面白いばか

▼壁面には、フェイクアリッド・ア[illegible]レスのピンナップ。ハウアーやパリロ[illegible]

りなんですけどね。高柳とは一生付き合おうと思ってますよ。ボクの師匠のタケヤを苦しめてるところも好きですしね。造形がうまくなければ付き合わない、というタケヤの言うことも百くらいわかりますね(笑)。 **T** 鬼頭くんは？ **N** あんなナマイキな子は…まあいいんじゃない。そもそもタケヤが忙しくなるんで、なんかスゴイやつがいないかと。横山宏さんとこに手伝いに行ってた鬼頭くんに電話したんです。この前もイジメちゃったんだけど、若いのに年寄りみたいな作品造るのがボクはキライだな。でも手伝ってもらってキライなんか言えないから（言ってるって)、どうもありがとうキトーくん。でも抑えすぎだね、望むのはもっとコワレた方がいい。素晴らしいけど、残念なのはもっとコワレないところですね。これはマジメだな。これ見て鬼頭くん「またニラサワさん、すぐホメて」って言うんだけど、オレはいいとこしかホメてないし、悪いとこ指摘して伸ばそうと思ってないから自分で気付いて、と(笑)。もっとコワレた方がいいな、若いのに。 **T** 小杉くんは？ **N** 小杉くんはもう我々が何かを言う以前の問題でしょう。小杉くんは高柳と３年くらい「アルゴナーツ」っていう会社をやってたんですけど、「やあいいですね、頑張ってくださいよ、憧れですよ」とか言っておきながら、ボクがいなくなると「ニラサワさんとか、タケヤさんとかみたいな生き方してると、ダメなんです」と。ボクらもダメだと思ってたからそれに異論は無いんですけど、アンタに言われたくないよ(笑)。「ゼイラム」の時に会って「タケヤさんが最初にあんなヒナ型造るからボクらが苦労するんですよ」って言ってボクのタケヤ師匠を足げにした年下は小杉くんだけですからね。素晴らしい。且つ、オロカと言わせてもらいましょう。でも実際オレ、タメ語使ったことない。「ああそうなんですかー」(笑)。コワイです。 **T** 樫幡は？ **H** もう旧いよね。 **N** カシハタはボクが東京デザイナー学院入った時からの知り合いで、出身も新潟なんで一緒なんですけど、まあ、有言不実行型というんでしょうか(笑)。いろいろしゃべってくれてボクには参考になるけど、何もやらないんでその分ボクがやると。ありがたい師匠なわけで。まあ本人も、今回めでたく不本意ながら、「アンバイアスト」というバンドでシングル・デビューを果たしたらしいんですけど、本書のデザイナーである内山さんやボクのサブ師匠であるタケヤさん言うところの、「何もやらないヤツに何ができる」ということに追随する思いはボクもあるんですけど、ビーグルの死神博士もできる前に非売品として出てしまったわけで。でも正直言ってインプレッションにはなるけど、本人は何もやらないと。 **T** あんた今回デザイン画一杯描いたじゃない。樫幡あのコピー見て、「これ、昔ニラサワに言ったことが沢山出てる」。 **N** そういうことです。やらないから、やられちゃう。ま、やらなくてやられた悔しさが表現につながればいいと思ってるんですけど、まあ、つながらないでしょう。 **T** あと10年音楽やるって言ってるから。10年たって40になったら巨匠を目指すと。今は「やらない勇気」。 **H** 作れない才能？ **T** 実際、すごくいいことたくさん言ってくれるんですよ。演出的にも。 **N** 言った本人忘れてるんです。こんなありがたいことがありましょうか、と。 **T** カシハタって外人に知り合いが一杯いるけど、そもそも何で？ **N** まあ、キャラクターだね。 **T** ウチによく電話がかかって来るんだ。「マサト、イマスカ～？」とか「マジー、イマスカ～？」とかね。カシハタのアパートの隣に英会話の先生がいてこれがタカハシにベタボレで、カシハタの身体をなでまわすんです。横にこれもカシハタ狙いの別の女の子がいて、スゴイ目つきでニラんでたりするんですよ（笑)。 **H** 自分のお袋が大家なんだよね。 **T** 家賃１万円なんです。 **N** その１万円すら払ってない。バカタレが！。 **T** 溜めてる。ちょっとは世間に出なきゃダメだ。ちゃんと会社に勤めろよ！……でも現場ではすごい頼りになる。テキパキ働いて。 **H** それはそうなんだよ。来れば役に立つけど、来ないんだよな、またこれが(笑)。 **T** 東宝事件てのがあって、カゼひいて来なくなっちゃって。 **H** 「ビオランテ」の時、いなくなったんだ、アイツ。 **T** 英会話の先生の友達でこれも外人の娘がいて。可愛いんだけど、これがまたカシハタにホレてて。 **N** お湯と石鹸でイイコトしてもらったと。今回彼女は作品集にニナ・ドロノのコスプレで出てもらうことになってたんだけど、高柳がコスチューム造らなかったもんだから、あえなくダメ。顔はトレーシー・ハイドが成長したような感じで、身体はもうボヨヨーンですよ。 **H** あ、そういうことあったんだ。 **N** 惜しい、是非とも「クリーチャー・コア２」でやりたいと。 **T** ところで雨宮さんとの出会いは？ **N** イッタライタんです(笑)。タケヤの先輩なんですよね。「ゼイラム」手伝った時に、「ニラちゃん、ビールビール」「あとで冷たいビール飲もうよ」ってそこにあったビールが温まってたんで遠くのスタジオから持って来てくれたんですよ。監督ってここまでしっかりしてないと（気を遣わないと）現場の長になれないんかなあ。尊敬してます。それから、雨宮さんのデザインした「ブロッカー」が大好きです。

[MODEL MAKING] **T** いつも造りの順番としては…造る前に何か考えたりするんですか。 **N** う～ん、造りに関してはボクはほとんどタケヤさんのマネしてます。３㎜アルミ棒で骨格を読み…造るんじゃない、ヨミ、ですよ。ナマイキなこと言っちゃったりして(笑)。 **H** バビル二世。 **N** そしてファンド（紙粘土の一種）を数ｇ盛って穴を開け、即乾燥。その上にスカルピー（最後に焼いて仕上げる粘土）で筋肉を付けていくと。最近は新宿のオカダヤで買って来るレザーや布関係を使ってるんだけど、これがとっても早く造れていい。粘土にディテール付けるのは最小限でいいし、シワなんか、ホンモノだからすごくリアルだし。ジュサブロー展を見て参考にしました。…タケヤの場合は縛られた中で造るからキツイと思うんですよ。ボクの場合、例えばサソリ男なら何が似合うかと。そういう、最初脳ミソの方に時間がかかるわけですね。つまりサソリ男でチンドン屋にするよりも、ホモの方が似合うと。それでいいと思ったらそれを貫くと。ノウハウはホントにタケヤさんのスピーディーな造りのノウハウを学んだんだけれども、要るモノと要らないモノを選

FROM WORK ROOM



▶壁面より。ニナ・ド[illegible]子のピンナップは常にキープ

▼「真・仮面ライダー」で使った、変身途中のマスク。ラテックス製なので短[illegible]

[illegible]デスク前方の壁面には、「ゼイラム」のスタッフ記念写真や、ギーガーのサイン入りポスターなど雑多なものが貼りまくられている

▲テレビの３時間ドラマで使った、斉藤由貴のライフマスクのホット[illegible]ロップ・メイカーからもらった[illegible]ス(？)品。コレクションでは珍品中の珍品

[illegible]ーシー＆ザ・バンシーズなどなど

択するのは、まあやはり小林誠さんから学んだという。写らないところは造んないんだヨと。それって客観的に聞くと、何言ってんのこのオッサン、と思うかもしれないけど、写真で最終的に伝わる場合にはホントに一番大事なことで。でも、希望としては、やはりタケヤ氏的なオールラウンド(表も裏もキッチリ)な造りを目指しているわけですよ。同じ年で何でここまでこだわって造れるのかと。で、タケヤの弱点もまた、この場で言わしてもらえば見えてきたわけで。　**T**アッタマくるなー！　**N**…と言うタケヤも実はわかっているわけで、その辺が共生関係なのかな。タケヤはホント着実な造りをするんだけども…何て言うか…　**T**なんだなんだ？　**H**でも直線できないよ。他人のデザインで自分のやりたいものに近付けるためにやってると。　**T**いや、なんでこんなにちゃんと仕事ばっかりしてるかというと(笑)、これだけ仕事しといて最後に裏切ると、おっもしろいぞー。これは楽しみだよ。　**N**それより今やりたいことやった方がいいよ。裏切るのも楽しいけど、それでどうすんだよ。　**T**それはキミはキミの人生しか歩んでないから言うけども、ボクは違うんだよ。

[FAVORITE FILMS]　**N**ボクはアメリカンニューシネマ・ラインが心の糧となっています。「ダーティーメリー・クレージーラリー」「真夜中のカウボーイ」「カッコーの巣の上で」。その辺はもう、ニューシネマもの、ホラーものといったジャンル以前に好きな映画です。でホントに一番好きな映画は「ドーベルマンギャング1・2」です。今人に言える好きな映画は「キンザザ」「ヒドゥン」「デューン」ですね。「デューン」はいろいろ言われてるみたいだけど、あれほど別文化を持った映像を見せられて、ありがたいと思わないヤツなんかは、同志とは思わない。あれがキライなヤツは、いくらボクの作品が好きだと言ってくれても、仲間だとは思いたくないと。それぐらい好きだと。基本的に同志というのはオレのことを裏切るくらいだから、そんなことを言ってるわけじゃなくて、どんなキライなヤツでも、あれが好きだというヤツは、たぶん最後には友達になるだろうと思ってるくらいの価値観の、美術観の映画です。「ヒドゥン」はもう、四の五の言われてもあの演出にはかなわないと思ってるし、「リキッドスカイ」「マイドク」をやっとこの前観たけど、アンダーパワーを感じました。ま、「ヘルレイザー」「フランケンフッカー」も別格で好きだけど、とにかく「ドーベルマンギャング」と言いたい(なんなんだ)。監督で観るより役者で観てたので、ドナルド・サザーランド、ロバート・レッドフォード、ロバート・デュバル、エドワード・フォックスなんかの映画も好きです。ボクがケツを貸してもいいと思うほど好きなのはクリストファー・ウォーケン。彼になら何をされてもいいですよ。女優だと中学の時はトレーシー・ハイドだったけど、今はミシェル・ファイファーですか。あのキャッドウーマンを見せられちゃ好きじゃないとは言えませんよ。あとはウィノナ・ライダー。「ドラキュラ」期待してます。あとゲイル・マッケンナです。　**H**ゲイル・マッケンナはオレも好きだよ。　**N**ハギさんオレんち来て勉強しちゃったから、もう仲間んなっちゃった(笑)。

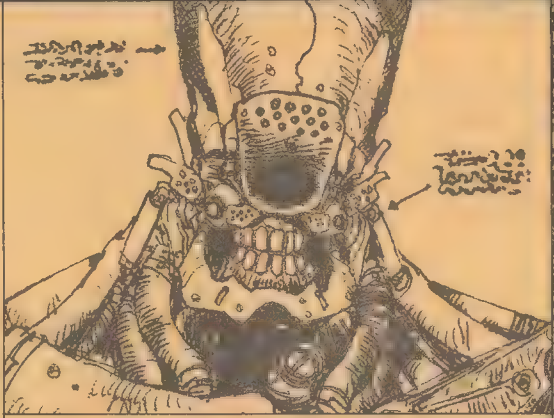
[COMICS]　**N**マンガはですね、実はあんまり読まない方で、ボクは大友で全てが終わってて。最近はまあ、すぎもとしんいち、あと松本大洋。　**H**「寄生獣」は？　**N**アレはできすぎててキライね、面白いけど。ああいうできすぎてるのはキライなの。「イーター」はオレの絵を見てマネしてますね、絶対マネしてる。　**T**あんたは誰のマネしてるのよ。　**N**ボクはカットだとフラゼッタの黒いところをマネしてますね。

[FREELANCE]　**T**ホビージャパンとの関係はどの辺から？　**N**エクストラで、佐藤編集長からファンタジー特集だけど何かやってと。小林さんがこころざしで休みをくれたわけですね。で、タケヤんちで作業を始めたわけです。　**H**もう来なくていいよってイクちゃん（小林夫人）から電話あったんだよ。　**N**それはもっと後。それを言いたいハギさんの気持ちもわかるけど、それはもっと後。ある時アクリルパイプに中心線彫れと言われて、どうやって彫るのかなと、手血だらけにしてるところにハギさんがやって来て、「こんなの目寸でやるなんてとんでもないよ」と言われて、ハギさんちで初めてやらせてもらって、何て優しい人なんだと。そんなこんなで自然と移って行ったわけで。若い頃っておごりたかぶることってあるじゃないですか、「オレだってできるジャン」と思ったわけで、そんな心を小林さんが読み取って、奥さんにクビって言ったらしいですよ。でもあそこやめた時期としてはグッドタイミングでね。タケヤ気つかって、「何かやったの？　どうしたの？」なんて言うんだけど、「どうしたのって何？」ってオレが知らないふりして言うと、「クビだって言ってたよ」って。オレ、「ヤッター」なんて喜んだのに、タケヤ悪がっちゃって、いいヤツ(笑)。**T**だってまだ知り合って1年もたってないんだから、一応気まずい感じ持たないと自然じゃないかなって思っただけだよ。小林さんの奥さんから電話で「モウ明日カラコナクテイイカラ」って。　**N**でも小林さん今でも尊敬してます(笑)。　**H**そろそろこの辺で…　**N**今日はオレおごりますよ。このありがたさを皆さんかみしめてください。　**T**初めてカネ持つと気が大きくなるんだよ。　**N**アッタマ来んなー。　**T**いや、ぼくも覚えがある。　**N**万博貧乏！　**T**万博の仕事で一杯金入って毎日おごってたから。あとで後悔するぞゼッタイに。ゼッタイに金無くなる時が来るから。ホントに一銭も無くなるんだぞ、ヘッ！

[LAST WORD]　**N**セメダインさん、透明エポキシパテを発売してと。動物の持つ透明感というものを表現したいので。1/6クラゲ男も造れるし。あと、グンゼのSボードをやめるなと。　**H**再販してと。　**N**みんな欲していると。　**H**みんなじゃないけど一部がね。　**N**オネガイシマス。

ILLUSTRATION BY KATSUYA "TERRA" TERADA

TO NIRA.



世の中捨てたもんじゃない。

小林　誠
MAKOTO KOBAYASHI

ニラサワ氏他、この本に作品を寄せている人達は、私が何をいおうとも、読者はその写真から素晴らしい技法とこれまでにないオリジナリティーを感じているでしょう。こういったホビーの世界には、例えばKのようなノンテイスティーものが若年層(ニセモノ)向けとして存在を許されていますが、私のような年寄りにもまだまだやる気をおこさせる彼ら(ニラサワ)の造型・デザイン世界を本にするたぁ、HJも仲々気が利いているし、読者反響のたまものとしたら、まだまだ世の中捨てたもんじゃないね。ニラサワ氏にはヒートプレスやエポパテ他の技法を教えましたが、当時その何倍も手伝いで恩返ししてもらったし、いろいろ教えて良かったと今でも思える唯一の人であります。そゆ事。

マルチクリエイター。代表作「ハイパーウェポン」、「機動戦士ガンダムZZ」「ジャイアントロボ」メカデザイン、「ドラゴンズヘブン」「未来兵器AS」「迷宮都市」

ビールの好きなニラちゃんへ。

雨宮慶太
KEITA AMEMIYA

2冊目の作品集／ しかも今度は立体物を中心としたものだと聞いて楽しみです。その上スタッフとしてタケヤやサルやオヤジが参加するというではないですか／ 今度は僕もスタッフに加えて下さい(本当に)。ニラちゃんと初めて会ったのは、まだニラちゃんがジャンボのアシスタントをしていた頃でした。ジャンボの陰でチラチラするニラリズムが、いつか花開くと思ってました。仲間内ではニラちゃんが一番作家性が強い人だなと、僕は信じてます。本当に同じ世界観と自分のカラーだけで飯を食うのは大変な事です。そのためには作家性を押えこんでしなければ消化できない仕事もあります。でもニラちゃんのエライところはそういう仕事をしないというところだと思います。これからも決してアクマに魂を売らないで下さい（あっこの本はアクマの本だったんだ…)。この本でさらにニラちゃんのファンになった人へ。10冊とは言わないけど、2冊、2冊は買うように／ ニラちゃんの本が売れれば、またすぐ3冊目が出るだろうし、他の出版社もこういった本をどんどん出してくれるはずです。その時、今この本を見て自分も韮沢さんのような仕事をしたいと思っているあなたの出番になるんですから。まず大人たちに売れる／ と思わす事がまず第一／ …と現場の合間に書いているので訳が分からなくなったけど、ニラちゃん、またビールを飲もう。本当は対談をすると言ってたので楽しみにしてたんだけど、残念です。(タカハシくんとキャシィーの話やオヤジの熱海の話や、タケヤの子供の話なんかしたかったね)でも、僕とニラちゃんの共通の野望、「世界のオッパイ」を実現するため、これからもがんばろうね／ この本の入稿が終ったら、現場に遊びに(手伝いに?)来て下さい。冷たいビールを用意しとくから。そしてニラちゃんの世界が映像化される時は、ぜひ／ぜひ／僕に撮らせて下さい／ それでは阿佐ヶ谷で会いましょう。

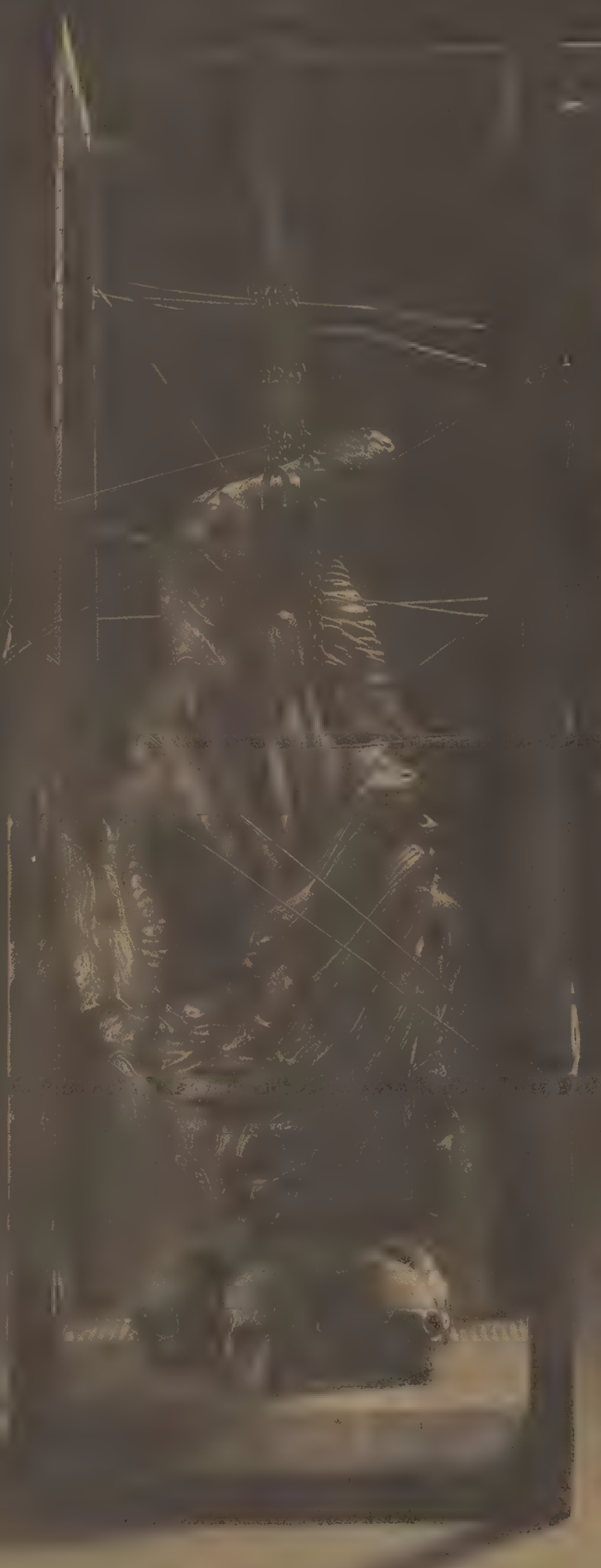
映画監督。代表作「未来忍者」「ゼイラム」「仮面ライダーZO」、TVシリーズ「鳥人戦隊ジェットマン」

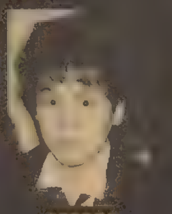
YASUSHI NIRASAWA

2&3 DIMENSIONAL WORKS

ORIGINAL DEMONS & MONSTERS

CREATURE CORE





BEFORE

AFTER

韮沢 靖［にらさわ やすし］

1963年8月26日、新潟県栃尾市に生まれる。生ま [illegible] 屋業で多忙であり、一人っ子ということもあって幼少時より独り友達（怪物・怪人）造りに明け暮れていた。中学・高校時は音楽に夢中になり、当時「KISS」に始まるパンク・ムーヴメントの渦中にあり、その影響を多分に受ける。1982年、東京 [illegible] 誌のイラスト、ゲーム・キャラクター・デザイン、[illegible] ンダー」キャラクターデザイン、大日本絵画刊「ファンタスティック・クリーチャー・ワールド」、ホビージャパン・エクストラ連載コミック「ファントム・コア」等。

GUEST CREATURS

鬼頭栄作
EISAKU KITO

小杉和次
KAZUJI KOSUGI

高橋雅人
MASATO TAKAHASHI

高柳祐介
YUSUKE TAKAYANAGI

[illegible]

PHOTOGRAPHERS

本松昭茂
AKISHIGE HONMATSU
(STUDIO R)

早田孝之
TAKAYUKI HAYATA
(STUDIO R)

PHOTOS SUPPLY

竹谷隆之
TAKAYUKI TAKEYA

ART WORKS

内山法彦
NORIHIKO UCHIYAMA

EDITOR

[illegible]
TOSHIAKI UTADA

SPECIAL THANKS TO

[illegible]

[illegible]

© TELENET JAPAN 1991, 1992
サンライズ 高屋良樹 1992 FIFTH AVENUE
ENTERTAINMENT production
ALL RIGHTS RESERVED

YASUSHI NIRASAWA
CREATURE CORE

First Edition Dec. 28 1992
Author Yasushi Nirasawa
Publisher Koichi Sato
Published by Hobby Japan Co., Ltd
5-26-5 Sendagaya, Shibuya-ku, Tokyo
Zip 151. Phone 03-3354-9341
Printed by Sankyo Graphic
Bound by Maruyama Seihonjo

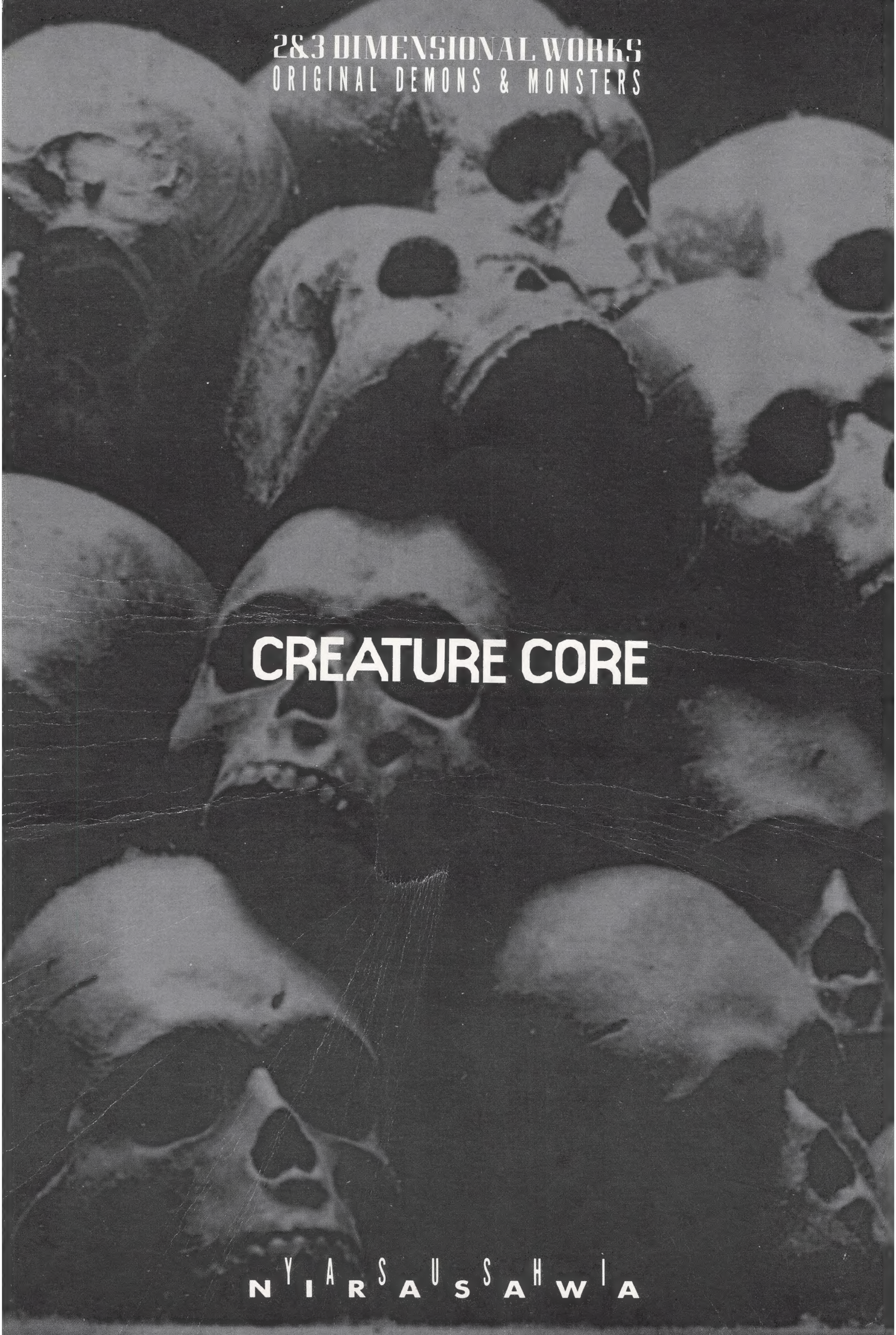
韮沢 靖 作品集
クリーチャー・コア

初版発行 1992年12月28日
[illegible]
発行所 株式会社ホビージャパン
〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-26-5
TEL. 03-3354-9341
印刷所 三共グラフィック株式会社
[illegible]

2&3 DIMENSIONAL WORKS
ORIGINAL DEMONS & MONSTERS

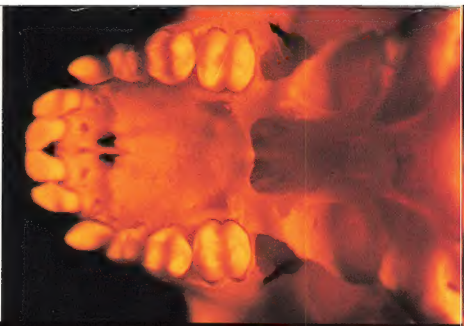
CREATURE CORE

YASUSHI NIRASAWA


2&3 DIMENSIONAL WORKS
ORIGINAL DEMONS & MONSTERS
CREATURE CORE
YASUSHI NIRASAWA

CHEERS!
RED CEDAR
THE ORIGINAL SOUR MASH
NOSFELATO CORPOLATION
VAMPIRE AV-666
DLACLE-999
TRANCILVANIA
13
GUARANTEED
Worlds End Tiles & Flooring Limited.
EPOXY
BLOOD BEER
BLOOD TYPE-A
SHINSEN NA YOHSEI NO CHI O BREND
SHITA ATARASHII TYPE NO SAWAYAKA
NA BEER ADE DESU. ZEHI OTAMESHI O.
NOSFELATO
THE CROWNING QUALITY
CORNSTARCH
BLOOD
SHIMAIHIN
BLOOD TYPE-A
BLOOD TYPE-B
BLOOD TYPE-O
BLOOD TYPE-AB
BLOOD TYPE–Rh–
THE BRIGHTEST BEER
4 972755 011111
60p per line, minimum charge:
Linage run-on
ABRACADABRA
ABRACADABR
ABRACADAB
ABRACADA
ABRACAD
ABRACA
ABRAC
ABRA
ABR
AB
A
YASUSHI NIRASAWA
CREATURE CORE

ISBN4-938461-76-5 C0079 P3800E

㈱ホビージャパン発行　クリーチャー・コア
定価3,800円(本体3,689円)

HOBBY JAPAN